

平成30年度

# 新城市の教育

ともいく  
共育で「子育ち・人育ち・地域育ち」  
～学校・地域を新たな視点で拓く～

新城市教育委員会

## 共育で「子育て・人育ち・地域育ち」

### ～学校・地域を新たな視点で拓く～

#### 恵まれた教育環境

子供の成長において大きな影響を及ぼすのは、親や教師、仲間や地域、遊びや生活の空間といった、家庭、学校、社会、自然などの環境である。中国の「孟母三遷」の故事にあるように、肝心なことは、「住む場所」や「学びの場」である。

新城市は、空気がきれい、水もおいしい、食材も豊富で人柄も温和、気候も温暖で災害も少ない、自然や歴史文化の教育資源が豊富である。こうした自然・人・歴史文化の「新城の三宝」に恵まれ、健康な体や素直な心、好奇心旺盛な子供を育てるには、最適の町である。さらに、「三つ子の魂」を養う幼児期の教育においても、「新城版こども園」で、教育と保育の内容も充実し、親の経済的負担も少なく、待機児童の心配もない。

そこで、新城の恵まれた教育環境の魅力をもって、共育でしっかりと足元を固めたい。共育により「子育て・人育ち・地域育ち」を図り、未来を「たくましく生き抜く力」を身につけさせたい。若者議会の提唱する「教育のブランディング」により、「子育てするなら新城で！」と自信をもって言えるよう、共育の人的・物的な環境を整えていきたい。

#### 学校教育の今日的課題

その前に、まず、日本の義務教育のかかえる今日的課題をおさえない。2006年の「教育基本法」改正の後、「学校教育法」「地教法」「教特法」のいわゆる教育3法が改正され、教育委員会制度が変わり、次々と大改革が行われた。2017年には新学習指導要領が公示され、来年度より移行措置が始まる。「小学校英語教育」「プログラミング教育」「道徳の教科化」「主権者教育」はじめ、学習量が増え、内容が高度になり、授業時間数が増える。

これに対応する学校現場の状況。子供においては、発達障害をはじめ、いじめ・不登校の問題や、学力・体力の二極化問題など、個別の支援が必要な子供が増えてきている。教職員においては、学級編成基準も教職員定数も、実態に応じた適切な改善がなされず、慢性的な長時間勤務から脱却できずに、「働き方改革」が喫緊の課題となっている。

#### 地域自治区で担う共育

課題解決に向けて大切なのが地域である。幕末維新の文明開化も、敗戦後の高度成長も、成功せしめたものは、日本の各地域の教育水準の高さと教育にかける熱い思いである。新潟県長岡市の「米百俵の精神」、茨城県下妻市の「青竜権現老樹」の実話を引き合いに出すまでもない。かつて新城市も地域の子供の教育のために、その総力をもって「おらが学校」を建設し、支えてきた。

地域の子は地域で育てる。家庭・地域・学校が、それぞれの役割・使命をもって子育てにあたることは、いつの時代も変わらぬ普遍的な営みである。国の教育再生実行会議でも「地域ぐるみ」「社会

総がかり」による教育への取組みと、全ての公立小中学校を「地域運営学校（コミュニティスクール）」にする提言をし、住民が集まる学校を「まちづくりの拠点」にして地域活性化を図ろうとしている。

新城教育では、平成18年度に地域教材としての「新城の三宝」を提案、平成21年度に地域ぐるみの「共育」を提案し、実践を積み重ねてきた。学校においては、地域教材が蓄積され、地域を巻き込んだ共育活動も、年ごとに充実・発展してきた。地域自治区によっては、自発的に「共育推進委員会」を立ち上げ、学校の共育活動を支援する地域も出てきた。また、少子・高齢・過疎の社会にあっては、中学生や高校生は地域の若き担い手である。市内中学生は「助けられる人から助ける人」への意識で、防災委員会の活動を行っている。すべての中学校で活発なボランティア活動を実践し、地域イベントでも大きな役割を果たしている。

これからの共育活動では、学校から地域へのベクトルだけでなく、これまで大人たちが行ってきた地域自治区やまちづくり活動に中高生をとりこむ逆のベクトルが望まれる。それにより、若者と地域の距離が縮まり、絆が生まれ、世代のリレーもしやすくなる。子供も若者も、大人も高齢者も、「共に過ごし、共に学び、共に育つ」共育活動を創造することで、「感動・創造・貢献の喜び」が生まれ、子供たちの社会性が伸び、「ふるさと新城」を足場に、未来に向かって「たくましく生き抜く力」が醸成されていく。大人にとっても、学び合い、やりがい・生きがいのある住みよいまちづくりにつながる。

その意味で、中学校ブロックを基本とする地域自治区は、共育の基盤エリアである。防災活動はじめ、音楽やスポーツ・健康活動、文化・芸能活動などで、特色ある共育活動が今以上に企画・実行されることを期待している。世代の継承は、この地域自治区の動きによって、確かなものになる。

そこで、継続する共育活動であるが、昨年の市内一斉「共育の日」の参加者は約9,400人、共育川柳の応募も2,000首を超えた。地域運営学校、新城でいう「共育学校」も、作手小学校を皮切りに黄柳川小学校でも取組みを始め、その気運が広がりつつある。平成30年度の市内「一斉共育の日」は、6月9・10日、16・17日の（土）（日）のいずれかに学校ごとに開催される。この日に向けて地域自治区から学校へのはたらきかけを期待している。

## アライアンスでグローバル人材育成

グローバル社会において、相互理解を深め交流発展を築くためには、英語で日常会話が通じるだけでなく、説明・議論できるコミュニケーション能力が欠かせない。訪日外国人観光客が2,800万人を超す「世界大交流時代」である。昨年12月に開催されたニューキャッスルアライアンス・ユース会議において、世界10か国31人が来訪し、それぞれ母国語は異なっているが、学校教育で学んだ英語でコミュニケーションを図っていた。ユース一行が東郷中学校を訪問した際も、生徒たちは、しりごみすることなく積極的に交流を深め、英語学習のモチベーションを高める絶好の機会になった。

そこで、こうした、全国にない新城市ならではの世界のニューキャッスル市との交流は、子供たちの英語学習の目標となり土壌となる。土壌を耕す営みの1つが、毎週木曜日に全小中学校で開催される「英語の日」である。小学校1年生から、朝の会などを活用して、英語になじむよう努めている。また、ALTや地域英語学習ボランティアの支援や大型ディスプレイの活用を進め、将来的にはテレビ会議などを通して、世界のニューキャッスル市の子供たちとの交流をめざしたい。

## プログラミング教育へのチャレンジ

現代人の生活において、パソコンやスマートフォンは欠かせない。電話・メール・SNSの通信のみならず、買物・金融、娯楽・読書、報道・検索など、あらゆる機能を活用している。今後、人間がどうコンピュータを使いこなすのか、人間と人工知能がどう共存するのかが懸念されている。プログラミングの思考や、コンピュータリテラシー（情報リテラシー）やネットリテラシー（情報モラル）・リスクマネジメントの教育が、時代を生き抜くための必須の学力となる。

そこで、新城市では、中学校において技術・家庭科で全員がプログラミング学習を行っているが、小学校においても、2020年の必修化に向けて、プログラミング的思考を身につけられるよう授業を工夫するとともに、タブレットの活用を進め、校内LANの実施設計に取り組む。環境を整えば、WiFiを使って機能的な学習が可能となる。

## 共育で身につける道徳

新学習指導要領で道徳が教科化された。「特別の教科 道徳」の誕生である。道徳的諸価値についての理解を基に、学校の教育活動全体を通して、よりよく生きるための実践意欲と態度を育てることが目標とされている。

そこで、新城市では、「心の教育」は学校教育だけでなく家庭や地域とともに担うものとの考えで、共育を通して家族愛や思いやりなど道徳性・社会性を育む「新城共育12」の取組みを、学校や家庭、PTAや子ども会などで展開してきた。これを広く地域や社会において励行されることを望んでいる。

## 若者議会とともに歩む主権者教育

若者議会から中学校への主権者教育での参画が提案され新城中学校で実践された。小中学校では、国や地方行政が国民主権の考えのもと、持続可能な、よりよい社会の実現に向けて、主体的に考察・構想し、自分の考えを論述する力を養うことをめざしている。

そこで、若者議会との連携を大切にして、AI社会における人間としてのアイデンティティの構築もふくめ、日頃の授業において、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を積み重ねることで、自己決定能力をもった民主主義を担う主権者としての意識を深めていきたい。そして、将来の新城のまちづくりの担い手としての成長を願いたい。

## 特別な配慮を要する子供への指導

特別な配慮を要する子供が増えている。一人ひとりの子供に応じて適切な教育ができるよう、教師の専門性を高めるとともに、保護者や関係機関との連携が肝要である。

そこで、具体的取組として、まず、事例研究など教師のスキルアップをめざした研修会を充実させる。そして、知的障害や発達障害の子供に対しては、障害に応じて、通級学級や特別支援学級での指導や、関係諸機関や専門家との連携のもとで支援を行う。日本語の習得に困難な子供に対しては、新城小学校に国際学級を設置して効果的な指導に努める。さらに、学習の遅れや生活態度等で個別の指導を要する子供には、ハートフルスタッフの配置やツーハート担任（二人担任制）で対応する。

不登校生については、最重要課題の一つであり、相談員を中心に家庭訪問や電話相談をとおして、保護者や関係機関・専門家等との連携を図り、あすなろ教室への通学などを通して、自立や学校復帰



の機会を探る。いじめについては、いじめ・人権サポート委員会はじめ学校や地域をふくめて、早期発見・早期対応を心がけ、未然の解決をこころがけている。いずれについても、特別支援コーディネーターや不登校対応コーディネーター、生徒指導担当を核に、チーム学校として全教職員で取り組んでいる。

### **部活動の見直し、体力・健康の増進**

中学校において、部活動の占める割合は大きい。多くを占める運動部は無論のこと文化部も思春期において重要な活動である。しかし、近年、生徒数の減少による開設部活数の削減や勝利至上主義、部活指導者である教職員の働き方などの面から、見直しが急務である。

そこで、部活動においては、昨年朝練習を取りやめるとともに、木曜日と日曜日は部活休養日とし、複数顧問制を進めてきた。水泳大会、陸上大会、合唱交歓会を廃し、新たに小学校駅伝大会を設けて基礎体力・心肺能力の増進を図ることとした。特に、新城市においては、小学校の統合により、バス通学が増えて歩く距離が激減している。学校では座学が多く、運動不足は必定である。生涯にわたる体力・健康の素地を培う時期だけに、児童クラブでの活動を含めて、地域に応じた対策が急務である。

### **地域学園構想の推進**

小中一貫教育や義務教育学校が推奨されている。教育課程の円滑な実施や中一ギャップの解消のために、新城市でも小中学校の連携教育を進めてきた。しかし、その活動は、部分的・断片的で、系統的に一貫したものではない。

そこで、1中学校1小学校で構成されている千郷地区と作手地区において、施設隣接型で、限定した教育分野において小中一貫教育の実践を進める。地域として小中学校を一体化したイメージの「人が集い、人が結ばれ、人が元気になる」ような「千郷学園」「作手学園」を描き、学園の魅力を増大させて教育成果を上げていくことをめざす。

### **新城有教館高校を全面的に支援**

平成31年に統合して1校となる新城有教館高校は、新城市の中等教育の核となる。総合学科として文理系と専門系で構成され、大学進学をめざす学びの場として、地域社会を担う人材養成の場として、スタートする。

そこで、特筆した教育が実現できるよう、市として、県教委や高校との連携を密にして、支援することに全力で取り組んでいく。具体的には、有教館高校ならではの活動として、スイスのニューキャッスルであるヌシャテル市への留学制度を支援する。また、歴史と文化のまち新城にふさわしい歌舞伎や能・狂言の講座や、ICT社会に有用な学びができるように、市民の声を聴きながら、実現に向けて県教委にはたらきかけていきたい。そのためにも、地元小中学校と新城有教館高校との連携を強化し、新城教育の充実を図っていきたい。

## 教師の働き方改革

子供にとって最大の教育環境は教師である。学び続ける教師・伸び続ける教師の存在が不可欠であり、教師の高度な専門的知識・実践力、人間性が問われるゆえんである。これまで、時代や社会の要請により、子供にとって必要と思われる教育が、次から次へと学校教育に取り込まれ、学校の業務は膨張するばかりであった。月80時間超の過労死ラインを超える教師の時間外勤務者は、文科省調査で、公立小学校で33パーセント、公立中学校で57パーセントであった。新城市でも、昨年6月の調査で小中学校合わせて30パーセントが該当していた。

そこで、中教審特別部会が「教職員の働き方の改革ガイドライン」において、「学校以外が担うべき業務」として、「給食費の徴収」と「登下校時の見守り」等を挙げているが、新城市としても、給食費の在り方や給食食材の仕入れ等について、検討に着手していく。

さらに、教師の負担軽減に向け、週1日の定時退校日を設けるとともに、事務改善や部活動・行事・会議等の見直し、小学校高学年での教科担任制、中学校でのツーハート担任制、小中学校の交流授業などを工夫していきたい。また、長期休業期間中の対策として、会議・行事を設けない日として、愛知県の8月10日から16日までの7日間に加えて、市教委としても25日から31日までの7日間を設定するとともに、13日から15日までを学校閉庁日としていく。

## 東三河ジオパーク構想の実現

東三河振興ビジョンの主要プロジェクトとして、8市町村が連携して新城市を事務局に、「東三河ジオパーク構想」を進めている。これは、中央構造線が縦断し大きく方向転換する東三河の豊かな自然と歴史を活用し、地域の生活や文化を結ぶことで地域の振興を図ろうとする事業である。

そこで、鳳来寺山自然科学博物館の展示物の改善やジオツアーの企画、研修会、ジオガイド養成などを行い、日本ジオパークの認定をめざす。また、湿地の保全・保護をテーマ「第27回湿地サミット」を6月に作手で開催する。県指定天然記念物の長ノ山湿原をはじめ、清岳向山湿原、黒瀬庄ノ沢緑地など作手の中間湿原群は、市の重要なジオサイトであり、日本の重要湿地500に選定されている。これを機会に、新城ミズバショウ園も含めて、作手高原のジオを発信し、誘客につなげたい。

## 新城の山城・城跡の見直し

作手の古宮城が「続日本100名城」に選定された。このほか、愛知県では、小牧城、吉田城を加えて3城である。「日本100名城」が、長篠城、犬山城、名古屋城、岡崎城の4城であり、県内7城のうち2城が新城市にある。

そこで、市内には50余の山城があるが、古宮城の史跡は、保存状況も人気も国指定文化財に遜色ないものと思われる。今後の古宮城の在り方について、文化財保護審議会において検討を始める。

また、長篠城は、新城を代表する歴史観光スポットであり、世界に誇れる史跡であるが、土塁や堀など一部遺構が残存する程度であり、保存館の老朽化も進んでいる。そこで、史跡の復元・保護と活用の方針を示した計画の策定を進める。

## 新城の共育推進計画の策定

人生100年時代において、長く生きるだけでなく、いかに健康でどのように生きるかが問われる。

そこで、平成21年に策定した「新城市生涯学習推進計画」を共育の観点から見直し、生涯学習推進懇談会に意見を求め「新城市共育推進計画」を策定する。

### **市民スポーツ環境の拡充**

「新城市生涯スポーツ振興計画」に基づき、スポーツ推進員や体育協会、体育振興会、スポーツクラブ等と連携し、新城の三宝を活用し、スポーツ機会を充実させて、「人の輪を広げ、健やかな心と体を育むまち」をめざしたスポーツ振興を図ってきた。

そこで、「するスポーツ、見るスポーツ、支えるスポーツ」の観点から、ボランティアや指導者の養成や、「市民歩こう会」「新城マラソン大会」などのスポーツイベントや学校施設を含めたスポーツ施設の充実を図っていく。本年度は、東郷中学校屋内運動場改装工事の実施設計を行う。

### **教育移住へのいざない**

新城市唯一の特認校制度を実施している鳳来東小学校では、少人数で一人一人の子供に行き届いた教育が行われ、全校生徒の7割弱をUターン・Iターンで移住してきた子供が占める。学区は、清流・山野の自然に恵まれ、地域からの温かい支援がある。伝統芸能や歴史がある。この学区の三宝を活かして、魅力ある教育活動が展開されている。アルプホルン演奏、清流での川遊びや山登り・どんぐりの森づくりなどの自然体験、親子スキー教室、地域食材を活かした梅ジュース、こんにゃく、干し柿、五平餅づくりや、ガンピ紙すきによる世界で唯一の卒業証書作成など、鳳来東小学校ならではの教育活動が満載である。

そこで、こうした地域と共にある特色ある教育活動は、市内全小中学校で展開されており、その成果も上がっている。特に、統合校である、作手小学校、黄柳川小学校、鳳来寺小学校では、統合前の学校の魅力ある自然や歴史文化を引き継いでの教育を展開している。この魅力をもって都市部からの教育移住を増やせないものか、特認校制度を進めるなかで対策を検討したい。

### **未来を拓く新城教育の創造**

2学期末に、全小中学校長から「10年後の当該学校のめざす姿」の報告を受けた。子供が激減するなかで、学校・地域の未来の展望を拓く鍵は、地域に根差した共育しかないということである。児童生徒においては、学校・保護者・地域が三位一体となった「共育学校」によって、ふるさと新城を愛し、生き抜く力をもった子供が育つ。地域住民においては、学校を拠点に、学校・PTA・地域・企業など総ぐるみで、教育・文化・スポーツなどの「共育活動」を行っていくことで、若さと健康が得られる。

そのためにも、中学校区・地域自治区ごとで皆が参加できる共育活動を創意工夫していくことが肝要である。新学習指導要領で求める3つの学力、「知識・理解、技能の習得」と「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性等」も、ここで育まれる。共育のバックグラウンドが構築されれば、活動をとおして「感動・創造・貢献の喜び」が生まれ、「子育てするなら新城で!」「人生100年、住むなら新城で!」と胸を張って言える地域になることと思う。すべては、地域の共育の拡充にかかっている。

# 平成30年度 新城市の教育 目次

1 新城市教育委員会の概要	1	(31) 道徳教育	61
2 教育の予算	6	(32) 学校図書館教育	62
3 事業と評価	8	(33) 人権教育	63
(1) 教育総務課の事業と評価	8	(34) 環境教育	64
(2) 学校教育課の事業と評価	10	(35) 小学校英語活動研究事業	66
(3) 生涯共育課(共育)の事業と評価	12	(36) 情報モラル教育	67
(4) 生涯共育課(スポーツ)の事業と評価	13	(37) へき地教育の状況	68
(5) 生涯共育課(文化)の事業と評価	15	(38) 特別支援教育	69
(6) 生涯共育課(文化財)の事業と評価	16	5 生涯学習の状況	73
4 学校教育の状況	18	(1) 新城市生涯学習推進計画の推進	73
(1) 小中学校の児童生徒、教員数、職員数	18	(2) 共育推進	75
(2) 小中学校の児童生徒数・教職員数の推移及び推計	19	(3) 青少年の健全育成	77
(3) 施設・設備の安全	21	(4) 社会教育団体への活動支援	79
(4) 登下校の安全・安心、通学費補助状況	24	(5) 生涯共育課所管施設	81
(5) 学校給食と食育	25	6 スポーツ振興の状況	83
(6) 指定校変更・区域外就学の状況	27	(1) 三宝を活用したスポーツ振興	83
(7) 就学援助の状況	28	(2) 体育振興の状況	86
(8) 私学助成の状況	29	(3) スポーツ団体の状況	92
(9) 児童・生徒・教職員の健康管理	30	(4) 所管スポーツ行事	94
(10) 木の香る学校づくり推進事業	31	(5) 作手B&G海洋センター(鬼久保ふれあい広場)	96
(11) 危機管理の状況	32	(6) 生涯共育課所管施設	100
(12) 児童生徒の安全・安心	33	7 文化事業の推進	102
(13) 共育の日	35	(1) 文化振興事業	102
(14) 新城の三宝による特色ある学校づくり事業	36	(2) 地域文化広場の運営管理	106
(15) 「体徳知」の教育活動推進事業	38	(3) 文化会館の状況	107
(16) 教職員としての力量を高める研修事業1	39	(4) 新城図書館	110
(17) 教職員としての力量を高める研修事業2	40	8 文化財保護の取組	115
(18) 全小中学校ネットワーク事業	41	(1) 文化財の保存・活用	115
(19) 小中学校の生徒指導の状況(不登校)	43	(2) 新城市内の有形指定文化財	117
(20) 小中学校の生徒指導の状況(いじめ・暴力・他)	45	(3) 新城市内の無形指定文化財	122
(21) 学習・適応支援	46	(4) 新城市内の指定史跡	123
(22) 小中学生の学力・学習状況	47	(5) 新城市内の日本百選	125
(23) 中学校の進路指導の状況	49	(6) 設楽原歴史資料館	126
(24) 小中学生の体力・運動状況	50	(7) 長篠城址史跡保存館	129
(25) 部活動の状況	52	(8) 鳳来寺山自然科学博物館	132
(26) 学校行事の状況	53	(9) 作手歴史民俗資料館	138
(27) 外国人児童生徒の状況	56		
(28) 新城アクティブ事業	57		
(29) 中学生海外派遣・交流事業	59		
(30) 教科用図書	60		

<b>1</b>	<b>新城市教育委員会の概要</b>
----------	--------------------

**1 新城市の概要**

本市は、新城市、鳳来町、作手村の新設合併によって平成17年10月1日に誕生した。愛知県の東部、東三河の中央に位置し、東は静岡県に接している。東西約29キロメートル、南北約27キロメートルで、県内2番目の広さとなる499.23平方キロメートルに、約5万人が暮らしている。市域の84パーセントは、三河山間部を形成する豊かな緑に覆われ、東三河一帯の水源の役割を果たしている。

また、桜・紅葉が美しい桜淵公園や、霊鳥仏法僧（コノハズク）の棲む山として全国的に知られ、国の名勝に指定されている鳳来寺山など、市域に広がる天竜奥三河国定公園、桜淵・本宮山県立自然公園の指定区域には、特徴ある地形や豊かな植生、美しい景観が点在し訪れる人を魅了している。

平成22年10月1日に市制5周年を迎えた本市は、合併後の市民融和、一体感のさらなる熟成を図るため、市の花（ササユリ）・木（ヤマザクラ）・鳥（コノハズク）・石（松脂岩）・カエル（モリアオガエル）を定めた。

また、本市には、「棚田・名滝・清流・親水・川原・名木・地質・植生・城跡・盆行事・庭園・建造物・温泉・峡谷・ほたるスポット」など、「日本の百選」に選ばれているものも数多く、自然・文化・歴史をモチーフにした“新城ならではの「三宝」”を活かした教育活動があらゆる方面で展開されている。

市教委では、教育的・学問的見地から、各小中学校区にある「三宝」を、「新城で学ぶ子供に体感させたい三宝」と位置づけ、まず教職員が各地域にあるさまざまな「新城の三宝」の価値に目覚め感動することが、子供の愛郷心・情操・感性を高めることにつながるとし、「新城の三宝」の発掘に取り組んでいる。

また、親と子とともに、教師と子供とともに、学校と地域とともに、市民と市民が共に学び、共に育つ「学校・家庭・地域との共育（ともいく）の拡大」をめざし、三宝を「新城教育」の礎として、「共育」の輪を広げ、学校教育や生涯学習の場で活す、「新城ならではの共育」の推進を図っている。

**2 新城市の市章**

歴史的背景である戦国時代を象徴する「兜」をモチーフにしている。背面は、緑豊かな自然環境をあらわし、兜の前立部分の色彩、形状は、新城市の明るい未来をあらわしている。



**3 人口・世帯数**

	男	女	人口総数	世帯数
平成17年10月1日	25,913 人	27,011 人	52,924 人	16,158 世帯
平成25年 4月1日	24,360 人	25,054 人	49,414 人	16,805 世帯
平成26年 4月1日	24,037 人	24,738 人	48,775 人	16,857 世帯
平成27年 4月1日	23,749 人	24,535 人	48,284 人	16,965 世帯
平成28年 4月1日	23,483 人	24,211 人	47,694 人	17,109 世帯
平成29年 4月1日	23,170 人	23,852 人	47,022 人	17,097 世帯
平成30年 4月1日	23,246 人	23,838 人	47,084 人	17,608 世帯
平成31年 4月1日	22,983 人	23,479 人	46,462 人	17,683 世帯

合併時（平成17年10月1日）の旧市町村別の人口・世帯

新城市=36,116人・10,968世帯、鳳来町=13,561人・4,185世帯、作手村=3,247人・1,005世帯

**4 教育長及び教育委員会委員**

平成31年3月31日現在

職名	氏名	任期
教育長	和田 守功	平成28年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日
委員・教育長職務代理者	原田 純一	平成29年11月29日 ~ 令和3年11月28日
委員	川口 保子	平成27年11月29日 ~ 令和1年11月28日
委員	安形 茂樹	平成30年11月29日 ~ 令和4年11月28日
委員	花田 香織	平成28年11月29日 ~ 令和2年11月28日
委員	夏目 みゆき	平成28年4月1日 ~ 令和2年3月31日
委員	村松 弥	平成30年4月1日 ~ 令和4年3月31日

## 5 教育委員会会議

新城市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、定例会を毎月1回、教育長が必要と認めたときに臨時会を開催した。

### 議案の審議状況

月	会議名	審 議 内 容
4月	定例会	① 新城市社会教育委員の委嘱について 原案のとおり委嘱（15名）
		② 新城市公民館運営審議会委員の委嘱について 原案のとおり委嘱（15名）
9月	定例会	① 新城市文化財の指定について 原案のとおり指定
3月	定例会	① 新城市生涯学習推進員の委嘱について 原案のとおり委嘱
		② 新城市文化財保護審議会委員の解任について 原案のとおり委嘱
		③ 部活動ガイドラインについて 原案のとおり改正

## 6 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により設置する新城市総合教育会議を、会議運営細則に基づき年3回開催した。

### 会議開催状況

月	開催数	協 議 内 容
8月	第1回	① 小中学校の複合化の検討について ② 新城市の放課後子どもプラン ③ 新城市の全ての小中学校で独自の少人数学級の実現 ④ 給食調理施設のあり方 ⑤ 作手地区への移住の促進 ⑥ 教室への空調設備の早急な実施
11月	第2回	① 給食調理施設の今後のあり方について ② 小中学校の空調設備設置の進捗状況について ③ 新城有教館高校の市の支援策について ④ 中学生の海外派遣のあり方について
1月	第3回	① 給食調理施設の検討経過と結果報告について ② 教育方針説明（案）について

## 7 教育委員会表彰

新城市教育委員会表彰規則に基づき、新城市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献し、その功績顕著な者及び他の模範とする業績又は行為のあった者を表彰している。

平成30年度は、9月29日の新城市功労者表彰と合わせ教育委員会表彰を行っている。

### 被表彰者実績

・平成30年度

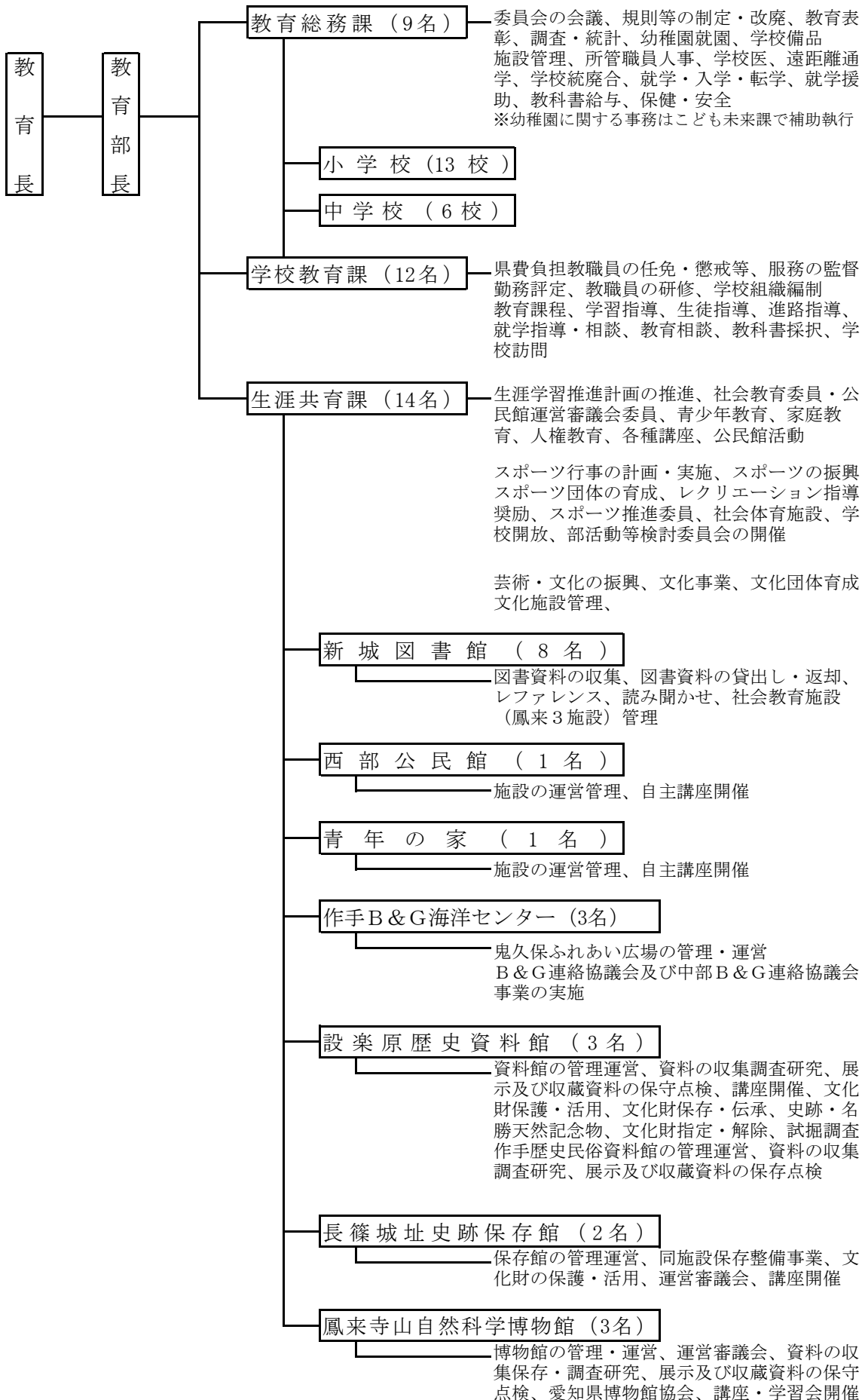
氏名	地区	功績
春日 勇三	杉山	多年にわたり、新城市立新城小学校などの眼科医として学校衛生に携わり、子どもたちの健康保持に寄与
庄田 征弘	大野	多年にわたり、新城市立鳳来東小学校などの歯科医として学校衛生に携わり、子どもたちの健康保持に寄与
近藤 哲生	富永	多年にわたり、新城市立鳳来中部小学校などの薬剤師として学校衛生に携わり、子どもたちの健康保持に寄与
梶本 正彦	庭野	多年にわたり、新城市立庭野小学校の米作り学習などを指導され、特色ある教育活動の充実に大きく寄与
松沢 正一	大野田	多年にわたり、新城市スポーツ推進委員として、本市のスポーツ振興に多大な貢献

## 8 教育委員会事務局の行政組織

(平成30年4月1日現在)

組織及び主な事務

※嘱託職員は含む。臨時職員は除く。





## 9 事務局職員

(役職名一氏名)

○教育長 和田 守功

○教育部長兼中央公民館長

林 治雄

○副部長 櫻本 泰朗

○副部長 加藤 貞亨 (35-1001)

○教育総務課 (23-7633)

課長 杉浦 達也

副課長兼係長 井口 幸俊

係長 佐藤 直哉

主任 稲垣 陽平

主事 原田 顕帆

主事 林 裕策

主事 吉川 梨奈

主事 荻野 計吉 (再任用)

主事 熊谷 昌紀 (再任用)

○学校教育課 (23-7607)

課長 安藤 昭彦

参事 中嶋 孝佳

副課長 神谷 勝則

副課長 白井 淳子

副課長 鈴木 あき子

副課長 亀甲 真史

主査 夏目 佳子

主事 伊藤 里華

子どもサポート相談員

松下 義江

神谷 里香

あすなる教室室長

橋本 潤 (23-1191)

あすなる教室副室長

川合 恵子 (23-1191)

○生涯共育課 (23-7639)

課長兼西部公民館長兼長篠城址史跡保存館長

兼設楽原歴史資料館長

(兼) 櫻本 泰朗

副課長兼共育係長

松山 元晃

主事 高橋 祐矢

主事(社会教育主事) 岩瀬 雄基

主事 夏目 道弘 (再任用)

社会教育指導員 今泉 雅晴

青年の家勤務嘱託職員 (23-1191)

梅田 武男

西部公民館勤務嘱託職員 (23-6353)

滝川 安広

設楽原歴史資料館勤務 (22-0673)

副課長兼文化財係長

湯浅 大司

主査 岩山 欣司

主事 萩原 愛理

長篠城址史跡保存館勤務 (32-0162)

主事 後藤 悠也

長篠城址史跡保存館嘱託職員

山内 祥二

参事(自然科学担当) (35-1001)

兼鳳来寺山自然科学博物館長

(兼)加藤 貞亨

主査 竹内 幸政

主事 西村 拓真

参事(スポーツ担当)

兼B&G海洋センター所長

熊谷 和志

副課長兼スポーツ係長

河口 昌和

主任 森田 秀樹

主事 今井 寿宜

主事 渡邊 裕亮

主事 松本 博也 (再任用)

B & G 海洋センター勤務 (38-1431)

主事 河合 茂人

主事 柿野 孝明

主事 榊原 法之 (再任用)

兼文化係長

(兼) 松山 元晃

主任 森本 陽子

主事 河村 緋莉

参事兼図書館長

村田 方恵

新城図書館勤務 (23-2333)

主事 金子 あゆみ

図書館勤務嘱託職員

水谷 明美

板倉寿美子

櫻井 靖乃

鈴木 康世

松井 真理

村田 淳子

2	教育の予算
---	-------

1 平成30年度教育費予算現額及び支出済額

(単位: 予算=千円、支出=円)

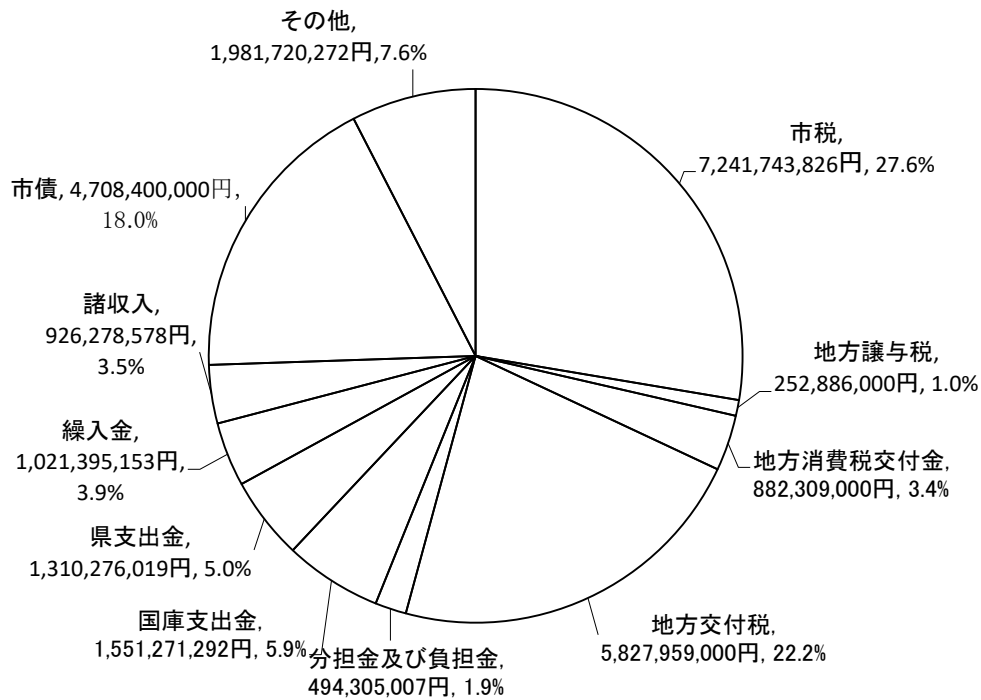
款	項	目	金額
教 育 費 2,521,352 (1,299,771,016)	教育総務費	教育委員会費	3,805 (3,617,276)
	257,786 (248,965,223)	事務局費	104,108 (103,288,300)
		教育指導費	149,873 (142,059,647)
	小 学 校 費	学 校 管 理 費	290,340 (282,257,824)
	1,108,053 (343,068,810)	教育振興費	61,997 (60,810,986)
		学校施設整備費	755,716 (0)
	中 学 校 費	学 校 管 理 費	160,207 (149,323,880)
622,944 (195,352,882)	教育振興費	48,259 (45,663,202)	
	学校施設整備費	414,478 (365,800)	
幼 稚 園 費	幼 稚 園 費	0 (0)	
0 (0)	→ こども園へ		
社 会 教 育 費	社会教育総務費	118,511 (116,771,825)	
374,693 (361,383,415)	文化振興費	155,725 (154,734,281)	
	文化財保護費	53,872 (49,101,727)	
	社会教育施設費	46,585 (40,775,582)	
保 健 体 育 費	保健体育総務費	64,924 (63,326,003)	
157,876 (151,000,686)	体育施設費	75,281 (72,081,853)	
	学校保健費	17,671 (15,592,830)	

※ ( )内は、平成30年度支出済額【単位:円】

### 3 平成30年度新城市一般会計歳入歳出決算款別構成グラフ

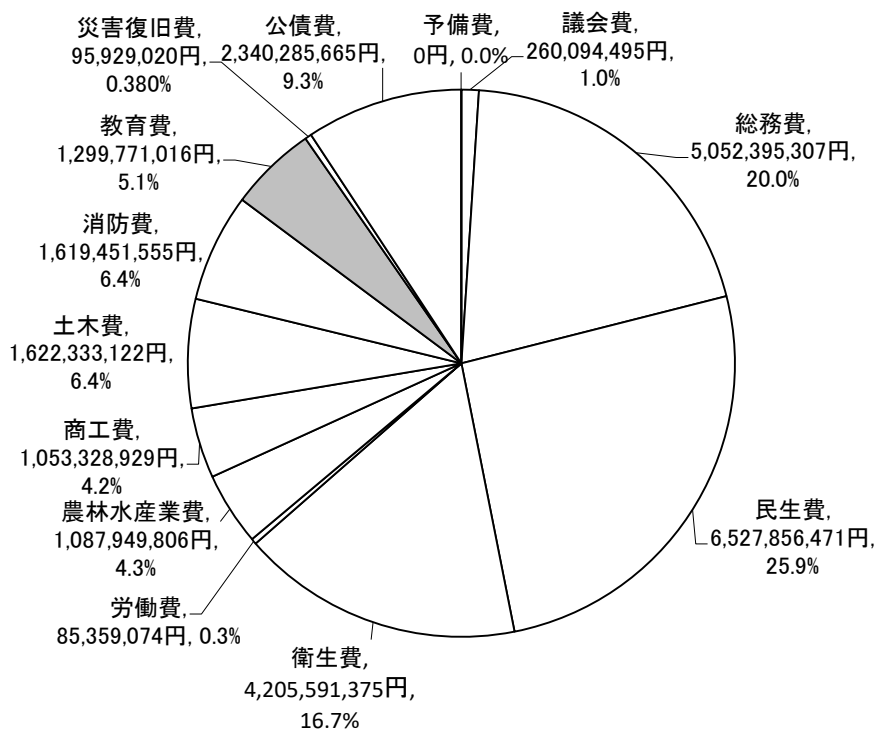
#### 一般会計歳入款別構成

歳入総額 26,198,544,147円



#### 一般会計歳出款別構成

歳出総額 25,250,345,835円



<b>3</b>	<b>事業と評価</b>
----------	--------------

<b>3(1)</b>	<b>教育総務課の事業と評価</b>
-------------	--------------------

単位:円

	主な事業名	事業概要	支出済額	評価
1	教育委員会運営事業	教育委員報酬、教育委員各種研修旅費、教育表彰者賞状筆耕料等、教育委員会運営経費。	3,617,276	教育委員会連合会の研修会、総会等に参加し情報収集等に努めている。
2	事務局一般事務経費	全国都市教育長協議会参加経費はじめ教育長に係る旅費。教育委員会事務局経費。就学管理・就学援助システム賃借料。	5,679,538	事務局の適切な運営に努めている。
3	教育指導事業	副読本(補助教材)、教科書、指導書等の購入	8,989,260	教材等を購入し、児童生徒が学習する環境を整備している。
4	私立高等学校等授業料補助事業	私立高等学校、私立専修学校在学する生徒の保護者に対する授業料の補助	2,517,540	平成29年度は、豊川高等学校はじめ16校に在籍する228名の保護者へ補助している。
5	スクールバス等運営事業	小中学校スクールバス等経費 千郷小学校、庭野小学校夏季臨時バス 鳳来中学校冬季臨時バス、東陽小学校児童送迎バス	30,533,115	児童生徒の安全な通学環境の確保が図られる
6	教育指導一般事務経費	教育相談室消耗品等。学校教育課派遣指導主事負担金等、教育指導にかかる事務経費	17,208,392	教育指導の推進を図っている。
7	小学校管理事業	小学校13校舎に係る施設等運営経費。校医・薬剤師報酬。嘱託員、臨時職員人件費。校長会等負担金	202,446,694	小学校の施設等運営管理に係る事業で、適切な管理に努めている。
8	木の香る学校づくり推進事業	市内小学校への木の机と椅子の購入費	4,480,272	木のぬくもりを感じられる学校環境づくりに努めている。
9	中学校管理事業	中学校6校に係る施設等運営経費。校医・薬剤師報酬。嘱託員、臨時職員人件費。校長会等負担金	98,455,837	中学校の施設等運営管理に係る事業で、適切な管理に努めている。
10	通学費援助事業	遠距離通学児童生徒に対する通学費を補助(通学定期代金の補助) 小学校 12,712,800円 中学校 11,561,000円	24,273,800	バス及び電車通学費全額を補助し、遠距離通学に係る保護者負担の軽減を図っている。
11	教材整備事業	教材備品の修繕、購入経費。理科教育備品は整備率の低い学校を選定 小学校 2,195,041円 中学校 1,901,041円	4,096,082	理科教材の整備及びその他各学校に必要な教材備品の整備に努めている。
12	就学援助事業	要・準要保護児童生徒への就学援助。 学用品・通学用品・学校給食費等 小学校 13,138,701円 中学校 11,361,315円	24,500,016	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者等へ経済的負担の軽減を図っている。
13	就学奨励事業	特別支援教育就学奨励。 学用品・通学用品・学校給食費等 小学校 1,810,227円 中学校 760,422円	2,570,649	特別支援学級児童生徒の保護者等へ経済的負担の軽減を図っている。
14	情報教育推進事業	児童生徒用パソコンリース料 小学校 36,404,640円 中学校 23,055,840円	59,460,480	機器類の適正管理に努めている。

単位:円

	主な事業名	事業概要	支出済額	評価
15	教育振興一般事務経費	小中学校の印刷機、複写機リース料。各種研究会等の負担金等 小学校 6,427,167円 中学校 5,981,812円	12,408,979	各学校使用の機器類について適正管理に努めている。
16	学校基本調査事業	一校ごとの情報を管理	12,000	学校に対し正確な情報数値を管理する
17	学校情報システム管理事業	学校ホームページ管理システム及び校務支援システム賃貸借料 校内LAN整備実施設計委託料	31,111,766	学校運営に必要な各種システムの管理を行う
18	東郷中学校屋内運動場改築事業	東郷中学校屋内運動場の改築にかかる建築確認申請手数料	365,800	建物の長寿命化、児童の学校生活環境の向上
19	衛生管理事業	学校の衛生管理。プールの水質検査。O-157対策。日本スポーツ振興センター加入金。小中学校体育連盟負担金。学校保健会負担金等	8,577,672	プールの消毒液、給食室O-157対策消耗品等購入し、適正な衛生管理に努めている。
20	健康診断事業	調理員細菌検査。教職員健康診断。児童生徒健康診断	6,930,918	検査機関へ委託し、児童生徒の健康管理や安全な給食調理体制を図っている。
21	学校給食安全対策事業	給食の安全を確認するため、サンプリングしてゲルマニウム検査を実施	84,240	検査機関へ委託し、児童生徒の健康管理や安全な給食調理体制を図っている。
合 計			548,320,326	

3(2) 学校教育課の事業と評価

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
1	学校指導事業	指導主事会、各種教育担当者会等への出席に係る旅費	61,110	担当者会、研究会議等に出席し、学校への周知、指導の充実を図った。
2	英語講師派遣事業	英語教育充実のため、全小中学校へALT(外国語指導助手)を派遣する事業	7,366,788	小学校外国語活動の指導補助、中学校英語授業の指導補助を行い、小中学生の英語への興味関心を高め語学力の向上を図った。
3	児童生徒野外学習推進事業	小中学校の野外体験活動に対する補助金(1人あたり)小学生@1,000円、中学生@1,500円	914,000	小学校は野外学習及び夏季の臨海・林間学習、中学校は野外学習及び冬季のスキー教室等を実施し、社会性、協調性を養った。
4	学校生活適応指導教室推進事業	学校生活適応指導教室「あすなる教室」開室に係る事業	8,238,116	あすなる教室の指導員による指導や相談活動を実施した。引きこもり状態の解消や学校への復帰等の成果を挙げている。指導員5名(嘱託2、臨時3)
5	「新城ハートフルスタッフ」活用事業	学校内における発達障害、不登校傾向の児童生徒の学習等の支援に係る事業	18,502,912	特別な支援が必要な児童生徒の学習支援に成果を挙げている。
6	学校教育研究委嘱事業	県の各種学校教育研究委嘱事業	185,000	「あいち・出会いと体験の道場」推進事業、地域に学び・語り継ぐキャリア教育推進事業、外部専門機関と連携した英語指導力向上事業
7	へき地教育振興事業	県の補助事業で、へき地小規模校集合学習事業とへき地発児童生徒ふるさと交流活動事業	298,000	小規模学校による集合学習、都市体験学習等を実施した。
8	学事関係事業	研究研修事業 中小学校体育連盟新城支所運営事業	1,083,000	市教職員対象に教育実践論文を募集し、教職員の実践力向上に寄与した。 中小学校体育大会等運営事業費
9	いじめ対策事業	新城市いじめ対策人権サポート委員会及び新城市いじめ対策人権問題調査委員会開催に係る事業	57,864	定例会年2回、臨時会随時とし、課題について検討した。
10	不登校対策事業	子どもサポート相談員、スーパーバイザー、臨床心理士を配置し、不登校児童生徒及び保護者を支援する事業	6,266,774	不登校・いじめ問題における教育相談や巡回相談を行った。 学校、あすなる教室、こども未来課等と連携した支援活動、不登校いじめ問題への助言を行った。

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
11	学校教育支援事業	派遣依頼のあった小中学校へ理科観察実験支援員を配置する事業	600,000	理科観察実験支援員を小学校3校、中学校1校へ配置し、観察・実験等の準備や、理科室の整備等の支援を行った。
12	中学生海外派遣事業	未実施	0	今年度の派遣及び交流事業を中止した。
13	語学教育事業	英語への関心や英語力向上をめざしたイングリッシュチャレンジ、英語スピーチコンテスト開催に係る事業	54,437	イングリッシュチャレンジ 8月1日開催(作手交流館) スピーチコンテスト 10月6日開催(文化会館)
14	小中学校英語教育推進事業	令和2年度完全実施の新学習指導要領で教科化される外国語の指導力向上を目的とした研修に係る事業	182,040	6小学校で授業研修会を行い、2名の講師を招聘するとともに中学校の英語担当教員も参加し、指導力向上に寄与した。
15	学校図書購入事業	学校図書室図書購入事業 小学校、中学校へ均等割、学級数割に応じ配分	2,630,028	全冊1,610冊 契約者 愛新堂書店 各小中学校の図書の充足率が向上した。
16	研究研修事業	しんしろ教師塾 市現職教育事業 教職員研修会事業 「確かな学力向上」事業 「共育」推進・校内現職教育研修事業 体・徳・知の教育活動推進事業 教育論文審査	3,902,291	しんしろ教師塾を開催し、教師力の向上に努めた。 教楽チャレンジ 12月2日(新城東高校)107名参加 聞いてください私の話 1月7日(文化会館)22組31名参加 おもしろ実験観察教室 8月8日(西部公民館)約300名参加 しんしろの教育 年4回発行
17	児童派遣事業	小学校の体育大会派遣費、芸術教室に参加するための児童輸送費の助成費	835,210	各種大会(球技大会・駅伝大会)を実施した。
18	生徒派遣事業	中学校の部活動に係る各種大会等へ生徒を派遣するための助成費	2,602,780	各種大会派遣費 中学校部活動が活発に推進された。
19	衛生管理事業	新城市学校保健会運営委託事業費	290,000	新城市学校保健会運営事業費
合 計			54,070,350	

**3(3) 生涯共育課(共育)の事業と評価**

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
1	生涯学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進懇談会の開催</li> <li>・まちなか博物館の運営・管理</li> </ul>	269,593	生涯学習推進計画に基づく諸事業を実施するとともに、後継計画である『新城市共育推進計画』を策定した。
2	生涯学習支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育審議会、公民館運営審議会の開催</li> <li>・県社会教育委員連絡協議会・県公民館連合会総会、研修会等</li> <li>・地区の生涯学習活動の支援</li> </ul>	7,848,851	地域の生涯学習活動の充実と、地域住民の交流が図られた。
3	共育推進事業	共育講座の開催	339,897	「共育」の理念のもと、家庭・地域が青少年の健全育成に共に活動する機会を創出するとともに、親子で活動する機会を創出した。
4	共育活動支援事業	・社会教育団体(PTA、子ども会)への活動補助	3,742,756	社会教育団体の活動に寄与した。
5	青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会開催</li> <li>・青少年愛のパトロール実施</li> <li>・成人式の開催</li> <li>・社会を明るくする運動 青少年の非行・被害防止に取り組む運動合同会議開催</li> </ul>	851,086	青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策の展開及び新成人代表者により企画・運営された成人式の開催により自立した青少年の育成が図られた。
6	西部公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理運営</li> <li>・共育講座の開催</li> </ul>	6,420,695	地域の拠点施設として、生涯学習活動の推進に寄与した
7	新城青年の家管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理運営</li> <li>・施設修繕</li> <li>・共育講座の開催</li> </ul>	9,757,367	青少年をはじめ、各種団体活動に寄与した
8	鳳来中央集会所管理運営事業	・施設の管理運営	2,101,731	地域の生涯学習活動の推進に寄与した
9	玖老勢コミュニティプラザ管理運営事業	施設の維持管理運営	1,492,250	地域の生涯学習活動の推進に寄与した
10	海老構造改善センター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理運営</li> <li>・施設修繕</li> </ul>	2,340,056	地域の生涯学習活動の推進に寄与した
11	共育施設管理運営事業	施設の維持管理運営	2,262,825	放課後の児童対策に寄与した
合 計			37,427,107	



3(4) 生涯共育課(スポーツ)の事業と評価

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
1	市民スポーツ振興事業	スポーツ推進委員を委嘱し地域の体育活動を推進 (関係機関の行う研修・会議等に参加し、各種スポーツの指導者を養成する) スポーツ競技全国大会出場者への激励費支給 少年スポーツ教室及び水泳教室などの開催 愛知県市町村対抗駅伝競走大会への参加	6,102,190	スポーツ推進委員32名 1年目体振、地区等から選出 共育の日などに講師として参加しスポーツの振興を図り、地域スポーツの啓発に取り組んだ。 少年スポーツ教室を開催 子供へのスポーツ機会の充実を図ることができた。
2	スポーツ団体支援事業	スポーツ団体の育成強化を図るため、体育協会とスポーツ少年団の活動に対して助成	3,508,500	団体支援によりスポーツ活動の機会を確保することができ、住民の健康と体力の向上に貢献できた。
3	新城マラソン大会開催事業	健康への意識向上を図るため、新城マラソン大会の開催	1,557,000	参加者、観覧者などの立場を考え会場の配置を変更したことや、参加者の声を聞くためアンケートを実施し次回大会へ反映できるよう検討した。
4	保健体育一般事務事業	県や各市町村の関係団体との連絡調整にかかる経常経費です。	10,500	県内市町村との連携が図られた。
5	鬼久保ふれあい広場管理事業	鬼久保ふれあい広場の維持管理	10,909,119	テニスコートの改修を行い、利用者の利便性の向上に努めた。 今後は改修によって新たな顧客を誘致し、周年を通じて集客できるよう施設のPRや新たな施策の展開が課題となる。
6	作手武道館管理事業	作手武道場・弓道場の維持管理	112,510	適切な維持管理によりスポーツ活動の場を提供することができた。
7	有海緑地公園管理事業	有海緑地公園体育施設の維持管理	4,038,511	高速道路により野球場の利用が制限されている。利用方法について制限しているため夜間の利用者が減少した。
8	ふれあいパークほうらい管理事業	ふれあいパークほうらいの維持管理	4,758,050	適切な維持管理によりスポーツ活動の場を提供することができた。
9	桜淵いこいの広場管理事業	桜淵いこいの広場(運動広場下段・テニスコート)の維持管理	5,369,386	適切な維持管理によりスポーツ活動の場を提供することができた。
10	竹ノ輪グラウンド管理事業	竹ノ輪グラウンドの維持管理	206,433	適切な維持管理によりスポーツ活動の場を提供することができた。
11	夜間照明施設管理事業	夜間照明施設の維持管理(新城小・千郷小・八名中・有海グラウンド・鳳来中部小・東陽小・鳳来東小・新城高校・新城東高校作手校舎)	3,059,657	適切な維持管理によりスポーツ活動の場を提供することができた。

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
12	学校体育施設管理事業	学校開放に伴う施設の管理運営	2,413,880	地域住民の健康と体力の向上に貢献できた。
13	鬼久保ふれあい広場整備事業	鬼久保ふれあい広場の施設整備	40,117,982	施設改修を実施し、新規顧客の集客をする
14	新城武道場管理事業	旧市民体育館の分館を新城武道場と改めその維持管理	107,685	適切な維持管理によりスポーツ活動の場を提供することができた。
15	穂の香看護専門学校体育施設管理事業	穂の香看護専門学校が管理する体育施設(体育館・グラウンド)を、不足する本市の体育施設の場として市民に開放	620,539	市民のスポーツ施設として一般開放ができ活動の場の提供ができた。
16	廃校体育施設管理事業	廃校体育施設開放に伴う施設の管理運営	368,101	地域住民の健康と体力の向上に貢献できた。
合 計			83,260,043	

**3(5) 生涯共育課(文化)の事業と評価**

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
1	市文化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者による文化事業開催</li> <li>つくでの森の音楽祭開催</li> <li>作手古城まつり開催</li> </ul>	7,804,320	バラエティーに富んだ文化事業を実施し、市民が文化や芸術に触れる機会を提供した。
2	市民文化講座開設事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民委員による文化講座運営委員会と協働により市民文化講座を開催。</li> </ul>	1,987,550	年間を通じ2回の講座を実施。多数の市民が聴講し好評を得た。
3	文化団体支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市文化協会補助金</li> </ul>	2,155,000	各分野の文化組織の集合体である新城市文化協会の活動を支援し文化振興に寄与した。
4	地域文化広場管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化会館の管理運営(指定管理)</li> </ul>	92,773,721	文化会館の管理運営について、(株)ケイミックスパブリックビジネスへ指定管理により委任し、順調に管理運営が実施できた。
5	地域文化広場改修事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木伐採抜根・インターロッキング補修工事</li> <li>吊物バトン滑車・リミットスイッチ取替工事</li> </ul>	15,764,760	各種改修工事を実施し、来客者の利便性の向上に寄与した。
6	図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書資料の購入</li> <li>新城図書館まつりの開催</li> </ul>	34,248,930	図書館まつりでは、幼児から中高生など、幅広い年代を対象したイベント構成により開催した。
合 計			154,734,281	

3(6) 生涯共育課(文化財)の事業と評価

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
1	文化財保護事業 ①文化財環境整備委託等	文化財指定地の維持管理のための環境整備、長篠城跡の保存活用計画書の策定、鏡岩下遺跡発掘調査報告書の作成などを実施した。	15,473,685	文化財指定地の環境保全を整備実施したことや周知PRなどを通して、地元住民らの文化財保護意識の向上が図られた。
	②文化財保存事業 無形民俗文化財保存伝承	望月家住宅をはじめ、文化財所有者が行う保存修理や日常管理を支援し、また、市内指定伝統民俗芸能保存団体(鍋づる万灯ほか8団体)の伝承保存を目的とした内容の費用補助を実施した。		指定文化財所有者や指定無形民俗保存団体活動への補助により、文化財の適切な保存と伝承が図られた。
2	設楽原歴史資料館管理事業	施設の維持管理	10,216,144	資料館の維持管理
3	設楽原歴史資料館運営事業	①日本海国の立役者 岩瀬忠震展 ②新城城～今蘇る新しき城 ③鉄砲隊の火縄銃展 ④新城の古文書展	1,435,816	日本一の規模を誇る古式銃を所蔵し、その古式銃とともに、長篠・設楽原の戦い、岩瀬忠震の紹介を行っている。本年度、実施した4つの企画展はいずれも本資料館設立の趣旨に沿ったものである。また、単に企画展を実施するだけでなく、その事業に付随して記念講演会や複数の会の展示解説など関連行事を積極的に実施した。さらに、ふみの蔵コンサートを5回開催し、文化と歴史の融合を図るとともに、資料館との縁が浅いが文化への関心が深い層への周知を行い、その定着を図った。
4	長篠城址史跡保存館管理事業	施設の維持管理	6,769,807	保存館の維持管理
5	長篠城址史跡保存館運営事業	特別展の開催 ①新城高等女学校と学徒動員 ②新城の古文書展 歴史講座「徳川家康と三河武士」を6講座で開催。うち1回は現地学習(小田原)	962,841	夏の特別展はかつて新城に存在した新城高等女学校を紹介する展示を行い、古文書展では近代の選挙関係の文書を中心に展示した。いずれも地域住民や関係機関の協力のもとで郷土に残る文化財を活用した特色豊かな展示となった。 歴史講座は「徳川家康と三河武士」と題し、徳川家康の家臣として長篠・設楽原の戦いで活躍した三河武士たちに焦点を当てた連続講演を実施し、受講者の郷土に対する理解を一層深めた。

単位:円

	事業名	事業概要	支出済額	評価
6	長篠城址史跡保存館施設整備基金積立事業	保存館整備基金利子の基金への積立	2,895	基金利子の積立
7	鳳来寺山自然科学博物館管理事業	施設の維持管理	6,630,626	博物館の維持管理
8	鳳来寺山自然科学博物館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別展</li> <li>①鳳来寺山展-前編-</li> <li>②鳳来寺山展-後編-</li> <li>③きのこ展</li> <li>④東三河のジオサイト展</li> <li>●野外学習会5回</li> <li>●子ども&amp;子どもにかえりたい大人の自然講座3回</li> <li>●執筆・出版活動(館報48号の発行)</li> <li>●ガイドツアー、学校等への出前講座</li> <li>●自然環境調査と資料収集保存活動</li> </ul>	2,087,927	<p>東三河で取り組みをしているジオパーク構想に関連させた特別展や鳳来寺山、地元の野生きのこを紹介する特別展を開催した。また、教育普及活動として野外学習会を8回、子ども向けの自然講座を3回開催。さらに、出前講座や博物館ガイドツアー等を行い、郷土の自然に対する理解や自然環境の大切さを学ぶ機会を設けた。</p> <p>調査研究活動として、新城市を中心とした自然環境調査を実施した。事業報告とともに、調査研究成果を館報に掲載し、情報を発信するとともに、後世のために記録を残すことができた。</p> <p>博物館標本や資料整理において、友の会ボランティアの協力を得て、標本類の整理とデータベース化を推進することができた。</p>
9	作手歴史民俗資料館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料館の維持管理</li> <li>・企画展の開催(2回)</li> <li>・体験講座等の開催(4回)</li> </ul>	1,706,943	作手高原の特異な自然、歴史、文化等を紹介・案内を行い、その中で企画展や体験講座等の開催を実施した。
10	ジオパーク構想推進事業	東三河ジオパーク構想推進活動ジオツアーの開催	2,606,775	東三河ジオパーク構想の実現に向けて、ジオツアーの開催、ジオガイド養成、シンポジウムの開催、ポスター作成を行い普及啓発に取り組んだ。また、ジオサイト調査、JGN全国大会、研修等に参加し情報の収集に努めた。
11	湿地サミット開催事業	<p>第27回湿地サミット開催 6月5日(火) 参加者:251名 サミット会場:旧開成小学校体育館 現地見学:長ノ山湿原、清岳向山湿原、黒瀬庄ノ沢緑地、作手歴史民俗資料館</p>	361,092	湿地の保全・保護をテーマに意見・情報交換を行うことにより交流および知識を深め湿地のあり方について検討していくことを目的とし、第27回湿地サミットを開催した。サミットは講演、取り組み報告および意見交換、現地見学を行った。
合 計			32,419,774	

4	学校教育の状況
---	---------

4(1)	小中学校の児童生徒数、教員数、職員数
------	--------------------

平成30年5月1日現在 単位：人

1 小学校の状況（13校）

単位：人

学校名	所在地	学級数	児 童 数			教員数			事務職員	栄養職員	運用手	調理員
			男	女	計	男	女	計				
新 城	字西入船76	15 (3)	168 (13)	175 (1)	343 (14)	8	22	30	1	1	1	4
千 郷	杉山字前野4-1	23 (6)	327 (21)	263 (7)	590 (28)	18	22	40	1	1	1	7
東郷西	平井字東原37-1	15 (3)	158 (12)	129 (2)	287 (14)	10	18	28	1		1	4
東郷東	八束穂404-2	8 (2)	87 (5)	97 (4)	184 (9)	7	12	19	1		1	3
舟 着	日吉字小袋13	8 (2)	40 (2)	31 (1)	71 (3)	7	7	14	1		1	1
八 名	富岡字半ノ木15-1	10 (2)	110 (0)	108 (3)	218 (3)	7	11	18	1		1	3
庭 野	庭野字川大田33	6 (2)	20 (3)	15 (0)	35 (3)	5	8	13	1		(1)	1
鳳来中部	長篠字竹田14	8 (2)	73 (5)	68 (1)	141 (6)	8	8	16	1		1	2
鳳来寺	玖老勢字大栗平1	6 (0)	32 (0)	32 (0)	64	7	5	12	1		3	2
黄柳川	下吉田字五反田187-1	5 (0)	26 (0)	31 (0)	57	6	5	11	1		1	2
東 陽	大野字小林70	8 (2)	43 (5)	61 (1)	104 (6)	8	7	15	1		1	2
鳳来東	川合字コシ75-1	3 (0)	11 (0)	10 (0)	21	3	5	8	1		(1)	1
作 手	作手田原字朴橋3	8 (2)	37 (1)	41 (1)	78 (2)	6	11	17	1	1	4	3
合 計		123	1,132	1,061	2,193	100	141	241	13	3	16	35

2 中学校の状況（6校）

単位：人

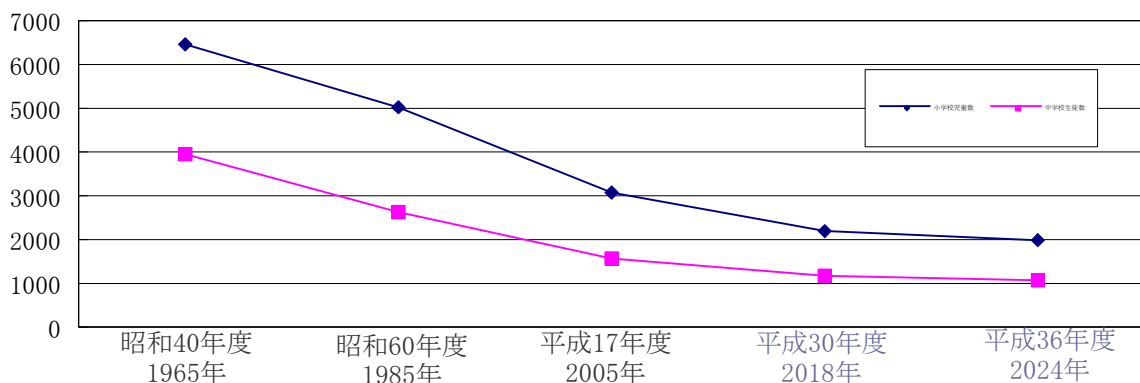
学校名	所在地	学級数	生 徒 数			教員数			事務職員	栄養職員	運用手	調理員
			男	女	計	男	女	計				
新 城	字滝ノ上1	9 (2)	118 (3)	108	226 (3)	15	10	25	1		1	3
千 郷	杉山字道目記24	12 (3)	172 (4)	154 (3)	326 (7)	19	7	26	1		1	5
東 郷	竹広字宮川162-2	9 (2)	136 (4)	101	237 (4)	15	12	27	1	1	1	3
八 名	富岡字萩平野3	6 (2)	65 (3)	58	123 (3)	12	8	20	1		1	2
鳳 来	長篠字仲野1	9 (2)	117 (3)	98 (1)	215 (4)	13	15	28	1	1	1	4
作 手	作手高里字ブック田5	5 (2)	22	22 (2)	44 (2)	11	6	17	1		1	
合 計		50	630	541	1,171	85	58	143	6	2	6	17

※( )は特別支援の学級数・児童生徒数で外数、用務員の内( )は兼務者で運転士含む

## 4(2) 小中学校の児童生徒数・教職員数の推移及び推計

単位：人（人数の推移は各年度5月1日時点）

学 校 名	昭和40年度 (1965年)		昭和60年度 (1985年)		平成17年度 (2005年)		平成30年度 (2018年)		平成36年度 (2024年) 見込		
	児童生徒数	教職員数	児童生徒数	教職員数	児童生徒数	教職員数	児童生徒数	教職員数	児童生徒数	教職員数	
新城小学校	920	27	773	31	499	29	343	30	307		
千郷小学校	710	21	1,062	39	764	37	590	40	579		
東郷西小学校	368	13	360	20	326	19	287	28	239		
東郷東小学校	570	19	492	22	278	22	184	19	154		
舟着小学校	日吉小学校	131	8	169	10	103	11	71	14	57	
	吉川小学校	105	8								
	市川小学校	24	4								
八名小学校	八名小学校	440	14	464	19	263	21	218	18	184	
	八名井小学校	32	6								
	宇理小学校	146	8								
庭野小学校	69	5	78	10	59	11	35	13	26		
鳳来中部小学校	長篠小学校	318	16	360	18	194	15	141	16	134	
	乗本小学校	75	7								
鳳来寺小学校	門谷小学校	55	5	126	10	38	11				
	鳳来小学校	159	8								
鳳来西小学校	布里小学校	175	8	93	10	39	10	64	12	62	
	愛郷小学校	103	8								
	海老小学校	227	8								
連谷小学校	連谷小学校	76	6	42	8	14	8				
	山吉田小学校	276	11	180	10	73	12	57	11	56	
黄柳川小学校	黄柳野小学校	61	5	41	9	24	10				
東陽小学校	富栄小学校	176	6	362	19	160	13	104	15	99	
	阿寺小学校	29	5								
	大野小学校	211	8								
	能登瀬小学校	105	9								
	細川小学校	69	9								
	七郷一色小学校	52	6								12
鳳来東小学校	名号小学校	56	5	84	10	30	9	21	8	12	
	川合小学校	146	8								
作手小学校	作手小学校北校舎	菅守小学校	40	8	32	8	28	11	78	17	78
		開成小学校	167	8	96	11	38	13			
	作手小学校南校舎	巴小学校	218	8	75	10	85	13			
		協和小学校	150	9	29	9	33	11			
合 計	6,459	304	5,021	300	3,076	295	2,193	241	1,987		
新城中学校	673	25	534	28	255	23	226	25	186		
千郷中学校	455	21	542	27	367	23	326	26	312		
東郷中学校	647	26	462	23	300	24	237	27	212		
八名中学校	448	20	273	18	179	16	123	20	121		
鳳来中学校	長篠中学校	251	12	679	32	358	27	215	28	202	
	鳳来東中学校	151	9								
	鳳来西中学校	173	11								
	海老中学校	190	10								
	山吉田中学校	214	11								
東陽中学校	483	27									
作手中中学校	作手中中学校	264	12	138	12	107	13	44	17	37	
	作手南中学校	81	7								
合 計	4,030	191	2,628	140	1,566	126	1,171	143	1,070		



単位：人

学 校 名		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
		(2012年)	(2013年)	(2014年)	(2015年)	(2016年)	(2017年)	(2018年)	(2019年)	(2020年)	(2021年)	(2022年)	(2023年)
		児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数	児童生徒数
新城小学校	単年数	55	58	64	60	54	56	42	49	45	57	50	48
	全体数						347	334	325	306	303	299	291
千郷小学校	単年数	110	107	106	103	76	109	104	93	98	96	86	95
	全体数						611	605	591	583	576	586	572
東郷西小学校	単年数	48	47	51	55	44	46	44	46	46	32	31	27
	全体数						291	287	286	281	258	245	226
東郷東小学校	単年数	31	40	35	28	27	29	28	27	24	27	15	21
	全体数						190	187	174	163	162	150	142
舟着小学校	単年数	9	15	13	9	9	13	10	12	15	6	9	7
	全体数						68	69	66	68	65	65	59
八名小学校	単年数	37	35	42	35	47	35	24	36	33	33	26	23
	全体数						231	218	219	210	208	187	175
庭野小学校	単年数	61	4	4	5	5	9	7	4	7	2	4	4
	全体数						29	34	34	37	34	33	28
鳳来中部小学校	単年数	32	24	22	25	25	24	18	27	34	24	20	13
	全体数						152	138	141	153	152	147	136
鳳来寺小学校	単年数	12	9	12	12	9	12	13	11	10	5	6	6
	全体数						66	67	69	67	60	57	51
黄柳川小学校	単年数	18	6	8	11	8	14	13	9	5	12	9	5
	全体数						65	60	63	60	61	62	53
東陽小学校	単年数	21	13	19	14	21	19	20	19	19	13	16	6
	全体数						107	106	112	112	111	106	93
鳳来東小学校	単年数	2	3	5	2	6	1	3	3	0	1	2	0
	全体数						19	20	20	15	14	10	9
作手小学校	単年数	16	15	19	8	15	6	13	10	18	9	11	4
	全体数						79	76	71	70	71	67	65
合 計		452	376	400	367	346	373	339	346	354	317	285	259
新城中学校	単年数				71	80	81	64	73	77	69	63	69
	全体数						232	225	218	214	219	209	201
千郷中学校	単年数				111	115	101	110	107	106	103	76	109
	全体数						327	326	318	323	316	285	288
東郷中学校	単年数				96	86	73	79	87	86	83	71	75
	全体数						255	238	239	252	256	240	229
八名中学校	単年数				41	39	45	39	39	46	40	52	44
	全体数						125	123	123	124	125	138	136
鳳来中学校	単年数				84	74	56	85	55	66	64	69	70
	全体数						214	215	196	206	185	199	203
作手中学校	単年数				21	13	16	16	15	19	8	15	6
	全体数						50	45	47	50	42	42	29
合 計				424	407	372	393	376	400	367	346	373	

※ 上記は、平成29年5月1日現在の、市内に住んでいる0歳児以上の人数の推計です。  
 今後の転出入等は見込んでいません。



4(3) 施設・設備の安全

平成30年度 新城市学校施設耐震化状況

(平成31年3月31日現在)

学 校 名	建 物 区 分	建 築 年 月	構 造	面 積	診 断 年 度	補 強 前				補 強 後				補強・改 築事業費 (単位：千円)
						I s 値	CT×SD値	q 値	判定	I s 値	CT×SD値	q 値	耐震状況	
新城小学校	校舎	S48.3	R	1,433	H18	0.38	0.38	—	×	0.71	0.72	—	○ H20済	118,650
	〃	S48.8	R	1,502	H18	0.38	0.38	—	×	0.71	0.72	—	○ H20済	
	〃	S56.8	R	3,540	—	—	—	—	—	—	—	—	—	472,584
	屋体	H25.3	R	1,311	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
千郷小学校	校舎	S47.1	R	2,132	H18	0.54	0.54	—	×	0.76	0.76	—	○ H20済	38,640
	〃	S54.2	R	729	H18	0.37	0.37	—	×	0.74	0.74	—	○ H20済	
	〃	H2.8	R	3,473	—	—	—	—	—	—	—	—	—	284,550
	屋体	H18.3	R	1,312	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
東郷西小学校	校舎	S38.8	R	1,546	—	—	—	—	—	—	—	—	○ H9済	
	〃	S63.2	R	1,489	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋体	H4.2	R	1,113	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
東郷東小学校	校舎	S34.10 S38.8	R	2,313	H19	0.40	0.40	—	×	0.71	0.71	—	○ H22済	67,725
	〃	H1.2	R	2,156	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77,544
	屋体	H29.12	S	808	H18	0.86	—	1.04	○	—	—	—	—	
舟着小学校	校舎	S56.3	R	1,180	H19	1.14	0.34	—	○	—	—	—	—	
	〃	S56.6	R	424	H19	1.14	0.34	—	○	—	—	—	—	
	屋体	S50.3	R	468	H18	0.23	—	0.13	×	0.84	0.84	—	○ H22済	
八名小学校	校舎	H9.11	R	3,861	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250,950
	屋体	H19.3	S	1,165	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
庭野小学校	校舎	S62.3	R	1,922	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋体	H7.2	R	814	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
鳳来中部小学校	校舎	S53.3	R	1,017	H15	0.50	0.32	—	×	0.73	0.42	—	○ H16済	
	〃	S53.7	R	1,551	H15	0.41	0.25	—	×	0.76	0.77	—	○ H16済	
	〃	H14.1	S	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋体	S47.1	S	478	H15	0.34	—	0.51	×	1.08	—	2.41	○ H16済	
鳳来寺小学校	校舎	S54.6	R	1,826	H17	0.78	0.80	—	○	—	—	—	—	
	〃	H28.3	S	406	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋体	S47.11	S	409	H15	0.33	—	1.03	×	0.77	—	1.51	○ H16済	
黄柳川小学校	校舎	H24.9	W	1,891	—	—	—	—	—	—	—	—	—	477,750
	〃	H24.9	R	221	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋体	H24.9	R	616	—	—	—	—	—	—	—	—	—	242,539
東陽小学校	校舎	S51.3	R	982	H17	0.48	0.33	—	×	0.72	0.73	—	○ H19済	33,128
	〃	S51.3	R	467	H17	0.55	0.23	—	×	0.72	0.73	—	○ H19済	
	〃	S51.7	R	547	H17	0.55	0.23	—	×	0.72	0.73	—	○ H19済	
	〃	S52.3	R	581	H17	0.47	0.47	—	×	0.74	0.47	—	○ H19済	
	屋体	S52.3	S	897	H17	0.01	—	0.01	×	1.12	—	2.03	○ H17済	

学 校 名	建 物 区 分	建 築 年 月	構 造	面 積	診 断 年 度	補 強 前				補 強 後				補 強 ・ 改 築 事 業 費 (単 位 : 千 円)
						I s 値	CT×SD値	q 値	判 定	I s 値	CT×SD値	q 値	耐 震 状 況	
鳳来東小学校	校 舎	S31.3	R	1,216	H19	0.80	0.81	—	○	—	—	—	—	
	〃	S55.2	R	202	H19	1.41	1.28	—	○	—	—	—	—	
	屋 体	S55.2	S	499	H18	2.58	—	3.33	○	—	—	—	—	
作手小学校	校 舎	H29.3	W	818	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.3	W	1,306	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.3	R	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.3	R	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.3	S	338	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.3	W	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.3	R	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.3	S	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	H29.6	W	106	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋 体	H29.3	R	652	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
新城中学校	校 舎	S60.12	R	4,154	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	S60.12	R	1,169	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋 体	H13.3	S	1,643	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*(武庫部)	H16.3	S	549	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
千郷中学校	校 舎	S58.8	R	2,258	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	S58.8	R	255	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	S58.8	R	1,188	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	〃	S58.8	R	1,406	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋 体	H6.2	R	1,922	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
東郷中学校	校 舎	S55.7	R	3,305	H19	0.66	0.44	—	×	0.75	0.75	—	○ H23済	58,889
	〃	S55.7	R	1,139	H19	0.75	0.75	—	○	—	—	—	—	
	屋 体	S57.2	S	1,181	H19	1.31	—	2.39	○	—	—	—	—	
八名中学校	校 舎	S62.8	R	3,121	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	屋 体	H23.2	R	1,787	—	—	—	—	—	—	—	—	—	429,660
鳳来中学校	校 舎	S44.3	R	1,750	H14	0.36	0.36	—	×	0.70	0.56	—	○ H15済	
	〃	S45.2	R	275	H14	0.40	0.40	—	×	0.72	0.73	—	○ H15済	
	〃	S45.4	R	269	H14	0.40	0.40	—	×	0.72	0.73	—	○ H15済	
	〃	S48.1	R	826	H14	0.40	0.40	—	×	0.72	0.73	—	○ H15済	
	〃	S44.5	R	1,070	H14	0.72	0.72	—	○	—	—	—	—	
	〃	S45.2	R	295	H14	0.72	0.72	—	○	—	—	—	—	
	〃	S45.12	S	306	H19	1.58	—	1.92	○	—	—	—	—	
	〃	S45.12	S	314	H19	1.21	—	1.68	○	—	—	—	—	
屋 体	H20.3	R	2,194	—	—	—	—	—	—	—	—	—	408,359	
作手中学校	校 舎	S39.10	R	1,631	H20	0.37	0.34	—	×	0.74	0.74	—	○ H21済	103,420
	屋 体	S40.10	S	658	H19	0.75	—	1.50	○	—	—	—	—	

※ 耐震化を推進しなければいけない対象建物は、昭和56年5月以前建築で、非木造で2階建以上又は、延床面積200㎡超の建物

※            : 耐震化の必要な施設 (I s 値 0.7未満)

※ 補強・改築事業費は、平成17年10月以降の工事費を掲載。

平成30年度 新城市学校施設改修・修繕状況

改修・修繕工事名	修繕・改修内容	工事費(単位:円)
庭野小学校コンピュータ教室空調機設置工事	空調機の設置	2,203,200
千郷小学校校長室空調機設置工事	空調機の設置	896,400
鳳来寺小学校消防設備等改修工事	消火栓改修・体育館内装改修	11,340,000
ブロック塀撤去工事	新城市玖老勢字大栗平地内他3箇所 ブロック塀の撤去	1,198,800
八名小学校校門改修工事	石積塀の撤去、フェンス設置	840,240
新城中学校校長室空調機設置工事	空調機の設置、受変電設備改修	3,801,600
その他小学校修繕(施設分)	新城小学校給食室修繕 新城小学校遊具修繕 新城小学校漏水修繕 千郷小学校遊具修繕 千郷小学校雨漏り修繕 東郷西小学校プールろ過機修繕 東郷東小学校消防設備修繕 東郷東小学校雨漏り修繕 舟着小学校防球ネット修繕 八名小学校遊具修繕 庭野小学校体育館屋根修繕 鳳来中部小学校浄化槽修繕 鳳来寺小学校消防設備修繕 黄柳川小学校特別支援教室修繕 東陽小学校給食室換気フード修繕 東陽小学校給食室給湯管修繕 東陽小学校給食室トイレ修繕 東陽小学校給食室配管修繕 東陽小学校高圧受電設備修繕 鳳来東小学校仮設配管修繕 他	15,705,722
その他中学校修繕(施設分)	新城中学校渡り廊下屋根修繕 新城中学校弓道場修繕 千郷中学校高架水槽修繕 東郷中学校浄化槽修繕 八名中学校インターロッキング修繕 鳳来中学校給水管漏水修繕 作手中学校配管修繕 他	4,583,088

#### 4(4) 登下校の安全・安心、通学費補助状況

県土の約1割を占める広大な市域（499 k m<sup>2</sup>）に小学校が13校、中学校が6校あり、下の表のとおりスクールバス11台を含むさまざまな方法で通学している。

各小学校区では、登下校時におけるスクールガードによる見守りや見回りが定着してきて、地域の安全意識が高まっている。

平成31年3月1日現在

		全校児童 生徒数	徒歩	自転車	JR飯田線	路線バス	スクールバス	公共交通機 関利用者計	公共交通機 関利用者率	通学費 補助者数	通学費補助総額（円）
1	新城小学校	346	346								
2	千郷小学校	585	396			189		189	32.3%	189	8,132,400
3	東郷西小学校	290	290								
4	東郷東小学校	184	176			8		8	4.3%	8	259,200
5	舟着小学校	71	55			16		16	22.5%	16	518,400
6	八名小学校	218	108			83	27	83	38.1%	83	2,689,200
7	庭野小学校	35	35								
8	鳳来中部小学校	141	134			7		7	5.0%	7	269,880
9	鳳来寺小学校	64	17			3	44	3	4.7%	3	122,340
10	黄柳川小学校	56	41				15				
11	東陽小学校	104	59			20	25	20	19.2%	20	680,400
12	鳳来東小学校	21	18		3			3	14.3%	3	40,980
13	作手小学校	79	26				53				
	計	2,194	1,701	0	3	326	164	329	15.0%	329	12,712,800
14	新城中学校	228	200	28							
15	千郷中学校	325	163	162							
16	東郷中学校	239	61	178							
17	八名中学校	123	28	95							
18	鳳来中学校	216	48	46	45	77		122	56.5%	122	11,301,800
19	作手中学校	46	9	29		4	4	4	8.7%	4	259,200
	計	1,177	509	538	45	81	4	126	10.7%	126	11,561,000

※路線バスには、豊鉄バスと市営バスがあります。

## 4(5) 学校給食と食育

### 1 学校給食の実施状況

本市では、小学校12校・中学校5校にて単独調理場で自校給食方式を実施している。  
作手地区においては、小学校で中学校の給食も調理し配送する親子方式を実施している。

平成30年度 学校給食費		調理員の数 (単位：人 3月31日現在)					
1食平均価格		正規	再任用	任期付	臨時	小計	合計
小学校	247 円	2	0	14	26	42	62
中学校	283 円	2	0	6	12	20	

### 2 地場産物の使用状況

栄養教諭・栄養職員在籍5校（新城地区3校、鳳来地区1校、作手地区1校）で調査を実施。  
愛知県は、第3次愛知県食育推進計画において県産食品数使用率45%以上を目標としている。新城市でも、平成33年度までに市内産率30%以上となることを目標に掲げ、農畜産物の消費拡大を図っている。

#### (1) 使用する新城市産食材

米、キャベツ、きゅうり、大根、たまねぎ、ねぎ、じゃがいも、にんじん、卵、白菜、葉ねぎ、白ねぎ、なす、トマト、モロッコいんげん、ピーマン、かぼちゃ、里芋、米粉、春菊、ブロッコリー、さつまいも、抹茶、鳳来牛 など

#### (2) 地産地消率（平成30年度）

月	総食品数	市内産（原料のみ）		市内産（加工品含）		県内産（市内産含）		主な使用食材 （上段：市内産、下段：県内産）
		品数	割合	品数	割合	品数	割合	
4月	1,171	68	5.8%	109	9.3%	421	36.0%	米、大根、卵、抹茶、きゅうり 牛乳、キャベツ、ほうれん草、きゅうり
5月	1,762	160	9.1%	217	12.3%	632	35.9%	米、キャベツ、大根、卵、きゅうり、じゃがいも 牛乳、豚肉、キャベツ、葉ねぎ、ほうれん草
6月	1,811	208	11.5%	267	14.7%	716	39.5%	米、じゃがいも、キャベツ、たまねぎ、きゅうり 牛乳、たまねぎ、ほうれん草、葉ねぎ
7月	1,147	78	6.8%	110	9.6%	380	33.1%	米、なす、かぼちゃ、じゃがいも、ピーマン、トマト 牛乳、豚肉、たまねぎ、葉ねぎ、うずら卵
9月	1,259	72	5.7%	113	9.0%	373	29.6%	米、卵、きゅうり、なす、米粉、かぼちゃ 牛乳、鶏肉、葉ねぎ、うずら卵、もやし
10月	1,769	108	6.1%	163	9.2%	506	28.6%	米、卵、さといも、さつまいも、葉ねぎ 牛乳、豚肉、うずら卵、ほうれん草、もやし
11月	1,658	139	8.4%	193	11.6%	594	35.8%	米、さといも、大根、白菜、卵、さつまいも 牛乳、ほうれん草、うずら卵、葉ねぎ、ごぼう
12月	1,240	200	16.1%	239	19.3%	513	41.4%	米、大根、にんじん、白菜、キャベツ、白ねぎ 牛乳、豚肉、鶏肉、にんじん、ごぼう
1月	1,449	235	16.2%	283	19.5%	608	42.0%	米、にんじん、キャベツ、白菜、さといも 牛乳、鶏肉、にんじん、大根、大豆
2月	1,649	185	11.2%	236	14.3%	661	40.1%	米、にんじん、キャベツ、大根、葉ねぎ、白菜 牛乳、豚肉、鶏肉、にんじん、ブロッコリー
3月	1,136	86	7.6%	118	10.4%	451	39.7%	米、にんじん、葉ねぎ、卵、きゅうり、大根 牛乳、にんじん、キャベツ、大根、ごぼう
合計	16,051	1,539	9.6%	2,048	12.8%	5,855	36.5%	

### 3 学校での食育推進

#### ①食に関する年間指導目標に基づく学習

特別活動（給食時間、学級活動、学校行事、児童会活動）  
国語、社会科、理科、家庭科、道徳、保健、生活科、総合学習等

#### ②「あいちを食べる学校給食の日」の実施

旬の地場産物を用いて、特色あるメニューを展開

6月：しんしろカレーライス（じゃがいも、なす、トマト、さやいんげん、にんじん、たまねぎ）  
豆サラダ（キャベツ、きゅうり、ほうれん草、大豆）

11月：大根と豚バラ肉のみそ煮（大根、白ねぎ、八名丸さといも、豆みそ）、からしあえ（白菜）

1月：お茶かき揚げ（粉茶、にんじん、たまねぎ、ごぼう）、みそしる（大根、白菜、白ねぎ）

五目きしめん（にんじん、大根、白菜、白ねぎ）、鬼まんじゅう（さつまいも）

れんこんサンドフライ（れんこん）、白菜のクリーム煮（白菜、にんじん、たまねぎ）

はちはい汁（大根、にんじん、白菜、白ねぎ）、すいとん汁（大根、にんじん、白菜）

#### ③地域の食を発信

親子料理教室、秋のふるさとを味わう会、収穫祭

#### ④人との交流

ふるさと先生、地元生産者、郷土料理研究家

#### 4 食物アレルギーへの対応

##### (1) 学校給食における除去対応

H30 までは、新城市は自校給食ということもあり、各学校で除去品目を決めて個別に対応をしてきた。しかし、アレルギーの児童生徒の増加、アレルゲンの多様化により、安全性を確保する上での個別対応が難しい状況になってきた。

愛知県では、平成27年3月に文科省から出された「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づき、「対応する食品数を減らす」、「複雑・過剰な対応をしない」、「給食調理や作業の単純化を図り、必要最小限の除去をする」、「個別対応はしない」こととしている。そこで、国や県の指針に基づき、次のように市として統一して除去対応することにした。

- ・平成31年度より、新城市で統一除去品目を「卵・乳」とする。
- ・食物アレルギーの児童生徒に対して、「卵・乳」については、調理の過程で除去してアレルゲンを含まない除去食を提供する。
- ・「卵・乳」以外の品目については、調理過程での除去は行わない。「卵・乳」以外のアレルゲンを含むものは、その品目に対してアレルギーをもった児童生徒には配膳をしない。無配膳となる主食、おかずなどは、必要ならば自宅から持参する。

##### (2) 市統一の除去対応までの経緯

H30.4 東郷西小の重篤な児童の対応について、養護教諭、栄養教諭と対応を協議。

H30.4 栄養教諭、担当校長と個々に面談

H30.5 校長会議にて、「食物アレルギー対応の徹底」提案。各学校に周知。

H30.8 食物アレルギー対応研修会（養護教諭、栄養教諭合同）

H30.8 教育委員会会議にて、市統一の除去対応について提案

H30.9 新城市食物アレルギー対応委員会

※全員、市統一除去対応に賛成

H30.11 教育委員会会議にて「市統一の除去対応について」再度提案

※全員一致で賛成を得る。

H30.12 各学校、保護者に、来年度から「市統一の除去対応について」の文書を発出

【参考資料】市内 学校給食における除去対応が必要な児童生徒数

- |         |                    |     |     |      |    |
|---------|--------------------|-----|-----|------|----|
| ・卵      | 25人                | ・乳  | 24人 | ・小麦  | 2人 |
| ・えび     | 13人                | ・いか | 4人  | ・ごま  | 3人 |
| ・パイナップル | 6人                 | ・もも | 7人  | ・りんご | 6人 |
| ・その他    | (魚、バナナ、ピーナッツ、魚卵など) |     |     |      |    |

#### 4(6) 指定校変更・区域外就学の状況

学校教育法の規定に基づき、児童生徒の指定変更及び区域外就学を認めている。

平成30年度指定変更・区域外就学児童生徒数理由別内訳（平成31年3月31日現在）

##### 1 指定校変更者（市内での変更）

単位：人

申 請 理 由		小学校	中学校
1	指定校に希望する部がない		
2	不登校・いじめ等教育的配慮		1
3	学年途中の異動	2	
4	最終学年の異動	1	
5	自宅の建替えのため一時的に校区外へ転居	2	
6	新築等により学期途中で住所を変更する		
7	校区外の子ども会等に所属	4	1
8	保護者の自営業地へ就学		
9	養育する祖父母宅へ帰宅	1	1
10	国際学級設置校へ就学	7	
11	上記の兄弟姉妹		
12	その他 教育委員会が特別に認める場合	3	
合 計		20	3

##### 2 区域外就学者（他市町村間での変更）

単位：人

申 請 理 由		小学校	中学校
1	指定校に希望する部がない		
2	不登校・いじめ等教育的配慮		
3	学年途中の異動		
4	最終学年の異動		
5	自宅の建替えのため一時的に校区外へ転居		
6	新築等により学期途中で住所を変更する		
7	校区外の子ども会等に所属		
8	保護者の自営業地へ就学		
9	養育する祖父母宅へ帰宅		
10	国際学級設置校へ就学		
11	上記の兄弟姉妹		
12	その他 教育委員会が特別に認める場合	2	4
合 計		2	4

## 4(7) 就学援助の状況

経済的に困窮している保護者に対し、学用品費等の援助を行っている。援助を受けられる人は、次のいずれかに該当し教育委員会が援助を必要と認めた人。

- 1 生活保護を受けている人
- 2 市民税が非課税の人
- 3 市民税・個人事業税・固定資産税の減免を受けている人
- 4 国民年金・国民健康保険税の掛金の減免を受けている人
- 5 児童扶養手当の支給を受けている人
- 6 世帯更正貸付補助金による貸付けを受けている人
- 7 世帯の総所得が生活保護基準の1.3倍以下
- 8 上記以外で、特に経済的に困っている人等

### 1 就学援助限度額

単位：円

	新入学用品費	学用品費	通学用品費	修学旅行費	校外活動費	給食費
小学校	40,600	11,420	2,230	21,490	5,190	全額
中学校	47,400	22,320	2,230	57,590	8,370	全額

### 2 平成30年度の状況（平成31年3月31日現在）

#### (1) 就学援助対象者数（人）

H31新小学1年	28
小学校	202
中学校	117

※新入学用品準備金…H29年度要綱改正。  
次年度1年生に在籍予定の児童生徒に対し、現年度予算で入学前に支給する。

#### (2) 平成30年度支給額

単位：円

	H31新入学用品準備金	新入学用品費	学用品費	通学用品費	修学旅行費	校外活動費	給食費	合計
H31新小学1年	1,136,800							1,136,800
小学校	1,469,400	121,800	2,160,292	351,791	752,150	162,990	8,488,208	13,506,631
中学校		189,600	2,338,020	167,256	1,943,600	206,384	5,047,055	9,891,915

#### (3) 申請理由別人数

申請理由	計	H31新小学1年	小学校	中学校
1 要保護世帯	6	0	3	3
2 市民税非課税	5	1	3	1
3 国民年金減免	0	0	0	0
4 児童扶養手当受給	164	12	96	56
5 その他（収入が少ない等）	172	15	100	57
	347	28	202	117

### 3 過去3年間の受給者数の推移

平成28年度			平成29年度			平成30年度		
受給者率		9.93%	受給者率		10.10%	受給者率		9.43%
	認定者	児童生徒数		認定者	児童生徒数		認定者	児童生徒数
			新小学1年	28	331	新小学1年	28	317
小学校	218	2,264	小学校	220	2,254	小学校	202	2,193
中学校	138	1,322	中学校	135	1,207	中学校	117	1,171
計	356	3,586	計	383	3,792	計	347	3,681



## 4(8) 私学助成の状況

新城市内に住所を有し、10月1日現在、全日制、専修学校等に在学する生徒の保護者のうち、下表の基準に該当する方に対し授業料の援助を行っている。

### 1 所得基準及び補助する金額

区分	所得基準 全学年	年間の補助額 ( )内は専修学校等	
		1・2年生	3年生
甲Ⅰ	当該年度市町村民税所得割額が非課税の世帯	19,920円 (18,780円)	19,920円 (18,780円)
甲Ⅱ	当該年度市町村民税所得割額が51,300円未満の世帯	19,920円 (18,780円)	19,920円 (18,780円)
乙Ⅰ	当該年度市町村民税所得割額が163,500円未満の世帯	13,260円 (12,480円)	13,260円 (12,480円)
乙Ⅱ	当該年度市町村民税所得割額が271,500円未満の世帯	9,960円 (9,360円)	9,960円 (9,360円)

※ただし、実際に納入する授業料の額が補助額に満たない場合は、納入する金額を限度とする。

### 2 平成30年度の状況

(1) 対象者数・・・222人

(2) 平成30年度支給額・・・2,517,540円

区分	人数	金額
甲Ⅰ	19人	196,320円
甲Ⅱ	29人	340,560円
乙Ⅰ	76人	1,004,640円
乙Ⅱ	98人	976,020円
計	222人	2,517,540円

### 3 過去3年間の対象者数の推移

平成27年度	
対象者数	支給金額
235人	2,549,760円
平成28年度	
対象者数	支給金額
206人	2,453,700円
平成29年度	
対象者数	支給金額
229人	2,694,600円

## 4(9) 児童・生徒・教職員の健康管理

学校保健安全法に基づき、定期健康診断をはじめとする各種検診及び環境衛生検査を実施し、疾病の早期発見・治療勧奨に努めると同時に、児童生徒の生活習慣病予防対策を推進するため各種事業を展開している。

教職員の健康診断を、平成22年度から新城市民病院及び作手診療所で実施している。また、鳳来地区及び作手地区の就学時健康診断においては、それぞれ1つの会場で一斉に行い、効率のよい検査実施に努めた。

### 1 教職員健康診断

#### (1) 実施内容 (4月～8月実施)

事業名	内 容	対 象 者
健 康 診 断	身体検査 (問診票、身長・体重、BMI・腹囲、血圧)	全教職員
	心電図	35歳・40歳以上
	胸部X線直接撮影	全教職員
	貧血検査	全教職員
	肝機能検査	全教職員
	血中脂質	全教職員
	尿検査	全教職員
	血糖検査	全教職員
	胃部X線間接撮影	40歳以上

#### (2) 受診者数

- ・35歳 3人
- ・40歳以上 208人
- ・その他 101人

#### (3) 実施場所

- ・新城・鳳来地区 新城市民病院 (1日10人程度)
- ・作手地区 作手診療所 (1日2人程度)
- ・胃検査 市内2ヶ所3日間 (受診者81人)

### 2 児童生徒健康診断

#### (1) 実施内容 (5月～6月実施)

事業名	内 容	対象者
定期健康診断	内科・歯科・(眼科)の各種検診	全児童生徒
結核健康診断	問診(精密検査対象児童生徒はX線直接撮影実施)	全児童生徒
各 種 検 査	尿検査	全児童生徒
	寄生虫卵・蟯虫卵検査	小1～3年
	心電図検査	小1・4年、中1年
	貧血検査	中1年、中2・3年女子
	総コレステロール	小4年、中1年

### 3 就学時健康診断

#### (1) 実施内容

事業名	内 容	対象者
就学時健康診断	内科・歯科・(眼科)の各種検診、視力、聴力、面接	新入学児童 348人

#### (2) 実施場所、受診者数等

対象地区	会場	受診者数	実施日
新城小学校区	新城小学校	55人	11月08日(木)
千郷小学校区	千郷小学校	95人	10月11日(木)
東郷西小学校区	東郷西小学校	43人	10月31日(水)
東郷東小学校区	東郷東小学校	26人	10月22日(月)
舟着小学校区	舟着小学校	12人	11月14日(水)
八名小学校区	八名小学校	37人	11月09日(金)
庭野小学校区	庭野小学校	4人	11月07日(水)
鳳来地区	鳳来中央集会所	66人	10月02日(火)
作手地区	つくで交流館	10人	10月11日(木)

## 4(10) 木の香る学校づくり推進事業

平成22年度から、多くの公益的機能を持ち、愛知県民の安全安心で快適な暮らしを支える、森や緑を育て健全な状態で将来に引きつぐために平成21年度から導入された「あいち森と緑づくり税」の補助金を利用して、あいち認証材を使用した木製の児童用机・椅子の購入を始めた。

子どもに木の温もりを感じさせ、感受性豊かに育てることを目的とし、全児童の机・椅子を木製にし、補助事業の対象期間である平成30年度までに完了した。

### 1 平成30年度導入実績

導入数	172セット	
金額	4,272,480円	
県補助額	3,302,400円	
内 訳	新城小学校	100セット
	千郷小学校	72セット



導入した机・椅子

### 3 県の補助金交付単価

区 分	補助金交付単価	基準単価
全部木製（机・椅子購入）	19,200円	27,100円

ただし、事業単価が基準単価を下回る場合には、交付単価に事業単価（購入単価）を基準単価で除したもの（小数第4位切り捨て）を乗じた額が交付単価となる。（百円未満切り捨て）

## 4(11) 危機管理の状況

### 1 暴風・地震等の自然災害

#### (1) 新城市災害対策本部の組織及び業務

＜第3非常配備＞（市域に震度5弱以上の地震発生した場合等）

- ・勤務時間内外を問わず、主査以上が対応
- ・学校職員は校務主任以上＋必要職員（学校判断）が対応
- ・教育委員会は地域支援班に所属 市民福祉部長の指揮下
- ・主な業務
  - ①地域被害調査 ②避難所の開設・運営 ③避難誘導 ④災害時要援護者支援
  - ⑤福祉避難所の開設 ⑥ボランティア支援、支援本部設置 ⑦社会福祉協議会との連絡調整

＜第4非常配備＞（市域に震度6弱以上の地震発生した場合等）

- ・勤務時間内外を問わず、全職員が対応
- ・学校職員は全職員が対応
- ・教育委員会は地域支援班に所属 市民福祉部長の指揮下
- ・主な業務
  - 第3非常配備と同じ

#### (2) 新城市の事務組織における災害時の所用事務

- ①教育総務課
  - ア 管理施設における避難所の開設及び運営への協力に関すること
  - イ 給食施設の活用に関すること
  - ウ 管理施設の安全確保と被害調査及び復旧に関すること
  - エ 児童生徒の避難誘導に関すること
  - オ 罹災児童生徒の調査に関すること
  - カ 学用品の給与に関すること
- ②学校教育課
  - ア 管理施設における避難所の開設及び運営への協力に関すること
  - イ 災害時の応急教育に関すること
  - ウ 被災児童生徒への就学援助に関すること

### 2 不審者等に対する取り組み

#### (1) 地域ぐるみの学校安全体制整備の推進

地域学校安全指導員(スクールガード)と定期的に情報交換を行う。必要に応じて連携をとり、登下校の巡回指導等をお願いする。

#### (2) 学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク活用訓練 平成30年5月23日

「田原市高松町地内で、刃物様のもので持った男が民家に侵入し、住人を脅し現金を奪い、原付バイクで逃走した。現在、男の身柄はまだ確保されていない」という想定で広域ネットワーク活用訓練が実施された。FAXで近隣市町教委、FAX、メールで市内小中学校、市内の高等学校、警察、防災安全課、こども未来課、秘書広報課等に連絡。広域で情報を共有する手順の確認ができた。

### 3 教職員の不祥事防止に向けての取り組み

- ・教育公務員としての使命と社会的責任の自覚を促し、不祥事防止に徹する意識を高める。
- ・交通事故防止、情報漏れ防止、飲酒運転防止など全職員が相互に声をかけ、注意を促し合う。
- ・多忙化解消に努め、ゆとりある仕事ができるよう、勤務時間の適切な調整に努める。
- ・校長会議や研修等の機会に情報を提供し、不祥事防止への具体的な取り組みを要請する。

## 1 防災対策

東日本大震災や原発事故の大災害から8年、熊本地震から3年が経過した。これらの大災害から多くのことを学び、防災・減災に向けての取り組みや避難訓練等の見直しを随時行っている。また、大阪北部地震でのブロック塀の倒壊を受け、通学路の安全確認や危険箇所の把握を各学校と教育委員会で連携をして行った。

### (1) 通学路のブロック塀の確認

- ・ 学区の地理を理解することが防災への第一歩。教職員が学区内を回り、地震発生時に倒壊しそうな塀、壁、建物や転倒しそうな自動販売機はないか点検した。
- ・ 点検の結果、危険箇所等を、教育委員会に報告し、共通理解を図った。

### (2) 避難訓練等の実施

- ・ 様々な場面で、児童生徒が安全に避難できるように、学校ごと年間計画を作成し、訓練を実施した。
- ・ 緊急地震速報やJ-ALERTの試験放送の機会をとらえ、訓練を行った。

### (3) 防災委員会の活動

- ・ 中学校では、防災委員会が設置されている。地域の防災訓練への参加を呼びかけたり、防災の話を聞いて全校に広めたりするなど、防災意識を高める活動を行っている。

### (4) 地域と連携した防災ネットワークづくり

- ・ 保護者、PTA役員と子どもが安全マップづくりを実施
- ・ 市の防災訓練、消防出初め式への参加
- ・ 共育の日に「防災フェスタ」等防災関連の行事を実施

### (5) 職員の研修の充実

- ・ AED講習や不審者対策、学校安全指導者研修会への参加
- ・ 警察署や消防署への通報訓練の実施

## 2 防犯対策

新潟市での下校中の児童が殺害されるという痛ましい事件の発生を受けて、登下校時の安全確保に関する「登下校防犯プラン」が取りまとめられた。そのプランに基づき、安全確保を確実に図るため、学校、教育委員会、警察、地域が連携して緊急合同点検が行われた。

### (1) 学校からの危険箇所の報告

各学校で通学路の点検を行い、児童が一人となる区間等を念頭においた危険箇所を抽出し、教育委員会は学校からの報告を受けた。

### (2) 合同点検の実施と対策が必要な箇所の抽出

各学校から報告を受けた危険箇所（23カ所）で、緊急合同点検を行った。学校、教育委員会、市防災安全課、新城署生活安全課、地元の青パト隊が点検に参加した。

### (3) 対策案の作成・実施

街路灯がない場所や、民家の建物や塀の影に隠れてしまうところなどを、見回りの強化をお願いした。

## 3 熱中症対策

平成30年の夏は、気象庁から「ほとんどの地点で経験したことのない暑さ。命の危険がある温度。」と発表されるなど、いわゆる災害レベルの暑さとなった。今後もこのような暑さになることを想定して、空調設備（エアコン）設置に向けて準備を始めた。ま

た、各学校でも熱中症対策を考え取り組んだ。

(1) 小中学校での空調設備（エアコン）設置に向けて

令和2年3月末までに全ての普通教室と、一部の特別教室に空調設備（エアコン）を設置することを目標としており、平成30年12月補正で予算を確保し、設計を発注するなど事業を計画適に進めている。

(2) 学校の熱中症対策

市内小中学校においては、次の8つの熱中症対策を柔軟に取り組んでいる。

- ①こまめな水分補給
- ②児童生徒補充用のお茶、スポーツドリンクの用意
- ③経口補水液、保冷剤、氷等の準備
- ④扇風機の使用
- ⑤半袖、短パンの体操服での授業参加
- ⑥ミストシャワーの設置
- ⑦緊急時に備え、保健室でのエアコン稼働と応急手当グッズの充実
- ⑧体調管理等の健康指導の充実

真夏日等、熱中症対策が必要なときには、朝の会で健康指導や注意喚起をしっかりと行っている。

また、校外学習や課外活動、部活動、登下校等、屋外で過ごす場合の熱中症対策としては、着帽、軽装を推奨するとともに、熱中症指数計や「環境省熱中症予防情報サイト」による暑さ指数を参考にしながら、状況に応じて、校長の判断により活動の制限または中止の措置をとる。

#### 4 評価と検証

子供の命が奪われるという事故や事件の発生を受けてではあるが、防災・防犯・熱中症対策とどの分野においても、今までにはなかった取り組みが行われ、それぞれ対策が講じられた。

今後も「子供たちの命が最優先」という意識を常に持ち、児童生徒の安全・安心を守っていく。

## 4(13) 共育の日

### 1 第7回「共育の日」

平成24年度に設けられた「共育の日」を、市内全小中学校が6月9日（土）と16日（土）の2日間に分かれて実施した。共育のさらなる推進のため、各学校では、地域や学校の特色を生かし、保護者だけでなく多くの地域の方を巻き込んだ楽しく充実した内容を企画・実践した。

### 2 共育の日・活動一覧（抜粋）

1	新城小学校	ふるさと講演会「親子で心も体も健康講座」、共育講座（ダンス）他
2	千郷小学校	ちさとの学びをデザインしよう、PTA 救急救命講習会
3	東郷西小学校	共育授業参観（代本版作り、折り染め）他、あじさいバザー
4	東郷東小学校	設楽原歴史学習（鉄砲隊、兜作り）他、リサイクルバザー
5	舟着小学校	防犯教室、縁日ごっこ、県警音楽隊演奏
6	八名小学校	学校保健委員会、共育なかよしタイム（アニマルパーク）他
7	庭野小学校	ふれあい教室、TOMONI 講座（太極拳）他、八名青健共育講演会
8	鳳来中部小学校	チャレンジ教室（バルーンアート、編み物）他
9	鳳来寺小学校	共育教室（ぶっぼうそう作り、お茶の入れ方）他、新茶を味わう会
10	黄柳川小学校	授業公開、一輪車ホッケーを楽しむ会
11	東陽小学校	地域ぐるみで楽しむふるさと教室（陶芸、切り絵、鶯笛）
12	鳳来東小学校	ふるさとの「大地の1500万年前の謎」に迫ろう
13	作手小学校	親子体験学習、つくでっ子元気事業（ラブラトワール・ドゥ・シルク）
14	新城中学校	道徳授業公開、同窓会教育講演会（ユニクロデザイナー）
15	千郷中学校	Let's sports！（太極拳）他、部活動保護者会・見学会
16	東郷中学校	東郷カルチャー講座（和菓子作り）他、在宅医療と介護を考える会
17	八名中学校	共育授業（防災を考える）、共育講演会
18	鳳来中学校	授業公開、鳳中共育まつり「もっと身近に鳳来中」
19	作手中学校	授業公開、つくでっ子元気事業（ラブラトワール・ドゥ・シルク）

### 3 評価と検証

今年度も、地域の方々がより参加しやすくなるように、実施日を2日間設定した。

地域の方々の全小中学校の総参観者数は9,589人（児童生徒教職員：3,832人、保護者：3,117人、保護者以外：2,640人）であった。昨年度総参観者数は9,268人（児童生徒教職員：3,962人、保護者：2,378人、保護者以外：2,506人）であり、参加者数が243名増加している。「共育の日」が定着してきていることが分かる。

今後は、より地域に密着し、地域に発信する活動となることで、地域の方々の参加を増やしていく必要がある。そのためには、参観型から参加型の活動を各学校が計画し、地域の人が集い、より充実した「共育の日」を共に作っていく。

## 1 目的

「学区の三宝」を教材として発掘し、オンリーワンの教育活動が展開できるようにする。

## 2 内容

学区の自然に浸り自然を学ぶ学習、様々な分野の達人の活用、世代を越えた人々との交流、伝統文化の継承、博物館・資料館等の施設の積極的活用等により学校の特色を浮き彫りにし、「わがふるさと新城」を子供の感性で受け止めていけるようにする。

## 3 学区の三宝から（主なものを抜粋）

## &lt;新城小学校&gt;

- ・地域の達人による「共育講座」
- ・俳句学習（太田白雪）
- ・福祉体験教室
- ・共育運動会表現「よさこい」
- ・歴史劇の発表
- ・卒業生に学ぶ  
（内山敏彦シェフによる食育）

- ・お茶（新城茶）摘み体験
- ・田町川での学習

## &lt;千郷小学校&gt;

- ・清水川、野田川の水生物調査
- ・ふるさとめぐり遠足
- ・地域ふれあい活動
- ・地域の方に学ぶ（豆腐作り、八名丸さといも、野菜作り）
- ・歴史学習「野田の戦い」
- ・西部福祉会館訪問

## &lt;東郷西小学校&gt;

- ・お年寄り（平井人生クラブ）との交流
- ・レンゴーはうす、こども園との交流
- ・地域の方と米作り
- ・「設楽原決戦場まつり」参加
- ・地元企業寄贈の木材で代本版作り
- ・西小チャレンジ教室

## &lt;東郷東小学校&gt;

- ・「設楽原決戦場まつり」参加
- ・設楽原ウォークラリー
- ・お田植え（田植え、踊り、米作り）
- ・表現運動「合戦と農民」「東郷音頭」
- ・設楽原の戦いにまつわる歴史劇の発表
- ・地域の方々に学ぶ（豆腐作り、五反田川）

## &lt;舟着小学校&gt;

- ・山頂からふるさとを眺める（春の風切山）
- ・地域の方に学ぶ  
（ぶどう栽培、豆みそ、豆腐作り、野菜作り、米作り、花苗植え）
- ・長篠、設楽原の戦い歴史学習  
（吉川からの松山峠越え 豊田藤吉）
- ・地域のくらしを学ぶ（鳥原歌舞伎、塩沢のぶどう、柿作り、市川鍋づる万灯）

- ・地域の方との交流会（老人クラブ「沢の会」）

## &lt;八名小学校&gt;

- ・福祉施設訪問（お年寄りとの交流）
- ・吉祥山登山、五葉城址周辺見学
- ・田んぼの活動（米づくり）
- ・オブアート
- ・八名の歴史を学ぶ（宇利城址見学等）
- ・戦争体験の聞き取り
- ・地元農産物を栽培、調理して味わう（お茶、八名丸、すいか、いちご）
- ・共育ふれあい活動（「八名共育推進委員会」）
- ・ビオトープ見学、雨生山登山（植物、石）

## &lt;庭野小学校&gt;

- ・地域の方に学ぶ（野菜先生、お米先生、習字先生、梅ジュース先生）
- ・ふれあい教室（昔遊びや道具作りを学ぶ）
- ・庭野TOMOINI講座（地域の方を講師に各種講座開催）
- ・老人会との交流（敬老会、クリーン活動）
- ・地域の三宝の教材化
- ・小学校の歴史調査
- ・ビオトープづくり

## &lt;鳳来中部小学校&gt;

- ・チャレンジ教室（地域の方の講師）
- ・地域学習（鳳来牛、長篠の戦い）
- ・「のぼりまつり」参加（「長篠合戦の歌」合唱、ふるさと歴史ガイド）
- ・地域との交流（こども園やデイサービスへの訪問等）

## &lt;鳳来寺小学校&gt;

- ・三世代交流「お茶摘み」
- ・ふるさとを歩く会
- ・寒狭川で遊ぶ会
- ・海老の自然・歴史を学ぶ
- ・学芸会での披露「鳳来寺田楽」
- ・四谷千枚田の米作り
- ・鳳来寺、門谷の学習
- ・お年寄りとの交流
- ・地域の方に学ぶ（干し柿作り、門松作り）
- ・ふるさと学習発表会、感謝の会食会



#### <黄柳川小学校>

- ・「共育花壇」の活用（花・野菜作り）
- ・黄柳川小共育ふるさとめぐり（柿本城址、満光寺）
- ・黄柳野オリエンテーリング
- ・学芸会での発表「瓶割峠」
- ・黄柳川の水質調査、環境学習
- ・福祉体験学習
- ・芋ほり体験、カニランド探検

#### <東陽小学校>

- ・ギュリック3世夫妻との交流会
- ・地域ぐるみで楽しむふるさと教室
- ・ふるさとウォーキング（長篠城址）
- ・東陽子供陣太鼓発表
- ・黒沢田楽（学習発表会に篠笛クラブ参加）
- ・お年寄りとの交流（デイサービス訪問、招待給食）
- ・福祉体験教室

#### <鳳来東小学校>

- ・ガンピ和紙で作る卒業証書
- ・アルプホルンの吹鳴
- ・地域の特産「梅」の学習
- ・全校児童による夏休み自由研究発表会
- ・チャレンジの夏2018
- ・乳岩峡探検（1500万年前の謎に迫る）

#### <作手小学校>

- ・作手の自然に学ぶ（湿原の植物、水生生物調べ）
- ・作手の人に学ぶ
- ・作手の特産物調べ
- ・奥平家、鳥居強右衛門についての学習
- ・創作劇の発表
- ・栽培学習（高原野菜の栽培）

#### <新城中学校>

- ・春を感じる桜淵集会
- ・地域で活躍する「社会人」と語る会
- ・新城企業展への参加
- ・全国で活躍する同窓生を講師に「同窓会講演会」
- ・地域の方とともに「新中防災フェスタ」の開催
- ・学区で活動する「地域奉仕作業」
- ・新城の能を通して「和楽器」に親しむ
- ・地元の音楽家から合唱の特別指導

- ・文化祭来場者への接待「お茶会」
- ・2年生風切山登山～立志の集い～

#### <千郷中学校>

- ・防災を考える日
- ・ちさと文化講座（自然・歴史・文化等）
- ・学区や地域の探究（文化祭で発表）
- ・地域の方々と共に参加する「住民運動会」「歩こう大会」
- ・林業体験活動
- ・地域の方や小学生と学区を元気にする「ミラクルコミュニティちさと会議」
- ・奇跡のひまわりプロジェクト

#### <東郷中学校>

- ・「設楽原決戦場まつり」参加
- ・地域の名人に学ぶ「東郷カルチャー講座」
- ・在宅医療と介護を考える会
- ・芝桜に親しむ会
- ・八剣講座

#### <八名中学校>

- ・郷土学習（地域の方と学ぼう）
- ・防災学習（住宅防火、家まですぐらく）
- ・福祉体験（車いす体験）
- ・八名中一番を描く会（地域の名所を描く）
- ・吉祥祭（親子ふれあい講座）
- ・地元のお米や八名丸サトイモを食べる会
- ・五葉湖駅伝大会
- ・校外学習（鳳来寺山自然博物館見学）

#### <鳳来中学校>

- ・共育まつり（生徒企画の催しに鳳来地区の小学生や地域の方が参加）
- ・共育駅伝（地域講師招聘・地域の方の応援を背にタスキをつなぐ）
- ・林業体験（NPOの方の志に触れる）
- ・鳳来地区の社会人と語る会

#### <作手中学校>

- ・林業体験学習（学校林整備作業、間伐材を用いた製作活動）
- ・中高連携活動（サギソウ栽培、ミズバショウの定植、シイタケ菌打ち作業）
- ・作中ウォーク（作手巡り遠足）
- ・「地域社会での共生～地域防災～」について文化祭で発表
- ・絆講座（地域の方に学ぶ）
- ・歴史地域学習（古宮城に学ぶ）

## 4 評価と検証

ふるさと新城の自然・人・歴史の「三宝」を活用し、それぞれの地域でしかできない活動、その地域だからこそできる活動などが多くの学校で行われている。長年活動が続けられ、成果を上げているものや、新たに地域教材を見つけて取り組んでいる学校もある。また、小中の連携や中高の連携を図った、持続的な取り組みもみられる。

来年度も、それぞれの学校の取り組みのよさを生かしながら、新たな視点でどう取り組んでいくかが課題である。

## 4(15) 「体徳知」の教育活動推進事業

### 1 基本方針

- 教育課程および教科研究の充実を図ることで、子供の学ぶ意欲を引き出し、体力・活力・学力を伸ばすとともに、教職に対する生きがいと喜びを高め合う教師集団を育成する。
- 「共育」や「新城の三宝」を礎にして、「三学」を重視した学校づくりの取り組みを広く公開することで、市内 19 小中学校の学校力を高め合う。

### 2 研究テーマ

『三学重視の授業づくり・学校づくり』 — 子供を伸ばす日々の教育活動 —

### 3 研究委嘱校

- 平成 30 年度研究発表校

(1) 舟着小学校 2 年委嘱（2 年目）

- ① テーマ 自ら考え、共に学び合う中で、「学ぶって楽しい」と思える子の育成  
～3つの「たい」があふれる算数の授業を通して～
- ② 教科・領域 算数科
- ③ 研究の概要 子どもが「考えたい」「伝えたい」「もっと追究したい」（3つの「たい」）と、主体的・能動的に学習する意欲が持続する算数の授業を展開する。

(2) 鳳来寺小学校 2 年委嘱（2 年目）

- ① テーマ 学区のよさを知り 心にふるさとのある子の育成  
～探究的・協働的な学習を通して～
- ② 教科・領域 各教科・生活科・総合的な学習の時間
- ③ 研究の概要 校区の三宝を「ふるさと学習」として学び、心にふるさとのある子の育成を目指す。

(3) 作手小学校 2 年委嘱（2 年目）

- ① テーマ 作手大好き！  
～「挑み続ける子」の育成～
- ② 教科・領域 生活科・総合的な学習の時間・各教科・外国後活動
- ③ 研究の概要 教師の柔軟な発想により、教科の枠を超えた横断的な単元を構想する。

(4) 作手中学校 2 年委嘱（2 年目）

- ① テーマ 笑顔・真顔の元気な学校  
～心と学びでつなぐ小中連携教育を通して～
- ② 教科・領域 全教科
- ③ 研究の概要 授業づくり、学級づくり、日常活動を 3 本の柱と考え、「自ら考え、動きだし、本気で取り組む生徒の育成」を目指す。

### 4 評価と検証

平成 25 年度より 6 カ年計画で推進してきた『「体徳知」の教育活動推進事業』の最終年度にあたる本年度は、上記の委嘱校において実践が進められた。6 カ年間で市内すべての小中学校 19 校において研究委嘱を行うことで、「体徳知」に焦点をあてた新城教育の取り組みを、公開授業で広く発信し、市内の小中学校の学校力・教師力を高めることに大きな足跡を残すことができた。また、昨年同様、豊川市との研究交流を深め、37 名が豊川市の研究会に、また市内の教員、豊川市等の教員合わせて約 331 名が新城市 4 校の研究会に参加し、互いにより刺激を受けることができた。

## 1 校長研修会

年 3 回実施（新城市新任校長研修含む）5/17, 5/31, 10/31

## 2 教頭・主幹教諭研修会

- (1) 4月24日（火） 研修①教員免許更新制について  
研修②子育て支援制度について  
研修③臨時的任用教員、非常勤講師の任用について
- (2) 7月24日（金） 研修①不祥事防止  
研修②情報セキュリティについて  
講師 情報システム課 行政情報係主任 川村真由美 氏
- (3) 11月6日（火） 講話「教頭の職務について」  
講師 愛知教育文化振興会 伊藤 雅朗 氏
- (4) 1月30日（火） 研修①ゲートキーパーについて  
講師 新城保健センター 健康事業係長 洞口 弥生 氏  
研修②学校トラブルについて  
講師 新城設楽支所 支所長代理 石原 清史 氏

## 3 教務・校務主任研修会

- (1) 4月25日（水） 研修①通知表について  
研修②「主体的・対話的で深い学び」を生み出す校内研修
- (2) 7月25日（水） 研修①特別の教科 道徳の評価について  
研修②カリキュラムマネジメントについて
- (3) 11月21日（水） 講話 「子ども理解を生かした学校・学級経営」  
講師 愛知教育カウンセリング研究会 岩田 和敬 氏
- (4) 1月31日（水） 研修①特別支援教育研修  
コーディネータースキルアップ研修の伝達  
研修②新学習指導要領の実施に向けて  
学習指導要領の伝達講習

## 4 その他の研修会

- (1) 事務職員研修会（職務研修 3回開催）
- (2) 養護教諭研修会（職務研修 4回開催）
- (3) 栄養教諭・栄養職員研修会（職務研修 2回開催）
- (4) 特別支援教育コーディネーター研修会（職務研修 1回開催）平成24年～
- (5) 初任者研修（初めて教員になった者の教師修養研修 2回開催）
- (6) 5年経験者研修（教員歴5年を経過した教員の教師力向上研修 2回開催）
- (7) 10年経験者研修（教員歴10年を経過した教員の教師力向上研修 2回開催）
- (8) 指導員研修会（指導員の指導力向上研修 4回開催）
- (9) 中堅者研修会（教職20年経験者の学校マネジメント研修 3回開催）平成25年～

## 5 評価と検証

それぞれの立場において研修すべき内容や、教育の今日的課題についての研修を行った。特に、教務・校務主任研修会では、新学習指導要領実施に向けて学校が取り組むべき内容について、講師等を招いたり、各校の情報共有をしたりする等して理解を深めた。その他の研修においては、講義形式だけではなく、演習等も取り入れて、教職員の実践力を高めるように努めた。

いずれの研修も、自己研鑽の動機付けのための研修という意味合いもあり、その後、各自で研修を積むこともねらっている。今後も、研修内容、講師等のさらなる充実を図っていく。

## 4(17) 教職員としての力量を高める研修事業 2

### 1 研究指定・研究委嘱校等

- (1) 金銭教育研究（県）  
東郷東小学校
- (2) 人権教育研究（県）  
千郷中学校（千郷小学校）
- (3) 「魅力あるあいちキャリアプロジェクト」推進事業（県）  
職場体験学習…6中学校2年生
- (4) 理科支援員配置事業（国）  
新城小学校、作手小学校、千郷中学校、作手中学校

### 2 しんしろ教師塾

#### ①外国語活動実践講座

7月31日（火） 9:00～12:00 ちさと館多目的室

講師：居沢理恵先生

#### ②小学生の体づくり

8月21日（火） 13:30～15:30 作手小学校体育館

講師：神谷光希先生・天野征哉先生

### 3 その他の研修

- (1) 特別支援教育研修会 （年2回実施）
- (2) 不登校児童生徒研修会 （年2回実施）
- (3) 小中高生徒指導連絡協議会 （年3回実施）
- (4) 論文書き方研修会 （年2回実施）

### 5 評価と検証

様々な教育課題に対応するため、本年度も各種研修会・講座を設定した。「しんしろ教師塾」では、小学校外国語活動について具体的な指導方法を実際に体験する講座を開設した。多くの教員が参加し、「明日から使うことができる研修であった。」と好評を得た。今後も、いじめ・不登校対策、キャリア教育、特別支援教育、国際理解教育、情報モラル教育など、学校が抱える教育課題を踏まえ、研修内容を改善していく必要がある。特に、特別支援学級の児童生徒が増加していることから、担任やコーディネーターを中心に特別支援教育に関わる研修を工夫していくことが課題である。

## 1 情報化計画の基盤整備

市内全小中学校を光ファイバー専用回線（下り 100MB）で結び、新都市教育イントラネットを構築している。これにより全ての小中学校の職員室とパソコン室において、情報の共有化および教育のICT化、インターネット接続の高速化と大容量化が図られている。また、市のセンターサーバー内のフィルタリングによって、有害情報や不正なサイトへの閲覧制限を講じ、教育活動で利用する際の安全性を高めている。

### (1) 教職員用端末

教職員 1 人 1 台の業務用端末（パソコン）を、平成 22 年 1 月より整備している。グループウェアによって、市のセンターサーバーを利用したメールやファイルのやり取りをする等、校務の情報化や情報共有の利便性が図られている。

### (2) 一括管理センターサーバーと校務システム

平成 26 年度より、一括管理された校務用センターサーバーに集約することで、業務で扱うデータの安全確保や保守の効率化を図っている。また、全校共通のフォルダ構成や、職位に応じたフォルダへのアクセス権制限による文書の管理で、情報の漏洩への対処や年度更新・転勤による引き継ぎ事務の軽減を行っている。

また、校務システムの導入により、電子データによる児童生徒の情報管理（学籍、成績）と業務管理（保健、事務）の方法を、市内小中学校で統一した。平成 30 年度より、通知表と指導要録も市内統一とし校務システムを利用できるようにした。

### (3) 学校ホームページ作成支援

平成 26 年度、ホームページ作成支援システムを更新した。以前より機能が向上したシステムにより情報発信の定着が図られ、学校教育活動の発信や地域情報との連携の充実につながっている。

### (4) 学校メール配信システム

平成 26 年度より新しい一斉メール配信サービスによるメール配信を行っている。学校関係者および保護者のスマートフォンや携帯電話への緊急メール配信の利便性が増し、情報共有の即時性や児童生徒の安全確保、台風接近時の防災等に役立っている。

### (5) コンピュータ教室の更新

平成 29 年度、市内全小中学校のコンピュータ室の無線LAN化及び児童生徒用端末のタブレット化が完了した。タブレット型パソコンの導入により使用方法の幅が広がり、活用の機会が増えることが期待される。

## 2 評価と検証

一括管理センターサーバーと校務システムにより、重要なデータの漏洩防止や安全確保を図っている。学校間での校務システムの運用に差があるが、学籍管理、成績管理、保健管理、給食管理、行事予定管理、文書收受等は概ね活用の定着が図られている。通知表や指導要録が支援システムを利用できるようになったことで、勤務負担軽減につながった。予定管理のうち、授業時数管理については、システムの改善を含め、今後の利用について検討する必要がある。

パソコン教室、各教室のLAN環境の整備等については、更新計画にしたがって継続して充実を図っていく。

## 新城市立学校ホームページの利用状況（年度別アクセス数）

は更新なし

計 学校名	年度集	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		4/16～ 3/31 (システム導 入)	4/1～3/31 (完全配 備)	4/1～ 3/31	4/1～ 3/31	4/1～ 3/31	4/1～ 3/31	4/1～ 3/31	4/1～ 3/31	4/1～2/11 (途中経過)	4/1～ 3/31	4/1～ 3/31
1	新城小学校	8,177	19,532	27,734	28,001	30,789	39,925	22,777	27,706	39,454	46,154	40,690
2	千郷小学校	18,844	33,235	37,132	35,741	38,600	76,997	79,886	41,121	48,253	49,470	52,151
3	東郷西小学校	5,087	13,169	13,819	14,887	16,854	20,763	15,269	13,504	16,154	19,810	25,715
4	東郷東小学校	13,213	23,294	25,260	30,264	36,560	44,165	37,978	18,233	23,073	22,335	20,016
5	舟着小学校	21,216	24,520	22,202	17,818	25,665	30,787	31,047	14,111	15,622	11,592	10,306
6	八名小学校	9,218	34,117	44,286	36,070	32,485	42,061	43,629	17,849	30,345	31,328	28,499
7	庭野小学校	4,926	6,684	7,249	8,981	9,789	11,559	11,263	9,899	14,666	15,508	12,696
8	鳳来中部小学校	8,291	15,769	16,517	16,966	19,244	22,250	20,956	11,122	15,929	20,500	18,453
9	鳳来寺小学校									20,670	18,952	19,681
	鳳来寺小学校	9,322	11,957	14,575	12,490	12,501	17,572	14,049	10,908	3,453	2,060	1,606
	鳳来西小学校	4,832	8,394	12,313	17,469	13,210	10,168	9,288	6,786	1,705	683	440
	海老小学校	6,357	7,073	24,282	28,892	35,593	43,843	35,796	16,525	6,897	3,984	3,421
	連谷小学校	4,254	11,017	12,756	12,383	12,379	12,816	14,742	13,173	2,477	1,259	1,022
10	黄柳川小学校					40	19,763	17,253	13,067	13,609	12,645	12,870
	山吉田小学校	5,446	8,134	13,622	14,981	17,906	7,361	1,115	670	861	897	678
	黄柳野小学校	4,191	10,081	14,231	12,870	13,348	3,397	1,511	1,167	833	616	478
14	東陽小学校	7,037	15,719	24,561	25,495	34,155	38,227	35,226	19,811	24,445	21,999	18,085
15	鳳来東小学校	4,227	13,242	13,127	13,677	10,541	15,081	9,393	8,358	13,196	12,431	11,388
16	作手小学校						31	30,672	27,730	30,329	26,385	23,148
	作手小北校舎					29	14,932	8,144	4,351	1,498	836	491
	菅守小学校	5,087	7,862	11,739	13,014	11,330	2,604	681	508	664	488	285
	開成小学校	3,456	5,957	6,170	7,340	7,915	2,513	611	504	536	438	224
	作手小南校舎					33	17,795	6,038	2,664	785	541	253
	巴小学校	6,484	18,738	19,100	21,943	21,899	5,798	1,489	1,261	1,286	1,071	729
	協和小学校	2,963	11,816	11,906	12,402	12,151	2,169	1,042	620	913	498	231
	小学校計	152,628	300,310	372,581	381,684	413,016	502,577	449,855	281,648	327,653	322,480	303,556
17	新城中学校	17,257	35,382	41,671	44,539	47,112	69,131	44,193	41,794	54,969	47,760	44,211
18	千郷中学校	15,801	32,556	38,762	42,341	59,994	130,692	129,542	84,449	95,063	106,550	101,448
19	東郷中学校	14,098	28,720	33,238	37,721	48,788	51,981	42,015	28,410	35,928	39,951	49,194
20	八名中学校	16,891	30,010	29,122	28,330	31,908	51,551	48,102	24,053	27,070	28,995	21,583
21	鳳来中学校	6,172	18,210	35,332	42,160	50,444	62,644	69,275	27,650	34,121	57,847	65,970
22	作手中学校	6,764	17,824	25,149	27,404	27,157	34,807	41,013	19,810	22,094	24,797	24,433
	中学校計	76,983	162,702	203,274	222,495	265,403	400,806	374,140	226,166	269,245	305,900	306,839
	市内全体	229,611	463,012	575,855	604,179	678,419	903,383	823,995	507,814	596,898	628,380	610,395

4(19)	小中学校の生徒指導の状況 (不登校)
-------	--------------------

### 1 不登校の状況

(1) 年度別出現率の状況 … 年間30日以上欠席者数のうち、不登校傾向の報告者数

年度	小学校		中学校	
	不登校児童数(人)	出現率(%)	不登校生徒数(人)	出現率(%)
20年度	12	0.42	53	3.28
21年度	10	0.35	49	3.22
22年度	9	0.33	39	2.62
23年度	17	0.64	43	3.04
24年度	13	0.51	55	3.85
25年度	15	0.62	45	3.31
26年度	18	0.76	50	3.57
27年度	17	0.73	50	3.67
28年度	17	0.75	45	3.38
29年度	16	0.70	45	3.74
30年度	29	1.32	46	3.92

小学校では、ここ10年間で不登校児童数、出現率共に1番高い数値になっている。中学校では、不登校生徒数については、ここ3年間変動はないが、出現率は年々高くなっている。

(2) 不登校児童生徒数(欠席数が30日以上)の児童生徒数及び学年別内訳

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	出現率
H29年度末	0	2	1	1	8	4	16	0.70%
H30年度末	1	3	5	6	3	11	29	1.32%

中学校	1年	2年	3年	計	出現率
H29年度末	10	17	18	45	3.74%
H30年度末	7	19	20	46	3.92%

<小学6年時と中学1年時の不登校児童生徒数>

H30 中学校入学 小6 4人(H29年度末) ⇒ 中1 7人(H30年度末)  
 H29 中学校入学 小6 3人(H28年度末) ⇒ 中1 10人(H29年度末)  
 H28 中学校入学 小6 7人(H27年度末) ⇒ 中1 11人(H28年度末)

平成30年度の不登校児童生徒数を前年度の学年での数と比較すると、小学校では2年生～4年生、中学校では2年生で増加していることが分かる。また、小学6年時と中学校1年時の不登校児童生徒数を比べると、中学校に入学後、毎年増えている。不登校のきっかけは様々な要因が関係しているが、進級や中学校入学等の環境の変化や学習不振等も影響していると考えられる。

(3) 不登校児童生徒数（欠席数が90日以上の児童生徒数）及び学年別内訳

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H28 年度末	0	0	1	4	1	0	6
H29 年度末	0	1	0	1	3	1	6
H30 年度末	0	0	2	0	1	5	8

中学校	1年	2年	3年	計
H28 年度末	3	10	7	20
H29 年度末	5	5	11	21
H30 年度末	3	12	7	22

中学校における平成29年度末と平成30年度末の数を比較すると、平成29年度末の1年生は5人、平成30年度末の2年生は12人である。このことから、中学2年生における新たな不登校生徒が増えていることが分かる。

## 2 子どもサポート相談員による相談活動

### (1) 相談活動状況

子どもサポート相談員2名で、不登校児童生徒及び保護者の対応にあたっている。学校や家庭からの依頼を受け、家庭訪問を主とした相談活動を行っている。

相談を受けている児童生徒数 (平成30年度末)

小学生 14名					中学生 20名			合計 34
2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	
3	1	2	2	6	2	10	8	

### (2) 関係機関との連携

学校、適応指導教室、市内外の関係機関等と連携して取り組んでいる。義務教育終了後もつながる切れ目のない支援のためにチームを組んで支援することが、子供や保護者にプラスに働いている。

訪問・相談等の状況 (平成30年度末)

小中学校	関係機関	家庭訪問	電話	相談来庁者
222回	209回	361回	1,449回	39回

## 3 評価と検証

不登校児童生徒は年々増加しているが、子どもサポート相談員を2名体制にしたことで、より多くの児童生徒に対応することが可能になり、相談児童生徒数も前年度より増えている。

不登校のきっかけは様々な要因が関係しているが、不登校児童生徒の多くは「疾患や怠学等、本人に関わる問題」が主原因と報告されている。各校に位置づけている不登校対応コーディネーターを中心として、未然防止や不登校児童生徒及びその保護者への支援等、積極的な取り組みが今後もなされるよう、関係機関と連携して研修を行っていく。



4(20)	<b>小中学校の生徒指導の状況（いじめ・暴力・他）</b>
-------	-------------------------------

### 1 いじめの状況

#### (1) いじめの年度別認知数

年度	小学校		中学校	
	認知した 学校数	認知件数 (解消、一定の解消が図られ継続支援中の件数)	認知した 学校数	認知件数 (解消、一定の解消が図られ継続支援中の件数)
26年度	5	237 (237)	5	7 (6)
27年度	7	146 (144)	3	15 (14)
28年度	6	150 (150)	4	37 (36)
29年度	9	265 (265)	6	81 (81)
30年度	13	824 (749)	6	83 (75)

#### (2) いじめ認知数の学年別内訳（平成30年度）

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学校	146	164	150	149	152	63	824
中学校	27	34	22				83

文部科学省から通知された「いじめの定義」が浸透し、「からかい」や「ふざけ」等も、いじめの行為と捉えて認知したため、昨年度と比べて認知件数が大幅に増えている。いじめを見落とさないためにも、いじめの芽や兆候を積極的に認知している。

### 2 暴力・器物破損等の発生件数

年度	小学校			中学校		
	対教師暴力	生徒間暴力	器物損壊	対教師暴力	生徒間暴力	器物損壊
26年度	1	0	1	2	3	3
27年度	0	7	0	0	1	3
28年度	0	9	0	0	5	2
29年度	0	7	2	0	4	2
30年度	27	107	9	4	7	5

いじめの芽や兆候の積極的な認知により、小学校における生徒間暴力の発生件数が大幅に増加した。生徒間暴力の内容は、いたずらやからかいがきっかけとなって口論になり、それが暴力行為に発展したケースと、突発的に叩く、蹴るの行為におよぶケースの報告があった。また、対教師暴力については、教師に注意されたことに腹を立て、叩く、蹴る等の行為におよんだケースが多い。きっかけは些細なことであるが、自身の感情をコントロールができずに暴力に発展してしまう。

### 3 評価と検証

いじめの程度に関わらず、「本人が心身の苦痛を感じていけばいじめと捉える」という視点でいじめの認知を行ったことで、いじめの認知件数が増加している。新城市では、いじめの認知件数が多いことをマイナスにとらえるのではなく、それだけ児童生徒の様子を正確に把握しているとプラスに捉えている。今後もいじめを見落とすことがないように、積極的にいじめを認知し、早期対応を行っていく。

## 1 学習・適応支援

## (1) 学校生活適応指導教室「あすなろ教室」

新城市及び近隣町村の小中学校に在籍する不登校児童生徒等を対象に、不登校児童生徒の学校復帰を支援し、社会的自立をめざす「あすなろ教室」を常時開設する。

・「新城青年の家」で月から金曜日までの毎日開室（午前9時20分～午後2時20分）

・指導員5人体制（嘱託2人、臨時3人）

学習活動（国語、算数・数学、英語等）

運動（バドミントン、卓球、ドッチビー、太極拳、グラウンドゴルフ等）

体験活動（調理実習、コラージュ、巾着袋作り、デコパージュ、文化祭等）

校外活動（デイキャンプ、遠足）

・通室者数	(平成21年度)	小学生2名	中学生10名
	(平成22年度)	小学生2名	中学生7名
	(平成23年度)	小学生2名	中学生9名
	(平成24年度)	小学生6名	中学生12名
	(平成25年度)	小学生5名	中学生13名
	(平成26年度)	小学生3名	中学生14名
	(平成27年度)	小学生2名	中学生15名
	(平成28年度)	小学生1名	中学生15名
	(平成29年度)	小学生0名	中学生14名
	(平成30年度)	小学生4名	中学生10名

## (2) ハートフルスタッフの配置（31人を16校へ）

ハートフルスタッフは、学校生活における子供への学習補助や生活支援等を職務としている。年2回の連絡会を実施し、子供の支援の方法等についての研修を行った。

30年度は、新城小、千郷小、東郷西小、東郷東小、舟着小、八名小、鳳来中部小、鳳来寺小、黄柳川小、東陽小、作手小、新城小、千郷中、東郷中、八名中、鳳来中に配置した。

・発達障害児童生徒への支援

・特別支援学級児童生徒へのサポート

・不登校傾向の児童生徒への生活支援

・外国人児童のサポートや保護者への対応（新城小・鳳来寺小・新城小）

## (3) スクールカウンセラーの配置（8人）

子供の心の問題等に関して、高度な専門的知識・経験のあるスクールカウンセラーが子供へのカウンセリング、教職員・保護者への助言を行う。また、校内研修の講師としても活用し、教職員の力量向上にも役立てている。

・中学校 全校

小学校 拠点校3校（新城小、千郷小、東郷西小）

## 2 評価と検証

適応指導教室では、学校生活への復帰に向けてのエネルギーを蓄え、集団生活への適応と自立を促す場として、学習や運動、体験活動等で支援を行ってきた。特に、体験活動を通して、達成感を味わわせるとともに、子供同士のつながりを強くし、自主性を育てることができた。

学校では、特別な支援を必要とする子供が増えており、担任教諭だけでは目が行き届きにくい状況にある。ハートフルスタッフによる学習面や生活面のサポートにより、支援を必要とする子供が安心して学校生活を送ることができ、担任教諭の負担の軽減等にもつながっている。

本年度も悉皆調査が行われ、新城市では小学校 13 校（小学校 6 年生対象）、中学校 6 校（中学校 3 年生対象）が調査を実施した。

そこで、過去 5 年間の調査結果を経年比較し、調査活用委員会で分析・検証を行った。

## 1 各教科の「知識」「活用」に関する調査の結果（全国の平均正答率との比較）

### （1）小学校

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。</li> <li>△ 相手や場面に応じて適切に敬語を使う。</li> <li>△ 学年別漢字配当表に示されている漢字を分の中で正しく使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いの参加者として、質問の意図をとらえたり、司会の役割についてとらえたりする。</li> <li>○ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。</li> <li>△ 目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考える。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分度器を用いて <math>180^\circ</math> より大きい角の大きさを求める。</li> <li>○ 示された表現方法をもとに、空間の中にあるものの位置を表現する。</li> <li>△ 1 にあたる大きさを求める問題において、数量関係を理解し、数直線上に表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求める。</li> <li>○ 図形の構成要素や性質をもとに、集まった角の大きさの和が <math>360^\circ</math> になっていることを記述する。</li> <li>△ 折り紙の枚数が 100 枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け、根拠を明確にして記述する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想する。</li> <li>△ 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解する。</li> <li>△ 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述する。</li> </ul>	

### （2）中学校

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く。</li> <li>△ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。</li> <li>△ 文脈に即して漢字を正しく書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く。</li> <li>△ 場面の展開や登場人物の描写に注して読み、内容を理解する。</li> <li>△ 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指数を含む正の数と負の数の計算ができる。</li> <li>○ 文字式に数を代入して式の値を求めることができる。</li> <li>△ <math>y=ax+b</math> について、<math>x</math> の値の増加に伴う <math>y</math> の増加量を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題場面における考察の対象を明らかにする。</li> <li>△ 3 つの計算の順番を入れ替えた時の計算結果を数学的に表現する。</li> <li>△ 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを特定できる。</li> <li>○ 地震の揺れの強さが震度であること、S 波による揺れが主要動であることの知識が身についている。</li> <li>△ 無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用する。</li> </ul>	

## 2 生活状況に関する質問紙調査の結果

児童生徒への質問	児童生徒の回答の状況
今住んでいる地域の行事に参加していますか	児童生徒ともに、参加している割合が、全国と比べ、かなり上回る。
地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	「よくある」「時々ある」と回答した児童が全国と比べ、かなり上回る。
自然の中で遊んだことや、自然観察したことがありますか	「あてはまる」と回答した児童が全国と比べ上回る
家で、学校の宿題をしていますか	「している」と回答した児童は全国と比べ、ほぼ同程度であり、生徒は全国と比べ、かなり上回る。
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「寝ている」と回答した児童は全国と比べ、ほぼ同程度であるが、「寝ている」と回答した生徒は全国と比べ、下回る。

## 3 学習状況に関する質問紙調査の結果

児童生徒への質問	児童生徒の回答の状況
算数・数学の勉強は大切だと思いますか	「あてはまる」と回答した児童は、全国と比べほぼ同程度だが、「あてはまる」と回答した中学生は全国と比べ、下回る。
算数・数学の授業はよくわかりますか	「あてはまる」と回答した児童は全国と比べ下回る。生徒は全国と比べ、ほぼ同程度が「あてはまる」と回答している。
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	「週1回以上」と回答した児童は全国と比べ、かなり上回る。
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	「あてはまる」と回答した児童生徒は、全国に比べ、下回る。
これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	「あてはまる」と回答した児童生徒は全国と比べ、下回る。

## 4 調査結果の分析と、今後の指導改善等の取り組み

今年度の学力学習状況調査の結果からも、地域の行事に積極的に参加し、地域の方々に見守られながら成長している児童生徒の姿を再確認できた。

多くの小学生は、いつも同じくらいの時刻に寝ることができているが、中学生になると不規則になってしまう生徒も多い。「共育」の合言葉にもなっている「早寝・早起き・朝ご飯」が定着していくように、家庭と学校が連携をとっていきたい。

「これまで受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問に対し、肯定的な回答が少数だった。児童生徒が主体的に課題に取り組み、学ぶことの楽しさ、課題を解決することの喜びを感じさせる授業を構想できるよう各学校に指導改善を進めていきたい。

<b>4(23)</b>	<b>中学校の進路指導の状況</b>
--------------	--------------------

### 1 市内進路状況 (平成30年度中学3年生の進路)

○ 区分別進路先 (%)

	公立	私立	定時・通信	特別支援	就職 他
平成28年度	75.0	20.0	2.4	1.8	0.8
平成29年度	69.5	23.0	4.9	1.2	1.4
平成30年度	73.6	19.3	4.9	0.2	1.5

平成30年度公立高等学校入学者選抜(平成29年3月)から、新しい入試制度が実施となり、三河第1群と三河第2群が統一され、AグループとBグループの学校の組み合わせが広がった。

市内6中学校3年生405名のうち、376名(92.8%)が全日制の高等学校へ進学している。また、新城市内の公立高校(新城高校・新城東高校・新城東高校作手校舎・有教館高校)への進学者は全体の44.9%を占める。

新城東高校作手校舎の存続に関しては、募集停止基準が「第1学年における新城市内の中学校からの入学者が2年連続して20人未満になった場合」となっている。平成27年度の市内からの入学者数は24名、28年度は33名となり、この2年間は存続要件を満たしていた。29年度の入学生は17名となったが、30年度の入学生が36名となり存続要件を満たした。

平成31年度より開校した新城有教館高校に関しては、入学者定員240名を割ることなくスタートを切ることができた。これは、開校に先立ち、新城有教館高校の関係職員が、生徒や保護者を対象とした説明会を多く設定し、新設校の入試に関する内容や、学科編成等について丁寧に説明したことが理由の一つと考えられる。

○ 市内の公立高校への進学者 (%)  
(新城高校・新城東高校・新城東高校作手校舎有教館高校)

平成28年度	45.1
平成29年度	38.0
平成30年度	44.9

### 2 キャリア教育

市内中学校2年生の全生徒が職場体験を行っている。今年度も市内6中学校、367名がそれぞれの職場で学んだ。事前学習(社会人の講話を聞き、心構えや職業観について学ぶ等)、準備(適性検査、電話のかけ方のマナーを学ぶ等)、職場体験(各種事業所、市役所、市民病院、こども園等での体験)により、働く意義を学ぶ貴重な機会となっている。

年々、事業所の確保が大変になってきている状況ではあるが、このような体験も働く大変さを学ぶ機会と捉えている。今後、地域に働きかけ、新たな事業所の開拓を行い職場体験の選択肢を拡げていきたい。また、農業体験や林業体験といった地域の特性に応じた労働体験も味わうことができるカリキュラムを、学校ごとに工夫している。

### 3 評価と検証

職場体験学習は、働くことの大切さを体験するとともに、地域社会を知り、地域の人々の考えに直接ふれる、共育の推進の貴重な機会にもなっている。職場体験学習を、進路指導の中核に位置づけ、実体験を通して、生徒一人一人に自分を見つめ、自らの生き方を考えさせる機会とさせていきたい。

## 4(24)

## 小中学生の体力・運動状況

## 1 平成30年度 全国体力運動能力、運動習慣等調査結果から

実施種目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は持久走）

50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げ）

小5 男子	握力 (k g)	上体起こし (回)	長座体前屈 (c m)	反復横とび (点)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (c m)	ソフトボール投げ (m)	体力合計 (点)
国	16.54	19.94	33.31	42.10	52.15	9.37	152.26	22.14	54.21
愛知県	15.82	18.55	32.52	40.56	46.66	9.42	151.35	21.11	52.20
<b>新城市</b>	<b>16.47</b>	<b>19.72</b>	<b>35.33</b>	<b>42.52</b>	<b>56.37</b>	<b>9.32</b>	<b>157.53</b>	<b>22.69</b>	<b>55.99</b>

小5 女子	握力 (k g)	上体起こし (回)	長座体前屈 (c m)	反復横とび (点)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (c m)	ソフトボール投げ (m)	体力合計 (点)
国	16.14	18.96	37.63	40.32	41.89	9.60	145.97	13.76	55.90
愛知県	15.55	17.66	36.82	38.90	37.19	9.64	146.16	13.29	54.00
<b>新城市</b>	<b>16.55</b>	<b>17.85</b>	<b>38.29</b>	<b>41.80</b>	<b>49.47</b>	<b>9.50</b>	<b>152.98</b>	<b>14.56</b>	<b>57.95</b>

中2 男子	握力 (k g)	上体起こし (回)	長座体前屈 (c m)	反復横とび (点)	1500m (秒)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (c m)	ハンドボール投げ (m)	体力合計 (点)
国	28.83	27.25	43.35	52.20	393.72	7.99	195.59	20.49	42.18
愛知県	27.88	26.64	42.82	51.77	398.40	8.11	192.24	20.05	40.32
<b>新城市</b>	<b>28.51</b>	<b>25.96</b>	<b>42.29</b>	<b>52.32</b>	<b>382.52</b>	<b>8.00</b>	<b>197.52</b>	<b>19.92</b>	<b>40.54</b>

中2 女子	握力 (k g)	上体起こし (回)	長座体前屈 (c m)	反復横とび (点)	1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (c m)	ハンドボール投げ (m)	体力合計 (点)
国	23.83	23.77	46.19	47.34	287.53	8.78	170.06	12.90	50.43
愛知県	23.52	23.55	45.75	47.39	290.27	8.89	169.08	12.95	49.28
<b>新城市</b>	<b>23.98</b>	<b>22.84</b>	<b>44.77</b>	<b>48.71</b>	<b>264.15</b>	<b>8.67</b>	<b>175.47</b>	<b>13.53</b>	<b>52.10</b>

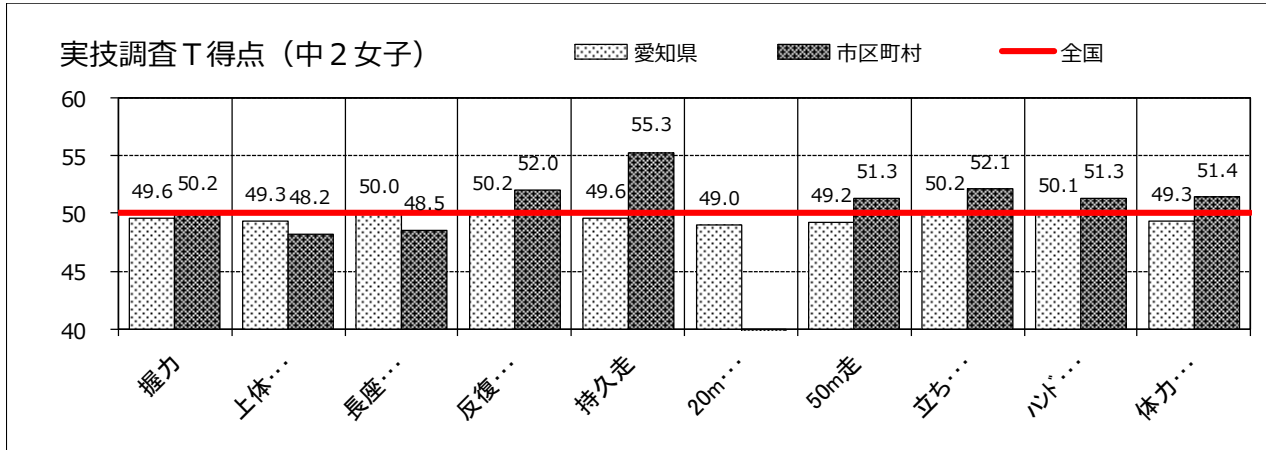
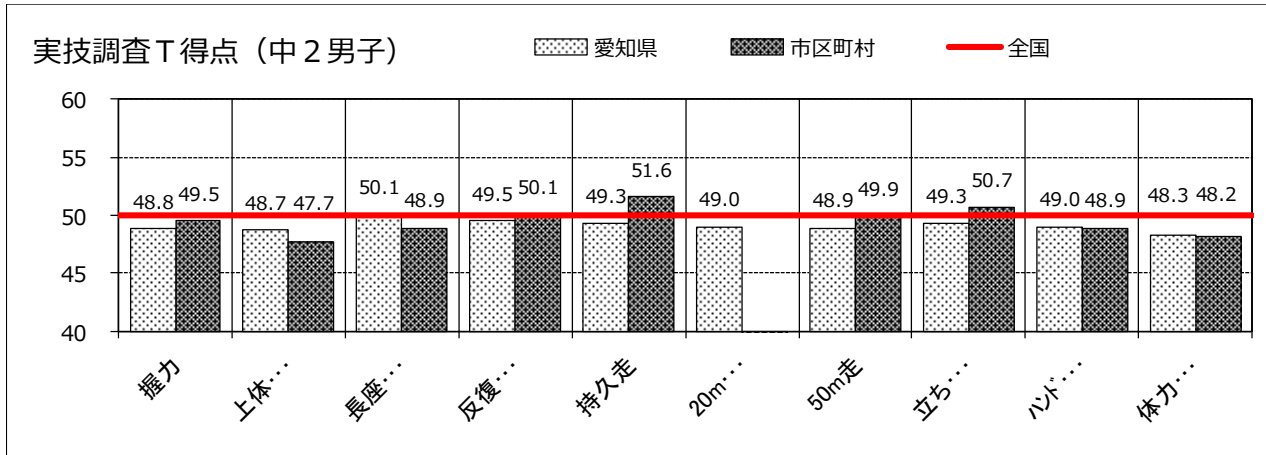
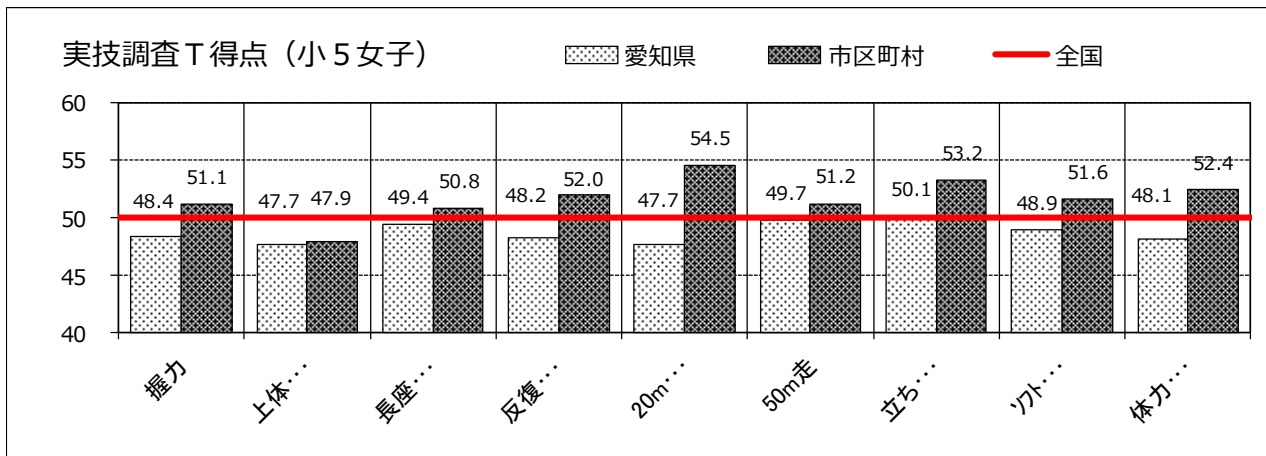
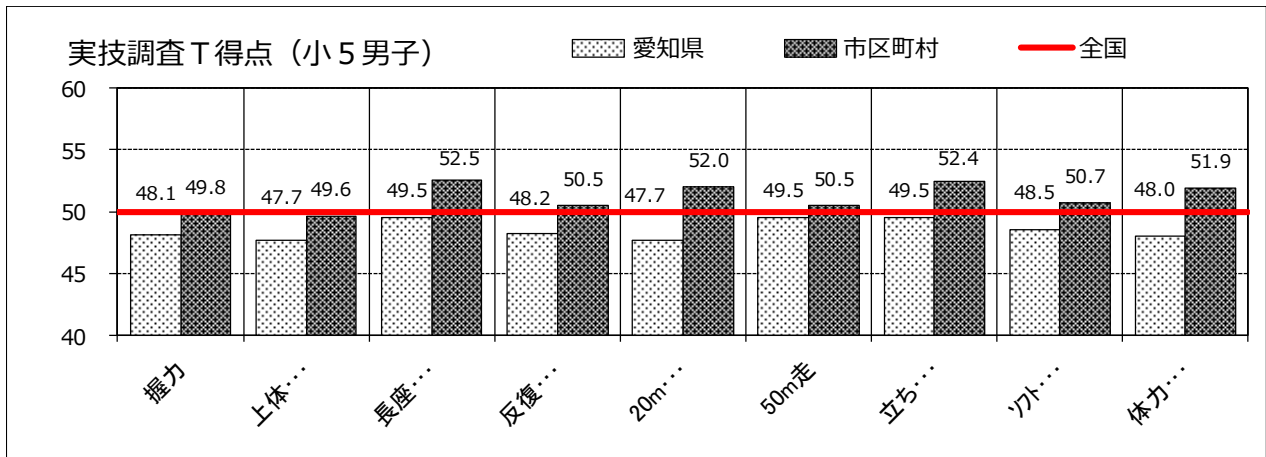
## 2 評価と検証

愛知県の小学生の体力テストの平均値が全国平均と比べて低いことが懸念される中で、本市の小学校の平均値は全国平均より上回っている。種目別では、男女ともにシャトルラン、立ち幅跳びが高い得点となっている。

中学生の男子では、8種目中6種目が全国平均より下回っている。女子は2種目が下回っている。

小学校における集団遊びの時間と場の確保や、中学校における全体的な体力向上の取り組みを充実させていく必要がある。

全国平均を 50 にした場合の T 得点による新城市の状況



## 4(25)

## 部活動の状況

## 1 部活動実施上の基本的な考え

部活動を通し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団や社会の一員として豊かな生活を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。指導に当たっては、家庭・地域との連携により、子供の様子を多面的にとらえながら、充実した活動が展開できるように努める。

## 2 部活動の種類と各中学校における部活動（常設）開設状況

(1) 小学校 ソフトボール、ソフトバレーボール、バスケットボール、卓球、駅伝

(2) 中学校 軟式野球、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、剣道、弓道、吹奏楽、美術、芸術、【特設部活動 バドミントン(鳳来中)】

	野球	ソフト	バレー	バス	テニス	卓球	剣道	弓道	水泳	吹奏	美術・芸術
新城	○	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	—
千郷	○	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	◎
東郷	○	●	◎	◎	◎	○	◎	◎	—	◎	◎
八名	○	—	●	●	○	◎	—	○	—	◎	—
鳳来	○	—	○	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	—
作手	—	—	—	—	○	●	—	◎	—	—	—

◎男女 ○男子のみ ●女子のみ —なし

平成30年4月現在

## 3 本年度の主な結果

<東三河中学校総合体育大会> (3位以上)

団体	卓球 (男子)	千郷中	3位
	東三河中学校吹奏楽コンクール 団体・B編成	千郷中	金賞
個人	水泳 (女子)	林 陽菜 (八名中) 100m背泳ぎ	優勝
	水泳 (女子)	柿田 愛桜 (新城) 50m自由形	3位
	水泳 (女子)	小西 舞歩 (作手) 100mバタフライ	3位

## 4 評価と検証

平成29年度より中小体連主催の大会が精選され、春季体育大会と陸上競技大会が取りやめとなった。このことにより、年度初めを生徒がゆとりをもって学校生活を送ることができた。また、所属する部の活動に専念できるようになっている。

小学校の課外活動においては平成29年度をもって水泳大会と陸上大会を取りやめ、駅伝大会を新設した。学校教育全体のバランスを考慮した事業の見直しができる。



4(26)	学校行事の状況
-------	---------

### 1 「共育」推進・校内現職教育事業

学校名	内容
新城小学校	響きあいながら考えを深める子供の育成～新小で育む「読む・書く・論ずる」力～
千郷小学校	「真直ぐに伸びるちさとっ子の育成」～問題意識をもち、主体的に学ぶ授業の創造～
東郷西小学校	わかる喜び、できる喜び、みんなと学ぶ喜び、みんなから認められる喜びを得られる西っ子の育成
東郷東小学校	人・もの・自然を大切に作る心豊かな児童の育成～特別活動「卒業プロジェクト」を軸に学校活動をリノベートする～
舟着小学校	自ら考え、共に学び合う中で、「学んで楽しい」と思える子の育成～3つの「たい」があふれる算数の授業を通して～
八名小学校	主体的に生きる子の育成～学びをつなぐ力を育てる授業づくり～
庭野小学校	音楽活動を軸として他教科・領域との関連を図る授業づくり
鳳来中部小学校	自分の思いを発信できる子～地域と積極的に関わる活動を通して～
鳳来寺小学校	学区のよさを知り、心にふるさとのある子の育成～探究的・協同的な学習を通して～
黄柳川小学校	「体・徳・知のバランスのよい子の育成」～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～
東陽小学校	共に学ぶ授業づくり～自尊感情と問題解決力を高める活動を通して～
鳳来東小学校	豊かに自己表現のできる子どもの育成～ふるさとの「ひと・もの・こと（鳳来東の三宝）」を生かした学習の深化を図る～
作手小学校	作手大好き！～「挑み続ける子」の育成～
新城中学校	一步踏み出すさわやかはつらつ新中教師～新たな時代を紡ぐ「人材育成」で「働き方改革」～
千郷中学校	一人一人を認め合い、自ら学びをふかめようとする生徒の育成
東郷中学校	生徒が創る授業
八名中学校	郷土学習の成果を生かし、基礎基本を身に付け、自らの思いを表現できる生徒の育成
鳳来中学校	本校の教育的課題の解決に取り組み、教員の力量向上を図る I
作手中学校	笑顔・真顔の元気な学校～心と学びでつなぐ小中連携教育を通して～

### 2 主な行事一覧

月	日	行事名
4	5	中学校入学式・始業式
	6	小学校入学式・始業式
5	20	運動会（千郷小，東陽小）
6	9	市内一斉共育の日（10校）
	16	市内一斉共育の日（9校）
	30	小学校球技大会
7	7・8	中学校総合体育大会
8	1	小学生イングリッシュチャレンジ
	9	第11回おもしろ実験・観察教室
9	15・29	体育大会（市内全中学校）
	16・29	運動会（市内12小学校）
10	6	英語スピーチコンテスト
	8	市民体育大会陸上競技
	13	中学校駅伝大会
	25	研究委嘱校研究発表会（4校）
11	10・17	文化祭（市内全中学校）
	17・24	学習発表会（市内全小学校）
12	8	第21回数楽チャレンジ
1	12	第21回聞いてください私の話
3	5	中学校卒業式
	20	小学校卒業式
	22	修了式

### 3 野外学習

学校名	実施期間		参加学年	利用施設名
新城小学校	平成30年6月15日（金）～平成30年6月16日（土）	1泊3日	5年	作手高原野外センター
千郷小学校	平成30年9月24日（月）～平成30年9月26日（水）	2泊3日	5年	美浜少年自然の家
東郷西小学校	平成30年6月22日（金）～平成30年6月23日（土）	1泊2日	5年	作手高原野外センター
東郷東小学校	平成30年7月6日（金）～平成30年7月7日（土）	1泊2日	5年	作手高原野外センター
舟着小学校	平成30年7月17日（火）～平成30年7月18日（水）	1泊2日	5.6年	学童農園 山びこの丘
八名小学校	平成30年6月1日（金）～平成30年6月2日（土）	1泊2日	5年	作手高原野外センター
庭野小学校	未実施			
鳳来中部小学校	平成30年5月24日（木）～平成30年5月25日（金）	1泊2日	5年	学童農園 山びこの丘
鳳来寺小学校	平成30年8月3日（金）～平成30年8月4日（土）	1泊2日	4～6年	作手高原野外センター
黄柳川小学校	平成30年7月29日（日）～平成30年7月30日（月）	1泊2日	4.5年	作手高原野外センター
東陽小学校	平成30年7月27日（金）～平成30年7月28日（土）	1泊2日	5年	作手高原野外センター
鳳来東小学校	平成30年7月5日（木）～平成30年7月6日（金）	1泊2日	3～5年	学童農園 山びこの丘
作手小学校	平成30年7月13日（金）～平成30年7月14日（土）	1泊2日	4～6年	作手高原野外センター
新城中学校	平成31年1月30日（水）～平成31年2月1日（金）	2泊3日	1年	飛騨数河ホテル
千郷中学校	平成31年1月16日（水）～平成31年1月18日（金）	2泊3日	1年	飛騨数河ホテル
東郷中学校	平成31年1月23日（水）～平成31年1月25日（金）	2泊3日	1年	飛騨数河ホテル
八名中学校	平成30年5月24日（木）～平成30年5月26日（土）	2泊3日	2年	飯田市 大平宿
鳳来中学校	平成30年6月6日（水）～平成30年6月8日（金）	2泊3日	2年	飯田市 大平宿
作手中学校	平成30年6月3日（日）～平成30年6月5日（火）	2泊3日	2年	美浜少年自然の家

#### 4 修学旅行（小学校）

学校名	旅行期間	旅行先
新城小学校	5月28日 ～ 5月29日	京都 ・ 奈良
千郷小学校	10月19日 ～ 10月20日	京都 ・ 奈良
東郷西小学校	10月17日 ～ 10月18日	京都 ・ 奈良
東郷東小学校	5月18日 ～ 5月19日	京都 ・ 奈良
舟着小学校	5月27日 ～ 5月28日	京都 ・ 奈良
八名小学校	10月26日 ～ 10月27日	京都 ・ 奈良
庭野小学校	5月20日 ～ 5月21日	京都 ・ 奈良
鳳来中部小学校	10月28日 ～ 10月29日	京都 ・ 奈良
鳳来寺小学校		
黄柳川小学校		
東陽小学校		
鳳来東小学校		
作手小学校	11月30日 ～ 12月1日	京都 ・ 奈良

#### 5 修学旅行（中学校）

学校名	旅行期間	主な旅行先（平成30年度）	主な旅行先（平成29年度）
新城中学校	5月29日 ～ 5月31日	東京・山中湖	東京・横浜
千郷中学校	5月23日 ～ 5月25日	東京・日光	東京・日光
東郷中学校	5月23日 ～ 5月25日	東京・千葉・神奈川	東京・千葉
八名中学校	5月30日 ～ 6月1日	東京・鎌倉	東京・鎌倉
鳳来中学校	5月29日 ～ 5月31日	東京・横浜	東京・横浜
作手中学校	5月23日 ～ 5月25日	東京・横浜・鎌倉	東京・横浜・鎌倉

<b>4(27)</b>	<b>外国人児童生徒の状況</b>
--------------	-------------------

**1 日本語指導が必要な児童生徒数の推移**

(毎年 5 月 1 日調査)

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
児童生徒数	20	26	29	34	41

**2 平成 30 年度 学年別児童生徒数内訳**

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
小 学 校	4	3	5	8	4	4	28
中 学 校	3	5	5	/	/	/	13

**3 平成 30 年度 母語別児童生徒数内訳**

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

	ポルトガル語	スペイン語	フィリピン語	中国語	ネパール語	合計
小 学 校	18	3	6	0	1	28
中 学 校	3	2	6	2	0	13
合 計	21	5	12	2	1	41

**4 日本語指導が必要な外国人児童生徒の教育状況**

市内 5 校（新城小学校、千郷小学校、新城中学校、東郷中学校）に日本語教育が必要な児童生徒が在籍している。新城小学校では、日本語指導教室が設置されており、区域外の日本語指導が必要な児童を受け入れている。担当者が、個別支援計画や一人一人に合った日本語指導の教材を用意して、取り出しによる授業を行っている。また、日常生活で使う日本語が理解できない児童については、国語・算数・道徳などの授業から 1 日 2 時間程度取り出して、日本語指導を行っている。千郷小学校では、特に取り出しの授業を行う必要はなく、その都度、該当児童に確認をすることで個別対応している。新城中学校では、教員が分担をして、個々の日本語の能力に応じた入り込み指導を行っている。千郷中学校では、入り込み指導を週に 2 時間程度行っている。東郷中学校では、教員が分担をして、週に 10 時間程度取り出して、個別指導を行っている。

また、新城小学校と新城中学校へは、人的な側面で支援するために、通訳業務を行う学習支援員（ポルトガル語担当 1 名、フィリピン語担当 1 名）を派遣している。児童生徒への通訳だけではなく、保護者への対応や通信等の翻訳業務も行っている。他にも、市内 5 校には、県の語学相談員（ポルトガル語担当 1 名、スペイン語担当 1 名、フィリピン語担当 1 名）が学校訪問をしており、学校の実情に応じた活用をしている。

**5 評価と検証**

子供たちの母国語の多様化、日本語教育が必要な児童生徒の増加により、学校では個別の対応が求められる。しかしながら、学校によっては対応する教員の負担の増加、言葉の壁により十分に対応ができないことが課題としてあげられる。また、小学校高学年や中学校から転入するケースが出てきて、日本語が分からないことによる学習の遅れも課題となっている。

通訳業務を行う学習支援員は、勤務時間外にも保護者からの相談等を受けることが多いが、親身になって対応することにより保護者から厚い信頼を得ている。しかし、学習支援員のうちの一人は高齢になってきているため、新たな学習支援員の配置を検討する必要がある。

## 1 イングリッシュチャレンジ

## (1) 内容

- ①目的 市教委のアクティブ事業「英語部門」の教育振興
- ②期日 平成30年8月1日(水) 9:30~12:50
- ③会場 新城つくで交流館
- ④参加者 市内小学5・6年生



## (2) 評価と検証

第2回となる本年度は、昨年度より11名増の25名の児童が参加し、オールイングリッシュの環境の中で、買い物の疑似体験やメキシコの家料理作り挑戦した。買い物の疑似体験では、初めて聞く日用品の英語に苦戦しながらも、班員と協力して、店員役の先生と英語でやりとりをしながら必要な物を購入できた。メキシコの家料理作りでは、ALTからの説明やジェスチャーを見聞きし、調理を進めていった。

参加した児童へのアンケートから、今回の事業について、参加した25名中24名が「とても楽しい」または「楽しい」と評価したことが分かった。また、感想には、「全部英語で分かりにくいところも少しはあったけれど、楽しくてよい経験になった。」「英語で話すのはとても大変で、どうなるかと思ったけれど、少し慣れたので、またできたらやってみたい。」等があげられ、英語を使うことの楽しさや達成感を味わわせることができたと考える。しかし、調理の場面では、作業をしていると英語に触れる機会が少なくなってしまうことが課題である。次回からは、児童がもっと英語に触れ、さらにチャレンジできる事業内容を検討していく。

## 2 数楽チャレンジ

## (1) 内容

- ①目的 市教委のアクティブ事業「数学部門」の教育振興
- ②期日 平成30年12月8日(土) 9:30~14:30
- ③会場 新城東高等学校
- ④参加者 小学校高学年<5・6年>、中学生



&lt;じっくり考える&gt;

## (2) 評価と検証

21回目の開催となる本年度は市内から111名の応募105名の参加があった。

参加児童生徒に「驚き」と「豊かな発想」を体験してもらいたいという願いを込めて実行委員が知恵を振りしぼった問題が出題された。

子どもたちは飽きることなく、集中して取り組む姿が見られた。答えを導き出すために考えることや、図形や立体を操作することを、毎年楽しみにしている子が多くいることが分かる。

このような様子から、本事業も子供のやる気の啓発と、算数数学への関心を高めることにつながっていることが



&lt;大学生と楽しむ&gt;

うかがえた。

毎年、大盛況の大学生による体験コーナーでは、「ドーンと世界旅行」「ストロー正多面体」「15 パズル」「パズル」に、目を輝かせながら挑戦をする姿が見られた。

担当教諭が問題を作成したり、提出された解答用紙の採点を行ったりすることへの負担感の軽減や、児童生徒が参加しやすい開催時期の変更等について、今後も検討を重ね、教楽チャレンジの参加者を増やしていきたい。

### 3 おもしろ実験・観察教室

#### (1) 内容

- ①目的 市教委のアクティブ事業「理科部門」の教育振興
- ②期日 平成30年8月9日(木) 9:30~11:00
- ③会場 西部公民館(ちさと館)
- ④参加者 小・中学生および一般

#### (2) 評価と検証

教育研修会理科部員の6ブースに加え、外部の4団体(豊川工業高校、豊橋市自然史博物館、豊橋市地下資源館、鳳来寺山自然科学博物館)に出展を依頼し、計10ブースが並んだ。当日は、総勢約300名の参加があり大盛況となった。どのブースでも参加した子供たちは、目を輝かせて実験観察を楽しみ、「楽しかった。また来年も来たい。」という感想が聞かれた。この事業は、身近なものを使った科学実験のおもしろさに触れることで、自然への興味を深めることができ、また、夏休み自由研究のヒントを得る機会にもなっている。理科好きな子供を育てる有意義な事業として位置付けている。

### 4 聞いてください私の話

#### (1) 内容

- ①目的 市教委のアクティブ事業「国語部門」の教育振興
- ②期日 平成31年1月12日(土) 9:10~12:00
- ③会場 新城文化会館 小ホール
- ④参加者 市内小中学校児童生徒、市内在住高等学校生徒
- ⑤発表例 「黄柳川小学校校訓作り」「歌舞伎とわたし」「停電を乗り越えて」等

#### (2) 評価と検証

本年度は、小中学生、高校生総勢48名(26組)であり、人数・組ともに多くの参加者が集った。「意見、主張や体験を言葉で表現する」「発表力やコミュニケーション能力を養う」「各校が取り組んでいる言語活動の成果発表の場の1つとする」の3点を大切に、原稿を見ながら発表するのではなく、自分の言葉で発表することで、それぞれの思いが会場内の皆さんに伝わった。

各学校での指導が的確にされており、内容や発表の仕方など成果が上がっていると考えられる。参観者が少ないことが課題であったので、市議会議員の他、女性議会、若者議会のメンバーにも案内を出した。今後は参観してもらえよう啓蒙していく。

### 1 中学生海外派遣の経緯

1986年(昭和61年)の第1回7名派遣から、2016年(平成28年)の第31回派遣まで、SARSやMARSの大流行などによる継続の危機を乗り越え、市内の中学生を派遣してきた。この事業を通して、日韓の生徒たちが相互に理解を深め、国際的視野を広げ、人生の糧として生かしてきたことが大きな成果だったといえる。交流相手の慶北大学校師範大学附設中学校、友鹿洞村の方々、支援して下さった新城ロータリークラブならびに大邱ヨンナンロータリークラブの方々のおかげで、累計615名の中学生が貴重な体験をすることができた。

### 2 中学生海外派遣・交流事業中止決定の経過

朝鮮民主主義人民共和国は、平成29年7月4日、韓国大統領訪米直後、米国の独立記念日、G20首脳会合の直前の時に、大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験に成功したとの「特別重大報道」を発表した。大陸間弾道ミサイルは、米国の定めるレッドラインを超えるもので、「脅威はこれまで以上に差し迫っている」、「軍事衝突に発展すれば日韓を巻き込んだ壊滅的な戦争になる」といった米国政府関係者の発言もあった。翌5日朝には、米韓合同で弾道ミサイル発射訓練を実施した。

こうした状況は、教育関係者や保護者の不安を高め、この緊迫した時期に韓国に生徒を安全に派遣することができるのかという声が大きくなった。31年間に及ぶ韓国との友好親善の交流は大事であるが、生徒の生命の安全の担保には代えることができないと判断し、平成29年度の派遣の中止を決定した。

### 3 中学生海外派遣・交流に関わる日程(派遣中止決定まで)

新城市中学生海外派遣団(派遣生徒16名、引率教師3名)

派遣団長 中島隆文 校長(鳳来中)、引率 安形友紀恵(新城中)、尾崎達也(東郷中)

- ① 海外派遣打合せ会 6月7日(水)
- ② 第1回学習会 6月23日(金)
  - ・交流会打合せ ・韓国語学習
  - ・韓国の歴史、文化についての学習(各自)
- ③ 臨時教育委員会議 7月5日(水)
  - ・生徒と引率教員の生命の安全を第一に考え、平成29年度の韓国への派遣中止決定
- ④ 保護者への説明会 7月11日(火)
  - ・派遣中止について説明
- ⑤ 韓国慶北大学校師範大学附設中学校の日本語担当教員へ訪問中止について電話連絡し、了解を得る。新城市長、新城ロータリークラブに連絡。報道発表 7月13日(木)
- ⑥ 新城ロータリークラブを通じて、教育長を差出人とした親書を慶北大学校師範大学附設中学校長に親書を渡す 8月17日(木)
- ⑦ 附設中学校より新城市への訪問は中止するとの申し出があり、交流事業の中止を決定 9月11日(月)

### 4 評価と検証

平成30年度においても、日韓両国間において政治的な改善は見られず、中学生を派遣するうえでの安全確保ができていない状況であると判断し、派遣交流の休止を継続している。

<b>4(30)</b>	<b>教科用図書</b>
--------------	--------------

**1 採択スケジュール**

7月26日 新城市教育委員会会議 市教委にて採択・各小中学校へ需要数調査  
 8月7日 県教委へ採択結果を報告

**2 教科書センター**

(1) 新城・設楽採択地区

・新城教科書センター

新城図書館 〒441-1381 新城市字下川 1-1

・田口教科書センター

設楽町立田口小学校資料室 〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字白根土

(2) 展示期間

平成30年6月8日(金)～7月2日(月)

**3 採択された教科用図書**

<小学校教科用図書>                      <中学校教科用図書>

**4 評価と検証**

種目名	発行者名
国語	東書
書写	教出
社会	日文
地図	帝国
算数	啓林館
理科	大日本
生活	大日本
音楽	教芸
図工	開隆堂
家庭	東書
保健	大日本
道徳	日文

種目名	発行者名	種目名	発行者名
国語	光村	音楽(一般)	教芸
書写	教出	音楽(器楽合奏)	教芸
社会(地理的分野)	東書	美術	光村
社会(歴史的分野)	東書	保健体育	大日本
社会(公民的分野)	東書	技家(技術分野)	開隆堂
地図	帝国	技家(家庭分野)	開隆堂
数学	啓林館	英語	東書
理科	大日本	道徳	日文

※中学校道徳は、初めての採択

来年度使用の中学校道徳教科用図書については、十分調整研究し、採択地区内中学校の編成する教育課程にもっとも適する教科書を採択した。小学校教科用図書は平成27年度、中学校は平成28年度使用教科書と同一のものを採択した。



## 4(31) 道徳教育

### 1 今年度の取り組み

#### (1) 道徳の時間の授業公開

各小中学校において、道徳の授業を参観日や公開日に合わせて行い、多くの学校で道徳の地域化の推進を図る取り組みがされた。

＜道徳の時間の授業公開の状況 教育実態状況調査より＞

	全学級で公開	一部の学級で公開	未公開
小学校	4	7	2
中学校	6	0	0

授業公開の成果については、小学校、中学校ともに「児童生徒の道徳的価値を高めるのに役だった」や「家庭や地域に道徳教育の重要性や学校の取組について、理解を得ることができた」という回答があげられた。

#### (2) 愛知県教育委員会モラルBOXへの掲載

情報モラル教育を含め道徳教育に役立つ題材や各小・中学校の道徳教育に関する取組の様子を情報提供している。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月
心の教育 推進活動		八名小	作手小	黄柳川小 作手中		鳳来中部小 鳳来中		千郷中
情報モラル教 育実践		舟着小	鳳来東小 八名中		千郷小		新城小	
道徳科の 授業実践	鳳来寺小	東郷中		東郷西小	東陽小	庭野小	新城小	東郷東小

#### (3) 教科化に向けて

小学校では今年度から「特別の教科 道徳」が実施され、来年度からは中学校で実施される。今年度は、市内教務校務主任研修会で、「特別の教科 道徳」の研修を行った。東郷中学校の実践報告をもとにポートフォリオによる評価の演習を実施した。また、道徳の評価の視点について、新城市の指導員から具体的な指導を受けた。

### 2 評価と検証

市内全小中学校で、年間指導計画の見直し、「考え 議論する道徳」を意識した授業、評価についての実践や研修が進んでいる。中学校では、道徳の授業研究会に市の指導員を招くなどして、道徳の授業づくりや評価についての研修を深めている学校もある。

市としては、「新城共育12（いいに）」の標語も活用しながら、学校の授業だけでなく、地域全体で道徳教育を推進していきたい。

<b>4(32)</b>	<b>学校図書館教育</b>
--------------	----------------

### 1 学校図書館活動概要

(全国より下：▲)

		新城市 (30年度)	全国 (28年度)	全国との比較
蔵書冊数 (冊)	小学校 (1校平均)	7,523	8,920	▲ 1397
	中学校 (1校平均)	11,979	10,784	1195
図書標準達成率 (%)	小学校	100.0	66.4	33.6
	中学校	100.0	55.3	44.7
朝の読書の実施 率 (%)	小学校	100.0	97.1	2.9
	中学校	66.6	88.5	▲ 21.9
データベース化 実施率 (%)	小学校	100.0	73.9	26.1
	中学校	100.0	72.7	27.3

平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」の結果より(隔年調査のため平成28年年度)

### 2 読書活動の現状

(平成30年5月1日現在)

	小学校	中学校
全校一斉の読書活動	13校 (始業前13)	6校 (始業前4・その他2)
全校一斉の読書活動の頻度	13校 (毎日2・週複数回9・週1回2)	6校 (毎日3・週複数回3)
ボランティアの活動	13校 (読み聞かせ13)	0校
公共図書館との連携	9校 (公共図書館資料の貸出9)	1校 (公共図書館資料の貸出1)

### 3 読み聞かせ活動

各小学校で行われている「読み聞かせ活動」は、地域の方々のご協力で工夫ある取り組みがされている。

黄柳川小学校の例 水曜日 (月に1回) 8時15分から (20分間)

15名登録 (保護者、元教員、地域の人等)

1年生に読んだ本	「ママのたんじょうび!」など
2年生に読んだ本	「どんどん めんめん」など
3年生に読んだ本	「ぼくの夢」など
4年生に読んだ本	「このあと どうしちやおう」など
5年生に読んだ本	「ママがおばけになっちゃった!」など
6年生に読んだ本	「おおきな木」など

### 4 評価と検証

全校一斉の読書活動は、全小中学校で取り組んでいる。また、地域の方々のご協力のおかげで、読み聞かせ活動はほとんどの小学校で行われており、共育の一環としてよく定着している。また、読み聞かせグループの自主連携サークルが、図書館まつり等の公共図書館での行事に参加することで、各校間の情報交換をすすめている。

平成29年度より「第5次学校図書館図書整備5か年計画」がスタートした。本市においては、小学校の蔵書冊数が全国に比べ低い値となっているが、これは5か年計画の計目的にある、計画的な図書の更新を図るため、古くなり読まれなくなった蔵書を廃棄したことによる。

4(33)	人権教育
-------	------

### 1 人権週間の期間中に行事等を実施した学校数の割合の推移(平成28～30年度)

取り組み内容	【小学校】 (%)				【中学校】 (%)			
	30年度 新城市	参考 (愛知県)			30年度 新城市	参考 (愛知県)		
		30年度	29年度	28年度		30年度	29年度	28年度
道徳の授業	100.0	94.6	91.8	91.4	83.3	85.3	83.7	82.0
社会の授業	0.0	16.9	17.4	17.7	33.3	25.7	25.2	28.4
国語の授業	23.1	14.1	17.2	16.2	50.0	11.1	11.4	15.4
学級活動	53.8	62.1	63.1	65.8	16.7	34.2	41.5	42.2
総合的な学習の時間	7.7	14.7	14.8	16.0	0.0	10.7	10.8	11.4
校長講話	92.3	83.2	83.5	85.2	83.3	65.8	61.8	62.7
講演会	23.1	18.3	17.8	23.9	16.7	21.5	21.6	23.2
DVD等の視聴	23.1	26.9	29.4	31.4	16.7	16.6	17.0	18.0
児童・生徒集会	7.7	34.1	30.6	31.6	0.0	28.0	30.1	29.1
教育相談活動	46.2	48.9	49.2	46.3	66.7	38.8	42.8	43.8
いじめ・不登校調査	61.5	54.7	53.1	53.4	50.0	42.7	48.7	49.3
作文・ポスター等	100.0	85.3	85.9	81.4	83.3	73.6	77.1	74.5
校内放送	46.2	61.1	60.2	68.5	66.7	55.7	56.5	62.4
新聞・啓発文書	7.7	21.3	22.3	29.7	16.7	21.2	26.8	30.1
教職員の研修	7.7	11.4	7.2	9.6	50.0	11.4	6.2	11.1
その他	38.5	19.6	17.9	17.1	33.3	13.7	14.4	14.7

### 2 人権週間に視聴された人権に関するDVD等の題名

#### (1) 小学校

題名	内容	題名	内容
人KENまもるくとあゆみちゃん世界を幸せにめぐみ	その他		
	その他		

#### (2) 中学校

題名	内容	題名	内容
めぐみ	その他		

### 3 評価と検証

- ・小中学校ともに、人権週間に道徳の授業、校長講話、作文・ポスター等に力を入れ、全児童生徒に対して人権教育が行われている。
- ・小学校では、学級活動や教育相談活動を通して、よりきめ細かく人権教育に取り組む学校が増えた。
- ・中学校では、国語や技術の授業を通して、SNSによる人権侵害を含む人権教育に取り組む学校が増えた。また、生徒の人権に関する現職教育や人権尊重に関わる研修を実施するなどして、教職員が人権についての理解を深める学校も増えた。
- ・新城市では、いじめ対策人権サポート委員会を年2回開催し、外部専門機関（法務局、児童相談センター、新城警察署、）や臨床心理士等と新城市の現状について情報交換をし、助言を受けることで、いじめや人権問題に対応をしている。

## 1 目的

日々の教育活動の中で環境問題に積極的に取り組むことを通して、環境破壊防止やエコ活動の推進等を考え、人間生活と自然についての理解を深める。

## 2 内容

学校付近を流れる河川の調査、野鳥観察などの自然観察、また、家庭から出るゴミのリサイクル活動、花いっぱい運動等、各学校においてテーマを決め、暮らしと環境について自分たちの体験を通じて環境問題を学習する。

### <新城小学校>

- ・浄水場への校外学習
- ・クリーンセンター、埋立処分場見学
- ・アルミ缶回収
- ・「ぎょぎょランド」再生活動
- ・「ふあんふあんファーム」学校農園再開発
- ・樹木学習

### <千郷小学校>

- ・野田川の水生生物調査
- ・空き缶回収
- ・「くらしとごみ」クリーンセンター見学
- ・自分たちにできるリデュース、リユース、リサイクル活動
- ・放射線を学ぶ学習と霧箱観察実験
- ・学習発表会（環境をテーマにした劇）
- ・野菜などの栽培活動

### <東郷西小学校>

- ・稲作体験
- ・水生生物調査
- ・リサイクル活動
- ・「くらしとごみ」クリーンセンター見学
- ・学童農園での草花や野菜の栽培
- ・花いっぱいプロジェクト
- ・みどりの学習

### <東郷東小学校>

- ・クリーンセンター見学
- ・浄水場見学
- ・学級園での野菜作り
- ・アルミ缶、牛乳パック
- ・ペットボトルキャップ回収
- ・果樹園の観察
- ・米作り（お田植え踊り、田植え、稲刈り）
- ・環境安全委員会による古紙、段ボール整理
- ・校内の自然観察
- ・大豆栽培、豆腐づくり、おからで蒸しパン
- ・ショッピングセンター環境の取り組み見学
- ・外部講師によるリサイクル工作
- ・五反田川水質調査

### <舟着小学校>

- ・豊川、大入川の水質検査
- ・学級園での野菜づくり
- ・舟小クリーン作戦（通学路のゴミ拾い）
- ・空き缶回収、クリーンセンター見学

### <八名小学校>

- ・田んぼの学校（年間通しての稲作学習）
- ・森の学校（学校林での活動、森のはたらき）
- ・八名の水（堀切川の生物）
- ・ふるさと探検（コスモス小径）
- ・八名の環境（アルミ缶回収、クリーンセンター見学）
- ・学校農園での野菜作り

### <庭野小学校>

- ・命と生活をささえる水（浄水場見学）
- ・ごみのゆくえ（埋立処分場・クリーンセンター見学）
- ・原川の水生生物調査
- ・稲作体験
- ・気温調査
- ・アルミ缶回収
- ・学区クリーン活動
- ・緑のカーテン
- ・学級園での野菜づくり
- ・しいたけ栽培
- ・全校縦割り班による花の世話

### <鳳来中部小学校>

- ・稲作体験、大豆栽培体験学習
- ・学習園での栽培活動
- ・アルミ缶回収、ペットボトルキャップ集め
- ・環境委員会による古紙、段ボール整理
- ・乗本浄水場見学
- ・埋立処分場、クリーンセンター見学

### <鳳来寺小学校>

- ・お茶つみ
- ・寒狭川、谷川の水生生物調査
- ・学級園での野菜づくり
- ・アユの放流
- ・地区資源回収活動参加
- ・アルミ缶回収
- ・ワクワクの森自然体験（柚、柿、椎茸、木の実の収穫）
- ・緑のカーテン
- ・川売の梅学習
- ・谷川でのオパール学習
- ・田植えと田おこし（千枚田にて）
- ・ペットボトルキャップ回収
- ・千枚田での米作り、生きもの探し
- ・クリーンフェスタ参加

<黄柳川小学校>

- ・親子作業（地域花壇の整備・ガラスふき）
- ・共育花壇での野菜・花づくり
- ・黄柳川の環境を守ろう（ごみひろい、図鑑づくり）
- ・水生生物調査
- ・米作り
- ・夏休み体験活動（校区オリエンテーリング、黄柳川で遊ぶ）
- ・ビオラ、チューリップの栽培
- ・F B Cへの参加

<東陽小学校>

- ・巢山での米作り
- ・アルミ缶回収、クリーンセンター見学
- ・愛校活動（校地内外の清掃活動）
- ・学習園による野菜作り
- ・落ち葉を使って堆肥づくり
- ・大野町並み探検
- ・望月街道探索（作手小北校舎と共習）
- ・大野頭首工への校外学習
- ・「大野の三名木」探索

<鳳来東小学校>

- ・どんぐりの森づくり（東北へのどんぐり支援、苗木作り）
- ・植樹活動（東栄町の植林地）
- ・アルミ缶回収
- ・水生生物の調査
- ・大豆、さつまいもなど野菜作り
- ・稲作と五平もち作り
- ・ガンビ和紙での卒業証書作り

<作手小学校>

- ・湿地の観察
- ・米、野菜の栽培活動
- ・作手の川の調査（水生生物、ごみ、川の形状など）
- ・サギソウ栽培活動
- ・炭作り体験
- ・通学路クリーン作戦
- ・学校田、畑、果樹園での栽培活動
- ・古宮川の水生生物の調査

<新城中学校>

- ・校内緑化作業（グリーンカーテン）
- ・親子整備作業、地域奉仕作業
- ・学校の環境整美活動
- ・桜の再生活動（秋のさくらまつり参加）
- ・新中バザール恵贈品集め
- ・秋を楽しむ遠足（自然観察）
- ・野菜の栽培

<千郷中学校>

- ・アルミ缶回収による資源リサイクル活動
- ・林業体験
- ・P T Aリサイクルバザーの提供品回収
- ・ちさと文化講座（野鳥観察、新城市のきのこ）

<東郷中学校>

- ・空き缶回収、ペットボトルキャップ回収
- ・山は学校（林業体験）
- ・リサイクルバザー
- ・野菜の栽培

<八名中学校>

- ・気象観測活動
- ・S U Nフラワー運動
- ・アルミ缶回収、ペットボトルキャップ回収
- ・黒田川の水生生物、水質の調査

<鳳来中学校>

- ・アルミ缶、ペットボトルキャップ回収
- ・林業体験学習
- ・地域清掃活動

<作手中学校>

- ・学校林整備作業（地域、保護者への協力要請、間伐材を用いた製作活動）
- ・ペットボトルキャップの回収
- ・作中クリーンアップ作戦（美化活動）
- ・総合的な学習：縦割り学習（環境保護：サギソウ保全活動、環境美化活動）
- ・中高連携（サギソウ栽培、シイタケ栽培、ミズバショウの定植、花壇整備）

### 3 評価と検証

自分たちの住んでいる地域の山や川などに目を向け、水質調査や森林保全などの自然を守る活動に取り組んだり、稲作や野菜作り、果樹園での果物栽培などを行い、自然の恩恵を感じる活動に取り組んだりしている。新城市の「三宝」の1つである自然を身近に感じ、自然に生かされていることを実感できる活動になっている。

今後も継続的な活動として取り組み、環境問題を身近なものにとらえ、生涯にわたって考える姿勢を育てていきたい。

## 4(35) 小学校英語活動研究事業

令和2年度からの新学習指導要領小学校全面実施に伴い、小学校外国語教育に対する教員の意識と英語指導力の向上をめざして、様々な研修を展開する。

### 1 今年度の取り組み

#### (1) 小中連携英語授業研修会の実施

平成29年度と平成30年の2年間で、全小学校において大学教授を招いて、小中連携の授業研修会を計画した。平成30年度は下記の6小学校において授業研修会を行った。

実施小学校	授業研修日	講師	連携中学校
東郷東小学校	12月5日(水)	高橋美由紀 教授	東郷中学校
舟着小学校	2月19日(火)	高橋美由紀 教授	新城中学校
八名小学校	9月7日(金)	高橋美由紀 教授	八名中学校
庭野小学校	1月11日(金)	巽 徹 教授	
鳳来中部小学校	12月12日(水)	巽 徹 教授	鳳来中学校
鳳来寺小学校	2月15日(金)	巽 徹 教授	

授業者については、これまで外国語活動の授業研究を実施していない教員を優先的に選定することとし、教員の英語指導力の向上をめざした。

小中連携の観点から、連携中学校の英語科教員は指導案作成に協力し、研究協議会にも参加することとした。新城市では担任が外国語活動を行うため、英語科以外の教員も授業を参観できるようにし、中学校教員も外国語活動について学べる機会とした。

#### (2) 英語指導力向上研修会

本年度からの移行期において、文科省から新教材、Let's Try! (中学年)とWe Can! (高学年)が配布された。指導書やデジタル教科書も用意されているが、新教材にある活動のやり方やデジタル教科書の活用方法等について、校内研修をなかなか進められていない現状がある。そこで、本年度は新城市の英語専科教員を講師として、夏季休業中に模擬授業形式で研修会を実施した。

研修では、講師が2学期で実践する4年生と5年生の単元での擬授業を行った。チャンツやゲーム等の活動例を示してもらったり、参加者が先生役となり実際に授業を進めたりして、研修を行った。

### 2 評価と検証

小中連携英語授業研修会では、大学教授から専門的な見地で、的確な指導を受けることができ、各校における小学校外国語教育への意識や取り組む意欲を向上させることができた。また、英語指導力向上研修会では、実際の授業を体験することで、授業の進め方や各活動のポイント等の理解を深めた。2学期からの授業で活かすことのできる、学びの多い研修となった。

県下ではスマートフォンをもつ子供が増え、Facebook、LINEなどSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用によるトラブルが発生していたが、スマートフォンをもっていなくても、iPod-touchなどの音楽再生機器やNintendo-DSのようなゲーム機器でも、通信機能があればSNSにアクセスできるような情報機器が発達してきた。そのため、保護者の知らないところでの子供の利用は確実に広がっており、トラブルも発生している。また、本市においてもスマートフォンの保持は低年齢化している。そのような中で、本市では、市小中学校PTA連絡協議会が中心となり「携帯電話・スマートフォン等の利用についてのガイドライン」がまとめてあり、ガイドラインは一定の歯止めの役割を果たしている。

学校では、スマートフォン、携帯電話等の校内への持ち込みを禁止している。また、メールを介した「ネットトラブル」が県下でも多数発生している。本市では学校・家庭が連携してその対策および予防策に取り組んでいる。また、道徳の年間計画の中で「情報モラル」について、位置づけを強化するように指導している。

今後は、SNS利用について、具体的な事例等を用い注意を促し、未然防止のための指導を徹底していく。

### 1 教員に対する研修

校長会議、小中高生徒指導連絡協議会において、県の生徒指導担当指導主事会で提供された情報をもとに、SNS利用に関する注意を促すとともに、教職員もそれらの実情と危険性を理解し、見識および対応についての予備知識を深める必要性を伝えた。

### 2 各学校での取り組み

#### (1) ソフトの利用や講師を招待しての情報モラル教室の開催

市内小中学校では、各校で工夫して、情報モラル教室を開催している。

- ・企業や団体等より講師を招いて、「スマホ教室」を開催した。専門家の立場から、スマホの危険性等についての話をし、生徒の意識向上を図った。（生徒対象）
- ・講師を招いての保護者に向けてのスマホ教室を開催した。いじめの発生する危険があるラインや、子供が見てはいけないサイトの閲覧防止のためのフィルターの設定など、実際にスマホを手に取りながらの研修を行った。（保護者対象）

#### (2) 日常的な生徒指導

- ・全校及び学年集会で生徒への全体指導・保護者へは、保護者会、学級、学年通信で連絡
- ・道徳の読み物教材を利用した授業実践
- ・愛知県の「i-モラル」サイト等を利用しての情報モラルについて考える授業実践
- ・コンピュータ室のパソコンに搭載されているソフト「Netモラル」を活用しての情報モラルについて考える授業実践

### 3 評価と検証

LINEでグループを作り、その中でのやりとりを気にし、夜更かしをする子供がいる。生活リズムや子供の人間関係を乱し、健全な生活をおびやかすLINEについて、今後も「携帯電話・スマートフォン等の利用についてのガイドライン」をもとに、市内一斉に足並みをそろえる必要がある。また、学校での指導、取り組みだけでは限界があるため、家庭と連携しながら過程での約束づくりなど共通理解を図って指導をすることが求められている。

## 1 複式学級がある学校の児童数と実態

学年別児童数（人）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
庭野小	7	9	6	5	4	4	35
鳳来東小	4	1	6	2	5	3	21

ゴシック体は複式授業を実施している（平成31年3月1日現在）

平成27年度末に、鳳来北西部の4小学校が統合され、複式の授業が行われる学校は2校となった。作手小学校は、平成28年度まで校舎体制で、昨年度から1校舎となった。28年度までに行ってきた南北校舎の交流や統一したカリキュラム編成、行事等の合同実施を通じた統合に向けた準備が活かされ、落ち着いた学習環境が実現されている。また、新校舎に併設されている作手交流館を効果的に活用することで、地域とのつながりがいっそう深まっている。

## 2 共同学習活動・学校間交流活動

へき地小規模校で学ぶ子供が、なるべく多くの子供と一緒に共同して学ぶ体験ができるように、鳳来地区、作手地区、それぞれの地区ごとに集まって学習する共同学習活動を年間4回程度実施している。

平成28年度から鳳来北西部の4校が統合し、鳳来寺小学校としてスタートを切った。地域とともにある学校をめざし、統合前の各学校の三宝を生かした特色ある取り組みを鳳来寺小学校の活動として受け継いで実践している。

&lt;活動例&gt;

- ・千枚田活動、梅取り体験等
- ・校外学習
- ・異文化体験学習（名古屋）

## 3 へき地小規模校の特性を生かした教育

少人数のよさを生かしてきめ細かな指導ができる、全員が参加し活躍できる場があるという利点がある。そのために、異年齢活動の活性化、全校でつくる行事、地域の人との交流や支援による地域の探訪や地域の伝統継承の学習の継続を進めた。その結果、自ら進んで活動する、積極的に参加する子供たちの姿が多くみられるようになった。また、上級生の発表や活動を見本にして行動する姿も増えてきたことを感じる。地域の人と密度の濃いかかわりをするすることで、伝える力の向上もみられるようになった。

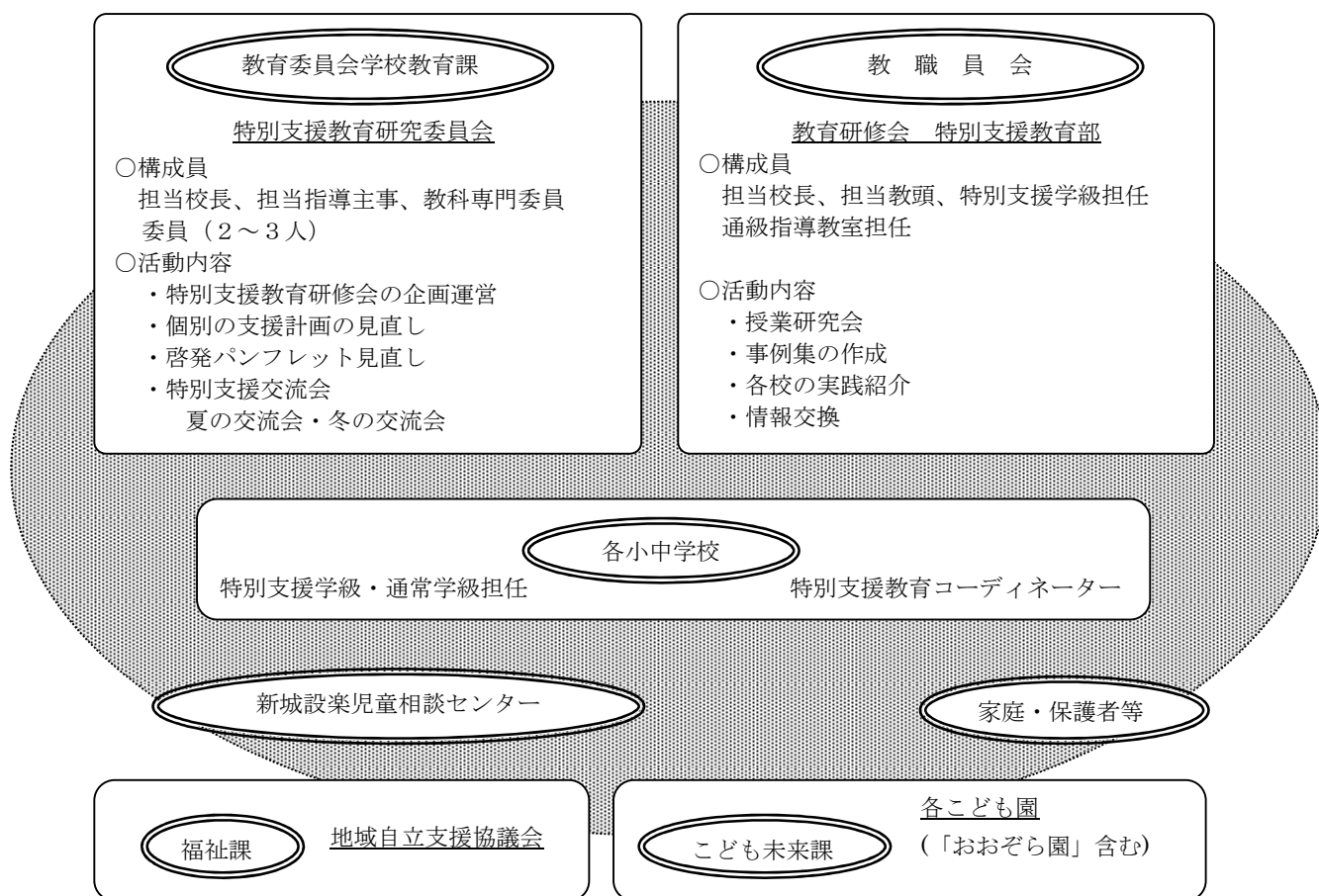
## 4 評価と検証

今年度から作手小学校（1校舎体制）がスタートした。児童数減少に伴い統廃合が進み、複式学級は解消されつつある。その反面、学区が広くなり、通学に時間がかかる子供も出てくる。スクールバスの運用などで対応をしていくが、安全面の確保が課題となる。

地域の方々の高齢化もあり、学校の特色ある活動を支えている地域の諸条件の整備も、今後の課題となってくるものと思われる。



## 1 新城市の特別支援教育の体制



## 2 小中学校での取り組み

## (1) 校内委員会・特別支援教育コーディネーターの設置

全ての小中学校で校内委員会、特別支援コーディネーターを設置し、学級担任だけでなく全校体制で支援にあたっている。

## (2) 個別の教育支援計画・指導計画の作成

子供と保護者の願いをもとに、個々のニーズに応じた指導目標や内容、方法を考え、支援体制を作る。その記録を蓄積して、自立や社会参加に向けたステップにつなげる。

## (3) 専門家による相談活動

スクールカウンセラーや専門機関による相談機会を設けている。専門的な立場から、学校や家庭での支援方法の指導を受けている。

## (4) 指導員による指導、特別支援教育研修会

学校では指導員による特別支援教育の指導を受けることができる。また、年2回の特別支援教育研修会では、専門家からの講義等、実情に合った研修を行っている。

## (5) ハートフルスタッフ派遣事業

新城市では、ハートフルスタッフを派遣し、外国人のための通訳活動や支援の必要な児童生徒等への学校生活や学習の支援を行っている。市で年2回の連絡会を実施し、事例検討会や支援の方法等についての研修を行っている。(小学校11校 全中学校へ配置)

## (6) 市内在住の特別支援学校在籍児童生徒への行事案内

県立特別支援学校と連携し、特別支援学校へ通学する市内在住の児童生徒とその保護者に、文化祭や学習発表会等の案内を配付する準備を進めた。市外の県立特別支援学校へ通っている子供も共に学び共に育つという共育の理念を広げたい。

## 3 特別支援学校による小中学校への地域支援

巡回相談活動 (4校) 発達障害児事例研究会 (4校)

#### 4 特別支援学級設置状況

平成 27 年度から、特別支援学級の設置基準が「1 名からでも設置可能」となり、個に応じた支援をする環境が進んでいる。平成 30 年度は、下記の表のとおり、知的クラスが 18、自閉・情緒クラスが 18、言語クラスが 1、病弱クラス 2 の 39 学級が市内に設置されている。

学校名	障害種	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
新城小	知的			1	1	1	1	4
	自・情①	3	1					4
	自・情②				1	1	3	5
千郷小	知的①	4	2					6
	知的②	2	2	2				6
	知的③		1			1	4	6
	自・情①		1		2		2	5
	自・情②			1		1	2	4
	病弱			1				1
東郷西小	知的				1	1	2	4
	自・情①	1	2		1		1	5
	自・情②	1	2				2	5
東郷東小	知的	3	2					5
	自・情			1		2	1	4
舟着小	知的						1	1
	自・情			1	1			2
八名小	知的		1		1			2
	言語		1					1
庭野小	知的		1					1
	自・情		2					2
鳳来中部小	知的		1	2				3
	自・情		1		2			3
東陽小	知的		1			1		2
	自・情			3		1		4
作手小	知的						1	1
	自・情						1	1
新城小	知的	1						1
	自・情	1	1					2
千郷中	知的	2	2	1				5
	自・情		1					1
	病弱	1						1
東郷中	知的	2		1				3
	自・情		1					1
八名中	知的	1	1					2
	自・情	1						1
鳳来中	知的		1	1				2
	自・情		1	1				2
作手中	知的		1					1
	自・情	1						1

(平成 30 年度特別支援学級設置状況調査より)

※通級指導教室は新城市内で 5 教室開設されている。

千郷小 (ADHD)、東郷東小 (LD)、東郷西小 (ADHD)

鳳来中部小 (LD)、千郷中 (ADHD)

## 5 就学に向けての日程

5月中旬	・就学に向けての説明会 こども未来課との合同開催、主に年長児の保護者を対象に新城市の特別支援教育について、就学までのスケジュールなどを説明し質問も受ける。
7月中までに	・市教委担当指導主事のこども園訪問 園長や担任と面談し、来年就学する子の中で、個別の支援が必要だと思われる子について話を聞く。
7月下旬	・早期教育相談 県立特別支援学校等の相談員と保護者・就学児の面談による就学相談
8・9月	・就学相談（保護者の意向をふまえて） 当該小学校、当該こども園、指導保育士、市教委担当者
10月	・校内教育支援委員会での見解を受け保護者と相談
11月	・新城市教育支援委員会 専門機関（特別支援学校、病院）、当該小学校、当該こども園、保健所、保健センター、市教委担当者
12月	・新城市教育支援委員会での見解を受け保護者と相談
1月	・就学通知を学校へ送付

## 6 特別支援教育の研修

(1) 特別支援教育研修会①小学校の部 8月3日（金）

講師：東郷東こども園長

「こども園での療育と発達に特性のある子への支援」

※小学校特別支援学級担任・通級指導教室担当・特別支援教育コーディネーター  
約50名参加

(2) 特別支援教育研修会②中学校の部 8月21日（火）

講師：

「発達に特性のある生徒の進路指導について」

※中学校特別支援学級担任・通級指導教室担当・特別支援教育コーディネーター  
約20名参加

○その他

(1) 市教育研修会

5月7日（月）、8月2日（木）

市内約70名の教員が集まり、授業の進め方、教材の使い方等について研修した。

(2) 三河教育研修会夏季研修会

8月3日（金）

## 7 特別支援学級の交流会

今年度は、8月に夏の交流会、12月に冬の交流会の合計2回の交流会を実施した。

この会が特別支援学級の児童生徒の交流だけでなく、保護者同士の交流や担当教諭が指導の仕方を学ぶ場となっている。

### (1) 夏の交流会（8月17日 作手B&Gセンター）

ゲームと水遊びを中心にした活動を行った。B&Gセンターに協力をいただき、カヌー体験も行った。小学校高学年児童、中学生には好評だった。児童生徒、保護者、教員など合わせて約180名の参加があり、一昨年度より半日日程にしたことで参加しやすくなったためか、参加人数が増えている。熱中症対策や天候不順による計画変更を行わなくてもよいことから、来年度以降も作手を会場とする予定である。



### (2) 冬の交流会（12月4日 東郷西小学校）

参加校が進行や出し物を分担し、楽器演奏、ダンスなどを発表したり、みんなでゲームや工作を楽しんだ。保護者の参観も多い。

#### <保護者情報交換会>

冬の交流会の午後、保護者情報交換会の機会を設けた。例年、講師に招いての講演を行ってきたが、講師の話聞くばかりではなく、育児の上で困っていることや、家庭での支援などについて、保護者同士が気軽に話せる場がほしいとの保護者の希望を取り入れて行った。「宿題」、「進路」などのグループに分かれて、普段困っていることや学校に期待していることなど、多くの意見が出された。

## 8 評価と検証

こども未来課と連携して、今年度も「就学に向けての説明会」を開催した。小学校入学に不安を持つ保護者に、新都市の特別支援教育の概要や就学までのスケジュールについて知ってもらうことができた。また、通級指導教室とは何か、ハートフルスタッフの支援はどの程度受けられるかなど、具体的な質問にも答えることで、就学先を考える良い機会となった。

また、新都市地域自立支援協議会の定例会、児童部会に指導主事が参加し、情報交換を行った。その成果として、福祉関係機関との連携を図ることができ、放課後デイサービスを利用しているダウン症の児童の学校へ、指導主事と相談員とで訪問し、学校や担任と情報や指導法を共有できた。

今後も他課、他機関との連携を積極的に図っていきたい。

5	生涯学習の状況
---	---------

5(1)	生涯学習の推進
------	---------

### 1 新城市共育推進計画の策定

合併後の新城市は、平成30年度までの10年間を計画期間とした「新城市生涯学習推進計画」を策定し、一体感のある生涯学習活動を推進してきた。

その間、公民館活動を中心とした生涯学習活動が活発に行われ、地域社会に生きがいと心の豊かさを与えてきた。しかし、社会情勢の変動は激しく、価値観の多様化や、地域における生涯学習活動推進者の不足、公民館活動を中心となって推進してきた世代の高齢化などで、活動に陰りが出る状況が現れてきた。こうしたことから、生涯学習の推進のための新たな形が求められるようになってきた。

学校を拠点として、地域がつながる共育活動の推進により、地域の力を高め、元気なまちづくりにつなげていく「共育」が平成23年に新城教育の基本理念として打ち出された。

この理念に基づき生涯学習を推進していくため、第2次新城市生涯学習推進計画にあたる「新城市共育推進計画」を策定した。

#### 『評価と検証』

この新計画は、平成29～30年度に、生涯学習推進懇談会を6回開催し、原案を練り上げ、パブリックコメント手続を経て、作成されたものである。平成31年度から10年間の新城市の生涯学習推進の羅針盤となるもので、教育分野に限らず、広くまちづくりの推進のための基本指針ともなり得るものである。

### 2 まちなか博物館

新城市の街の姿を生涯学習のキャンパスとして見た時、美しい自然のたたずまい、古い歴史を伝える丘や町並み、脈々と受け継がれてきた伝統文化や芸能、いつもの暮らしを支えてきた技術の豊かさに驚かされる。

新城のまちなか博物館は、この街の中で生まれて育てられてきた文化、暮らしの姿をそのままに保存、継承し、新しい光の中で次の時代に引き継いでいこうとするもので、平成7年から始まり、現在13館が指定されている。

「新城まちなか博物館」は、新城の風土の中で生まれた新しいタイプの博物館活動である。

- 【特徴】
- ・ 仕事場や生活の場が、そのままミュージアムになっている。
  - ・ 暮らしの技術を、働いている姿で活かされている形で展示。  
「街」の活動や暮らしの工夫はそのまま博物館であり、生涯学習のキャンパスであるという考え。

- 【展示】 次のような形で、暮らしの技術や知恵を紹介している。
- ・ 仕事の様子や活動の姿で見せる。
  - ・ 施設や道具で見せる。
  - ・ できた作品で見せる。
  - ・ 体験を通して技を見せる。

番号	指 定 館	番号	指 定 館
1	大原商家民具室 新城市字滝ノ上1(新城中学校内) [見学内容] 江戸期から繁盛した大原家(三原屋)に伝わってきた商家の民具	2	中西農村民具室 新城市字滝ノ上1(新城中学校内) [見学内容] 明治以降この地方の農村に伝わってきた民具
	馬場彫金工房 新城市字川田字山田平2-10(有)建造 [見学内容] 鍛金による銅器等の展示品見学		4
5	出沢やままゆ養蚕所 新城市出沢字牛馬屋59 (海野久栄方) [見学内容] やままゆ飼育見学、養蚕体験	6	あいうえん 藍弘苑 新城市字宮ノ前30-1 [見学内容] 本藍による絞り染め
	7		竹細工工房 新城市富岡字半原田64-1 (牧野春男方) [見学内容] 竹細工(虫かご・歴史建造物・SLの製作)
9	イーハートブ吉川(染色工房) 新城市吉川字柿原100(谷口茂春方) [見学内容] 作品・作業見学、草木染め体験	10	竹工房・雅夢 新城市作手高松字大屋貝津9-1 (西村雅子方) [見学内容] 簞作成行程の見学、簡易なもの体験
	11		医王寺民俗資料館 新城市長篠字弥陀の前2,5,6 [見学内容] 農具、家庭用品、鉱物、岩石等の展示
13	くらしの博物館 新城市豊岡字奥平11 [見学内容] 近世以降の庶民の生活道具(照明具、陶磁器、玩具など)	/	

(平成31年3月31日現在)

### 『評価と検証』

平成30年度は、5月に長野県須坂市議会がNo.7の竹細工工房及びNo.8の寒峰窯(陶芸)の視察に訪れ、その技術の高さに驚嘆されました。

しかし、現状はいずれの指定館も来客数は限られているため、この街の中で生まれて育てられてきた文化、暮らしの姿を共育講座との連携などで『まちなか博物館』を市内外へPRする必要があります。



## 5(2) 共育推進

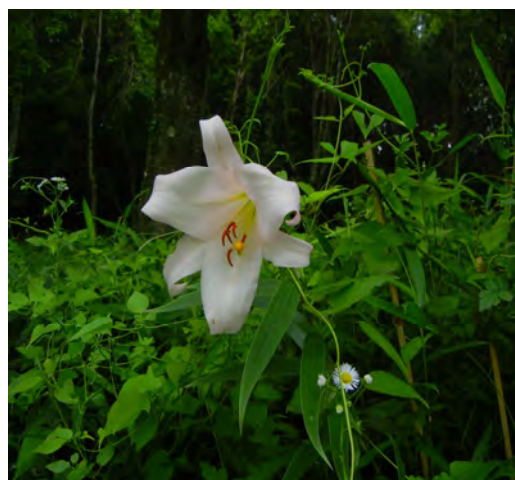
### 1 共育講座

「共育」とは、大人も子供も「共に過ごし、共に学び、共に育つ」ことを目標としている。そのため、『共育講座』では、普段、学校や地域で顔を合わせる事のない参加者同士で共に過ごし、楽しく学ぶ講座となっている。平成30年度は体験型メニューを中心に当市の特徴を生かしたササユリの観察会やカヌー体験など全19回の講座を企画・開催した。

『ものづくり講座』（銅板でデザインプレート作り）では、「無心で打ち続けて、どんどんきれいに出来上がるさまが実感できてよかった。」「子どもと餅つきみたいに共同作業でできて楽しかった。」「親子でふれあいながら製作できた。」などの感想が寄せられた。また、『ケーキ作り体験講座』では、「みんなで協力して楽しくできたので良かったです。」「他学年の子や他校の子とも仲良くできました。」「包丁の使い方をうまくできて良かったです。」など、大人も子供も共に学ぶ喜びを実感する機会となった。



《ケーキ作り体験講座の様子》



《市の花ササユリ》

開催日	教室名	開催場所	参加人数
6月2日（土）	親子自然観察会	青年の家周辺	24名
7月7日（土）	親子ふれあい料理教室	青年の家	19名
7月8日（日）	親子ふれあい料理教室	青年の家	19名
7月28日（土）	ものづくり教室	青年の家	46名
7月28日（土）	夏の星空観望会	作手リフレッシュセンター	中止
7月29日（日）	親子かんたん料理教室	西部公民館	17名
8月5日（日）	親子で楽しむエアロビ教室	西部公民館	10名
8月6日（月）	親子カヌー体験教室	B&G（巴湖）	31名
8月16日（木）	赤ちゃんふれあい体験	新城保健センター	7名
12月1日（土）	ケーキ作り体験	青年の家	8名
12月8日（土）	冬の星空観望会	青年の家	30名
12月16日（日）	親子ミニ門松づくり体験教室	青年の家	22名

12月23日(日)	リコーダーアンサンブル講座	青年の家	8名
1月13日(日)	落語入門講座	青年の家	6名
1月26日(土)	ものづくり教室	青年の家	24名
2月2日(土)	お菓子作り体験	青年の家	10名
2月17日(日)	科学実験講座	青年の家	7名
3月9日(土)	親子パン作り教室	青年の家	16名
3月10日(日)	親子パン作り教室	青年の家	16名

### 『評価と検証』

「親子パン作り教室」・「親子ふれあい料理教室」・「ものづくり教室」などは定員をはるかに上回る応募があり、『ものづくり』に対する関心の高さがうかがわれる。一方、参加者がなかなか集まらない講座もあり、『共育』講座としてのメニュー選定は難しいところもある。

今後は、親子講座を中心としつつも、その講座に一般の市民も関われる体制を整える必要がある。



**5(3)****青少年の健全育成****1 社会を明るくする運動 青少年の非行・被害防止に取り組む運動合同会議**

『社会を明るくする運動』は、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人たちの立ち直りについて、国民が理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする活動です。また、『青少年の非行・被害防止に取り組む運動』は、少年の非行問題やいじめ問題、インターネット利用に係る犯罪被害、性被害など青少年が犯罪に巻き込まれる危険性が増大するなかで、関連機関が連携して青少年の非行防止と被害防止を図ることを目的として実施する運動です。

この2つの運動を同時展開することにより、犯罪を犯した人たちの立ち直りについて地域社会が理解を深めるとともに、青少年の健全な育成を推進するためにそれぞれの立場で果たすべき役割を認識して協力の輪を広げ、市民が幸せに暮らせる安全で安心な新城市の実現を目指し合同会議を実施した。

※主催を教育委員会と福祉部局で隔年交代により実施。

**『評価と検証』**

平成30年度は教育委員会主催で社会を明るくする運動 青少年の非行・被害防止に取り組む運動合同会議を開催し、関連機関を中心に182名の参加により、それぞれの立場で果たすべき役割を認識し、協力の輪を広げ安全で安心な新城市の実現に寄与した。しかし、合同会議にはそれぞれ関連する人の出席のみにとどまり、一般の市民を巻き込んだ活動まで広がりを見ない。そのため、今後は市民を巻き込んだ活動の展開が必要である。

**2 成人式の開催**

新成人が社会人としての責任を自覚し行動するよう、励まし祝う。

日 時：平成31年1月13日（日） 13時30分～

場 所：新城文化会館 大ホール

出席者：新成人、来賓・恩師、家族・一般

対象者：平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた者

日 程：13：30～ 記念行事 スライド上映（中学校卒業アルバムから）

新城高校、新城東高校 吹奏楽部 合同演奏

14：00～ 式典 開式、君が代斉唱、式辞、来賓紹介

二十歳の灯、誓いの言葉、閉式

14：30～ 新成人“夢を語る”

新成人代表者により、司会進行等を運営

**※新成人代表者会**

市内6中学校区から新成人各2名を選出し、成人式の企画や運営に参加。

具体的には、スライド上映用写真、アトラクション、式典後のイベント企画・運営、司会、誓いの言葉、君が代ピアノ演奏など。

《新成人出席状況》

年 度	該当者	出席者	出席率
平成 27 年	554 人	488 人	88.1%
平成 28 年	525 人	457 人	87.0%
平成 29 年	475 人	424 人	89.3%
平成 30 年	517 人	445 人	86.1%
平成 31 年	489 人	416 人	85.1%

注)「該当者」は、住民基本台帳登録者及び外国人登録者、市外転出者で参加申込みした者を示す。



## 5(4) 社会教育団体への活動支援

### 1 P T A 活動

市内の小学校、中学校のP T A活動を推進するため、新城市小中学校P T A連絡協議会を組織し、役員及び理事が3委員会に分かれて活動した。

#### ・第1委員会

共育川柳募集

「共育12」の標語からテーマを選ぶことによって、共育の啓発を図ることを目的に川柳を募集した。



～共育川柳表彰式～

#### ・第2委員会

作って遊ぼう！

共育啓発のため、市子ども会と同時開催でイベントを実施した。スーパーボール作りやビーズ細工などを行い、周りの大人や友達と協力しながら「ものづくり」することを目的に開催した。

#### ・第3委員会

機関誌「つくしんぼう」の発行

1年間の市P連の活動内容をまとめ、機関誌を作成した。特色のある活動をしている学校への取材を行い、活動内容を広報した。

### 2 子ども会活動

身近な地域社会における異年齢の集団による活動は、子どもの心身の成長発達を促し、社会生活の基本を学ぶ機会となる。単位子ども会、市子ども会連絡協議会の活動を助成し、活動の活性化、指導者の養成に努めている。



子どもリーダー研修会



冬季スポーツ大会

・市子ども会連絡協議会事業（市子ども会加入 24 単位子ども会参加）

開催日		事業名	場所	参加状況
6/3	日	子どもリーダー研修会 救命救急研修会	愛知県民の森	子どもリーダー 45人 救命救急 17人
6/24	日	東三子連地域子ども指導者 育成研修会	新城文化会館	91人
8/4	土	夏季スポーツ大会	ふれあいパーク ほうらい	ソフトボール 3チーム ドッジボール 7チーム 水鉄砲 25チーム
11/18	日	子どもチャレンジまつり (市PTA事業同時開催)	新城青年の家	出展子ども会 15コーナ 子ども会員参加者 591人 一般参加者 81人
1/27	日	冬季スポーツ大会	ふれあいパーク ほうらい	キックベース 9チーム グラウンドゴルフ 128人
3/3	日	壁新聞コンクール表彰式	新城文化会館	13単子 32作品提出

### 3 生涯学習活動

市内 76 公民館を拠点に行われる生涯学習活動費への助成を継続実施し、地域の活性化と地域住民の交流を推進している。

新城中学校区（13 地区）千郷中学校区（17 地区）東郷中学校区（17 地区）  
八名中学校区（8 地区）鳳来中学校区（17 地区）作手中学校区（4 地区）

また、各地区の生涯学習推進員同士の意思疎通が図れるよう、年度当初の協議会会議時に「生涯学習推進員地区会」を開催し、情報交換を行った。

さらに、活動の拠点となる公民館の建物については、公共施設のあり方検討会での方針に沿って、現在市名義になっている地区集会施設（公民館等）で、実質的に地区が管理している施設を地区の所有に移管する作業を進めており、平成 30 年度においては 2 館を地区へ譲渡した。

#### 『評価と検証』

従来 of 生涯学習活動の中心を担ってきた各地区における生涯学習活動に対する支援を継続するとともに、新たな活動の形態として、学校を中心とした共育活動の推進を図ることが必要である。

### 1 西部公民館

施設の運営・管理を直営で行っており、地域の生涯学習拠点の一つとして利用されている。

(施設の概要)

- ・所在地 新城市杉山字道目記 24 番地
- ・開館 平成 6 年 2 月 23 日
- ・構造等 鉄筋コンクリート造 701.00 m<sup>2</sup> (生涯学習センターちさと館の一部)  
会議室・閲覧室・調理室・美術室・和室・多目的室

### 2 新城青年の家

施設の運営・管理を直営で行っており、健全な青少年の育成を図るため利用されている。

(施設の概要)

- ・所在地 新城市庭野字岩本 8 番地
- ・開館 昭和 49 年 4 月 1 日
- ・構造等 ○本館 鉄筋コンクリート造 3 階建 1,378.99 m<sup>2</sup>  
調理実習室・和室・研修室・実験実習室・集会室・視聴覚室  
○体育室 鉄筋コンクリート一部鉄骨造一部 2 階建 818.00 m<sup>2</sup>  
体育室

### 3 鳳来中央集会所

施設は地元行政区に一部委託し管理を行っており、地域の生涯学習拠点の一つとして利用されている。

(施設の概要)

- ・所在地 新城市大野字久羅下 39 番地 2
- ・開館 平成 9 年 3 月 14 日
- ・構造等 鉄骨造 2 階建 1,305.34 m<sup>2</sup>  
和室・洋室・アリーナ・調理室

### 4 玖老勢コミュニティプラザ

施設は地元行政区に一部委託し管理を行っており、地域の生涯学習拠点の一つとして利用されている。

(施設の概要)

- ・所在地 新城市玖老勢字藪ノ内 12 番地 3
- ・開館 平成 1 年 5 月 31 日
- ・構造等 鉄骨造 2 階建 892.00 m<sup>2</sup>  
多目的ホール・第 1、第 2、第 3、第 4 会議室・調理室

## 5 海老構造改善センター

施設は地元行政区に一部委託し管理を行っており、地域の生涯学習拠点の一つとして利用されている。

(施設の概要)

- ・所在地 新城市海老字千原田 5 番地 1
- ・開館 平成 6 年 10 月 30 日
- ・構造等 鉄骨造 2 階建 834.63 m<sup>2</sup>  
トレーニングルーム・和室 (2 室)・研修室・情報交換室  
調理室・図書室

## 6 鳳来寺共育施設

施設は地元行政区に一部委託し管理を行っており、地域の生涯学習拠点の一つとして利用されている。

(施設の概要)

- ・所在地 新城市玖老勢字大栗平 5 番地 2
- ・開館 平成 28 年 4 月 11 日
- ・構造等 木造 2 階建 175.54 m<sup>2</sup>  
和室・ホール・学習室 (4 室)



6	スポーツ振興の状況
---	-----------

6(1)	三宝を活用したスポーツ振興
------	---------------



### 1 基本方針

本市には、美しい自然と景観、個性あふれる歴史と文化があり、かけがえのない価値と魅力をもった誇るべき財産がある。また人情味にあふれた人々が集まり地域コミュニティが形成されている。本市はその条件を生かして「いつでも、どこでも、だれでも」を基本に市民が参加できるスポーツ等、多彩な活動が開催されている。

スポーツは、夢や感動そして生きがいを多くの人に与え、また健康の保持増進に役立つとともに共感や連帯感を生み出し、活力ある豊かな生活をおくるために大変重要なものである。

スポーツの振興を図るために不可欠な指導員については、市内に32名のスポーツ推進委員を配置し、各地区の状況に応じたスポーツの普及に努め、スポーツ人口のさらなる増加等に向けて様々な活動を展開している。

## 2 主要事業

### (1) 市民スポーツ振興事業

本市のスポーツ振興に重要な役割を担うスポーツ推進委員の活動や市民が全国大会への出場及び、市を代表して参加する団体などに対する支援、また、将来を担う子供たちに対して各種スポーツ教室を開催。



### (2) スポーツ団体育成・支援事業

体育協会・スポーツ少年団活動に対する補助や県体育協会負担金及び県主催大会への役員・選手派遣を実施。

### (3) スポーツ大会・イベント開催事業

市民がスポーツに接する機会を提供するため、春・夏の市民体育大会やスポレク祭等を開催。

### (4) 新城マラソン大会開催事業

多くの市民が参加できるよう各部門を設け、地域の特性を生かしたアトラクションを行い特色あるマラソン大会を実施。今年度は第43回目の大会を開催。

### (5) スポーツ施設管理事業

有海緑地公園やふれあいパークほうらい等の多くの体育施設の維持・管理・運営を行っている。各施設とも老朽化している施設も多いため、改修計画を立て適切な維持管理に努めている。

### (6) スポーツ振興計画の推進

本市のスポーツ振興の指針となるスポーツ基本計画の各目標に向かって生涯スポーツの構築を図っている。

### (7) 総合体育館調査研究事業

単に新しい体育施設を建設することにとらわれず、既存の施設の有効活用なども重視しながら、市民ニーズにあった体育施設の検討を図り、単なるスポーツ施設としての機能だけでなく防災機能をも兼ね備えた施設として拠点となるスポーツ施設の調査研究を継続。



### 3 評価と検証

市民スポーツの振興については、大会やイベントについて、概ね事業計画どおり開催することができ、また広報やチラシ配布による情報提供により多くの参加が見込まれ、市民の健康増進、体力向上につながることができた。

今年度はスポーツ推進委員の改選があり9人の委員交代があったが、前期からの委員の指導や実技研修等によりスポーツイベントの協力も支障なく実施できた。また、共育の日にはニュースポーツ講座を開催し好評であった。

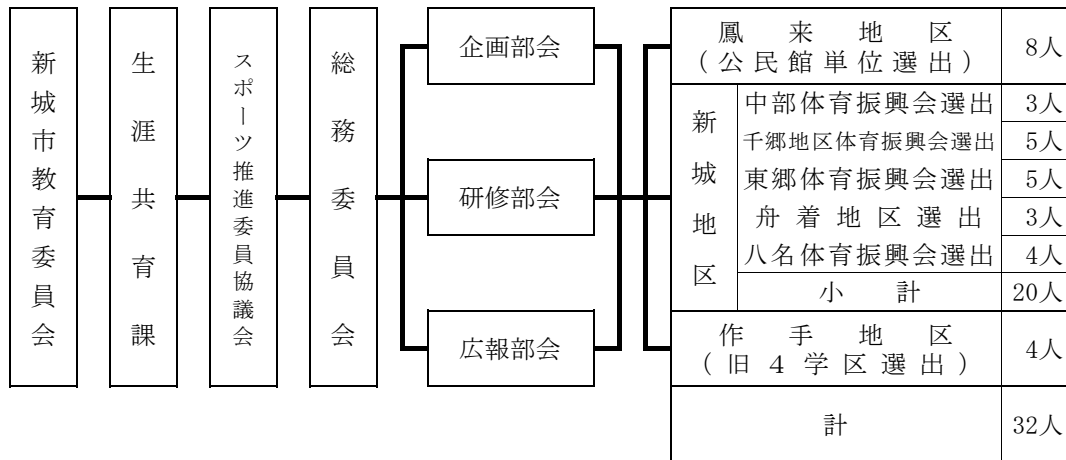
1月開催の新城マラソン大会については、毎年、開会式は競技場中央まで参加者が移動し開催していたが、メインスタンド前にステージを設置したことにより開会式での参加者の移動がなくスムーズに進み、また表彰式では参加者や同伴者が観覧ができ、好評であった。また、市内企業等に共催を依頼し多くの企業が賛同していただいた。コースについては例年と同じコースではあるが時間や参加者の安全等を考慮して再度検討する必要がある。

体育施設については、29年度から継続して鬼久保ふれあい広場内の一部のテニスコート人工芝化をし、フットサル兼用テニスコートに改修を行った。コートが完成したことにより、今後はテニス以外の新規の顧客が見込まれる。また、多くの施設が老朽化しているため計画的に施設の見直しをするとともにスポーツの拠点となる施設の整備を検討する必要がある。

## 6(2) 体育振興の状況

### 1 新城市スポーツ推進委員

#### (1) 組織



#### (2) 活動

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき制度化された非常勤の職員で次の職務を行う。

- ① 市民の求めに応じてスポーツの実技指導を行うこと。
- ② 学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ行事又は事業に関し協力すること。
- ③ 市民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること。
- ④ スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し求めに応じて協力すること。
- ⑤ 市民一般に対し、スポーツについての理解を深めること。
- ⑥ 市民のスポーツ推進のための指導助言を行うこと。

#### (3) 事業

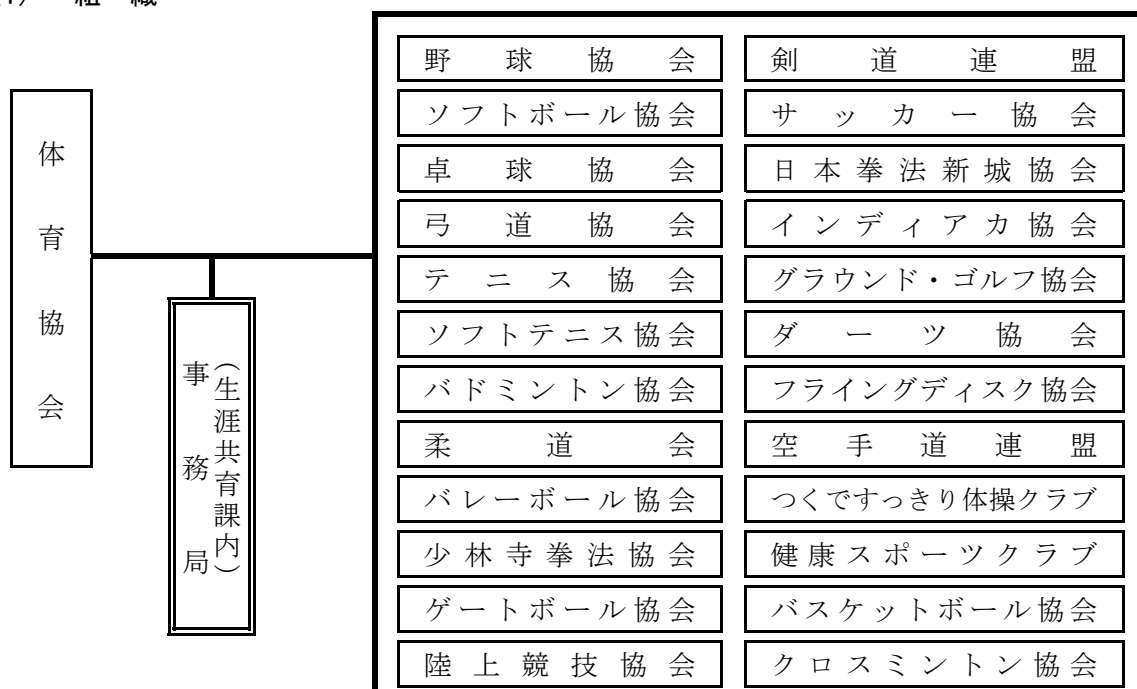
実施日	事業名	施行場所
4月20日	辞令交付式	新城観光ホテル
5月19日	ニュースポーツ実技講習会	鬼久保ふれあい広場
5月26日	つくしんぼうスポレク祭	新城総合公園
6月9日	共育講座(ニュースポーツ教室)	新城小学校
6月16日	スポーツ推進委員愛知大会	日本ガイシスポーツプラザ
7月7日	東三河スポーツ推進委員実技研修会	蒲郡市 体育センター競技場
9月29日	愛知県スポーツ推進委員研修会	新城市 新城文化会館
10月6日	西小チャレンジ教室(ニュースポーツ教室)	東郷西小学校
10月8日	市民歩こう会	鳳来地区
11月15・16日	全国スポーツ推進委員研究協議会	鹿児島県鹿児島市
1月20日	新城マラソン大会	新城総合公園
2月1・2日	東海四県スポーツ推進委員研究大会	豊橋市・蒲郡市
○ 隔月第1月曜日	定例会の開催	新城市開発センター
○ 隔月第3木曜日	総務委員会の開催	新城市開発センター
○ 毎月第2土曜日	「しんしろこどもすぽーつくらぶ」の実施	鳳来中部小学校等

#### (4) 評価と検証

地域で行われる体育活動へ関与するとともに、市・県主催の各種研修会にも積極的に参加し、資質の向上を図っている。また、大会やイベントにおいても協力体制がとれており、スムーズに運営することができた。市の共育の日については共育講座でニュースポーツ教室を開催し、広く周知をすることができた。

## 2 新城市体育協会

### (1) 組織



### (2) 活動

新城市内における体育・スポーツ団体を統括する団体として行政・地域・市民が一体となってスポーツの振興を図っていく。

体育・スポーツの普及・振興を図り、市民の体力向上と健康増進に寄与する。

### (3) 重点事業

#### ① 体育・スポーツの啓発普及活動

市民のスポーツへの参加率を高める上でも効果的な種目や、誰でも、いつでもどこでもできる競技であるニュースポーツの普及に努めている。

#### ② 体育スポーツ団体の育成と連絡調整

各団体個々の活動を中心としながらも、健康、スポーツ、地域づくりに対する意識や、価値観の共有を図っている。

#### ③ 体育・スポーツ大会・教室の開催

「市民体育大会」をはじめとして各種のスポーツ行事が年間を通して実施されている。また、夏休みに協会加盟団体が行なっている「スポーツ教室」は、小・中学生が自分の適正にあった種目を選択するまたとない機会となっている。

#### ④ 体育・スポーツ功労者の表彰

東三河大会以上の大会で活躍した競技者、及び体育振興に寄与した者を本市の体育・スポーツ功労者として表彰している。今年度の表彰者数は14人であった。

### (4) 評価と検証

各競技団体においては、大会・教室等積極的に開催している。

今後は、各団体における競技力向上と方策を円滑に推進・拡大させていくための中心的な役割を果たす組織として、協会内に指導者の確保が必要である。

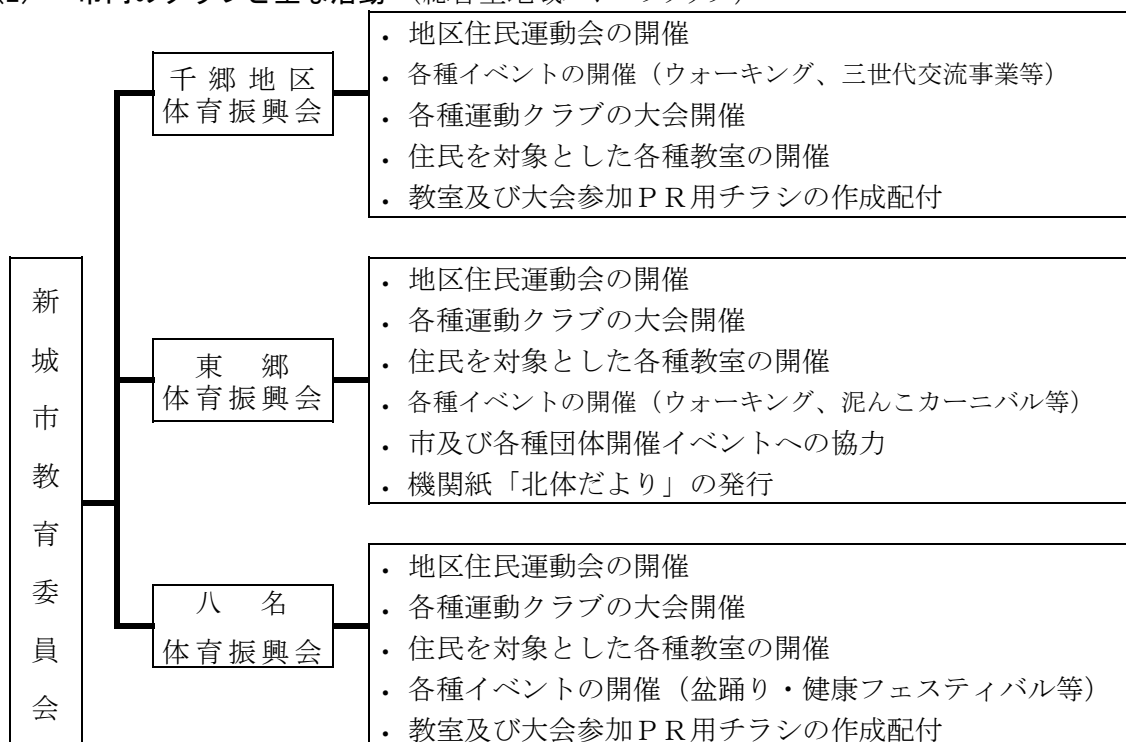
### 3 総合型地域スポーツクラブ

#### (1) 「総合型スポーツクラブ」の意義

総合型スポーツクラブは、住民の主体的な運営により、すべての世代の人々が近隣の学校や公共スポーツ施設等を活用しながら、生涯を通してスポーツに親しめる環境づくりを目指して活動している。

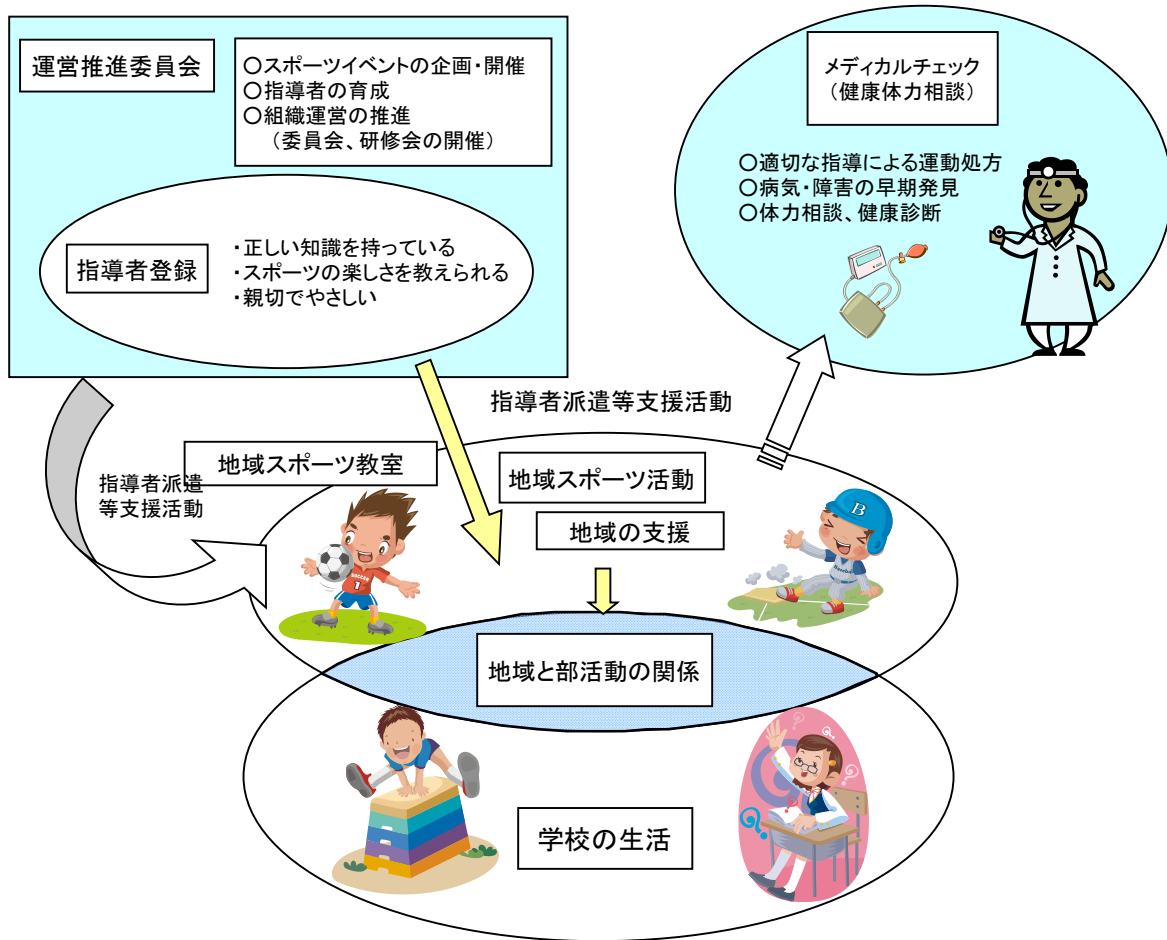
こうしたクラブが身近にあることで、それぞれの興味、関心に合わせてスポーツを楽しむことができるだけでなく、地域住民の交流の場として、青少年の健全育成など一人一人の生活のみならず社会全体の豊かさを目指すものである。

#### (2) 市内のクラブと主な活動（総合型地域スポーツクラブ）



※広く市内より会員を募集する、地区の境目を持たない総合型地域スポーツクラブ

### (3) 総合型地域スポーツクラブの活動



### (4) 評価と検証

総合型地域スポーツクラブは、地域が主体となり運営され健康増進や親睦の向上に貢献している。

今後は、団体の組織強化と内容の充実を図るとともに、鳳来・作手地区での地域スポーツ団体の設立を検討する必要がある。

#### 4 学校体育施設スポーツ開放

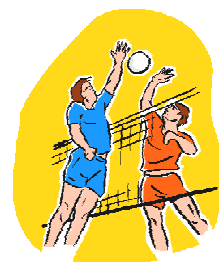
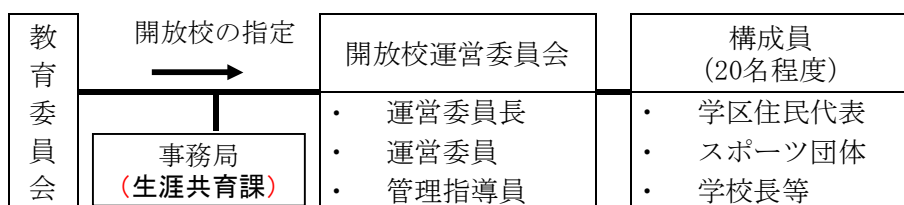
地域住民のスポーツ施設不足を補い、地域コミュニティーづくりの中心として市内小中学校の運動場、体育館を学校教育の支障のない範囲で開放することにより、広く市民にスポーツ活動の実践の機会を与え、市民の健康の保持推進と体力の向上を図っている。

円滑な施設利用を図るため、学区住民代表・スポーツ団体・学校長等により組織した「新城市小中学校体育施設スポーツ開放運営委員会」により、利用上の問題点や利用団体の希望する日時の調整などを行なっている。

##### (1) 学校体育施設利用

スポーツ開放実績（平成30年度）				
開放校	施設名	日数	時間	人数
新城小学校	体育館 運動場	299日	1,065.00時間	11,492人
千郷小学校	体育館 運動場	252日	691.50時間	6,468人
東郷西小学校	体育館 運動場	232日	518.00時間	4,289人
東郷東小学校	体育館 運動場	152日	325.50時間	3,184人
舟着小学校	体育館 運動場	296日	653.00時間	3,259人
八名小学校	体育館 運動場	301日	917.00時間	5,437人
庭野小学校	体育館 運動場	184日	404.00時間	2,484人
鳳来中部小学校	体育館 運動場	262日	589.50時間	3,410人
鳳来寺小学校	体育館 運動場	52日	95.00時間	509人
黄柳川小学校	体育館 運動場	141日	285.00時間	1,069人
東陽小学校	体育館 運動場	208日	486.50時間	3,086人
鳳来東小学校	体育館 運動場	13日	33.00時間	470人
新城中学校	体育館・運動場・武道場・弓道場	497日	1,201.00時間	10,295人
千郷中学校	体育館 運動場 武道場	449日	1,026.75時間	8,373人
東郷中学校	体育館 運動場	409日	912.50時間	5,510人
八名中学校	体育館 運動場	238日	555.00時間	3,562人
鳳来中学校	体育館・運動場・卓球場・武道場・弓道場	341日	781.00時間	5,245人
合計		4,326日	10,539.25時間	78,142人
参考	29年度実績	4,331日	10,665.50時間	82,692人

##### (2) 学校体育施設スポーツ開放運営委員会



##### (3) 評価と検証

学校の体育施設は、地域住民にとって最も身近なスポーツ施設である。一部の施設では、利用者が増加し思うように利用することができない状況となっており、施設を共同利用しているところもある。

## 5 廃校体育施設スポーツ開放

閉校になった学校の体育施設を活用し、体育館並びにグラウンドについて市民の健康増進を図るため、閉校前と同様に地域や地元スポーツ団体等が使用できるように開放し市民の健康及び体力の保持増進を図っている。

### (1) 学校体育施設利用

スポーツ開放実績(平成30年度)				
開放校	施設名	日数	時間	人数
旧鳳来西小学校	体育館 運動場	309日	826.00時間	6,229人
旧海老小学校	体育館 運動場	50日	107.00時間	635人
旧連谷小学校	体育館 運動場	63日	163.00時間	780人
旧巴小学校	体育館 運動場	75日	157.50時間	1,878人
旧開成小学校	体育館 運動場	159日	382.50時間	3,782人
旧協和小学校	運動場	-	-	-
合計		656日	1,636.00時間	13,304人
29年度		400日	828.00時間	4,205人

### (3) 評価と検証

学校の体育施設は、地域住民にとって最も身近なスポーツ施設である。今年度はスポーツ団体や地域団体が多く利用し利用人数が倍以上に増加した。しかし各開放校で比較すると利用状況が少ない開放校もあるため団体等に他の開放校への誘導をするなど広く周知する必要がある。また、閉校となっているため施設の不具合等が発生してもすぐに対応できない、限られた予算での運営であるために修繕、通常管理が困難である。

開放校の立地についても市中心部より離れているため開放校周辺団体以外の利用が少ない。

## 6(3)

## スポーツ団体の状況

## 1 体育協会登録団体

平成31年3月

協会名	会員数(人)	協会名	会員数(人)
野球協会	385	剣道連盟	84
ソフトボール協会	531	サッカー協会	20
卓球協会	60	日本拳法新城協会	7
弓道協会	72	インディアカ協会	43
テニス協会	48	グラウンド・ゴルフ協会	400
ソフトテニス協会	50	ダーツ協会	25
バドミントン協会	100	フライングディスク協会	27
柔道協会	47	空手道連盟	13
バレーボール協会	528	つくですっきり体操クラブ	27
少林寺拳法協会	8	作手健康スポーツクラブ	19
ゲートボール協会	166	バスケットボール協会	25
陸上競技協会	30	クロスミントン協会	20

## 2 活動

体育協会加盟団体は、24団体で、2,735名がそれぞれのクラブへ所属し活動をしている他、夏休み期間中のスポーツ教室の支援やスポーツ大会の開催など積極的に活動している。障害者が加入しているクラブが少なく、また、少年等の登録者数も多いとはいえない状況である。

各協会ともクラブ員相互の親睦と健康の維持増進を図り、併せて生涯スポーツの普及振興を図っている。

## 3 新城市スポーツ少年団

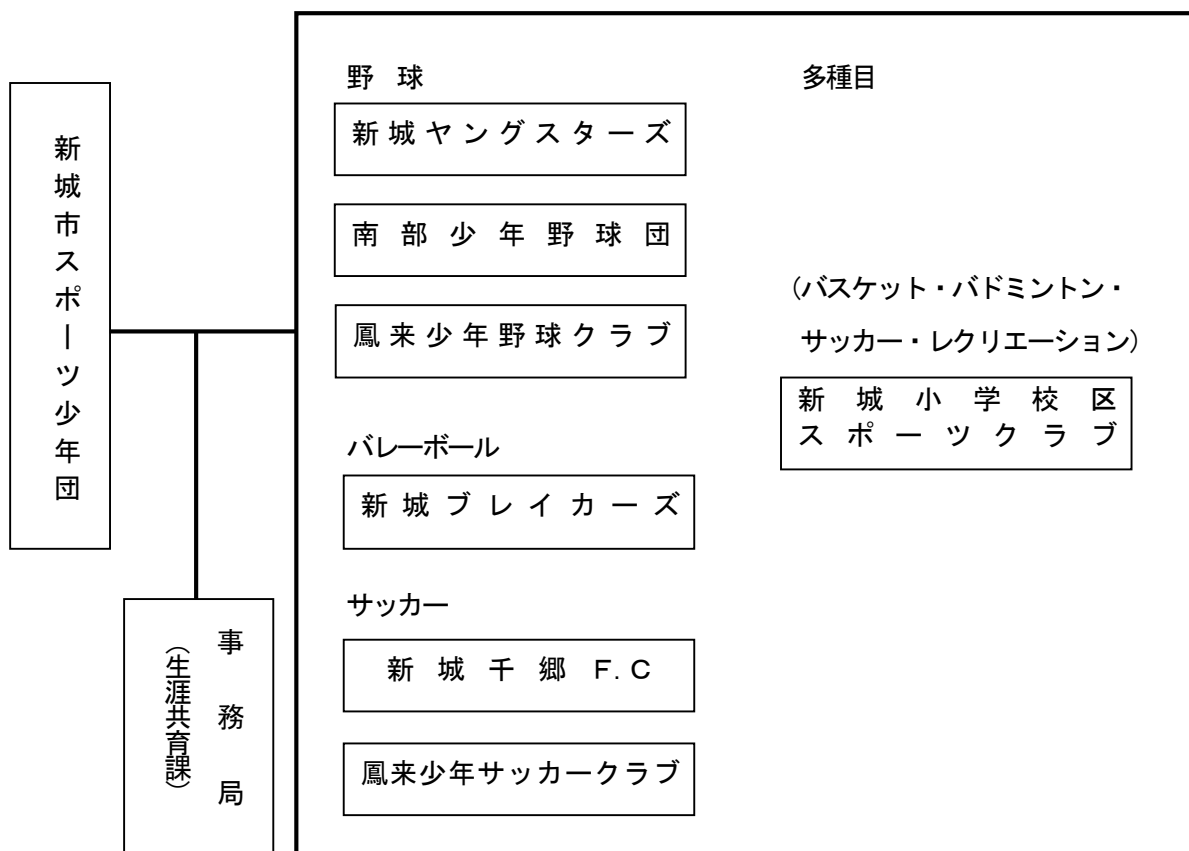
スポーツ少年団は、「スポーツの場を通しての教育」「青少年の心身の健全な育成を図る」という目的を持ち、学校とは異なった仲間の中でのスポーツ活動、奉仕活動などへの参加や多様な体験を通して、良好な人間関係、豊かな感性や社会性を培う場として活動している。

団の運営は、指導者と団員の親が中心となり、練習指導や練習会場の確保、安全管理等を行っている。



## 【スポーツ少年団の状況】

H30年度補助金交付団体（県登録団体）



## 4 評価と検証

それぞれの団体が、各種目のスポーツ大会への参加や団単位でのイベントを自主的に開催し、初期の目的を果たすとともに、スポーツ指導者の養成などスポーツ振興の中心的な役割を担っている。

今後は子どもたちが多様な活動に参加できるようスポーツ少年団の理念を理解する団体を増やすよう支援方法などを検討、実施する必要がある。

6(4)	所管スポーツ行事
------	----------

行事名	開催日(開催場所)	内容	参加人数
春季市民体育大会	3月18日(日) ～ 5月27日(日) (競技による)	軟式野球、弓道、卓球、テニス、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、ソフトバレーボール、柔道、空手道、ダーツ、ディスクゴルフ、バドミントン、剣道、少林寺拳法、インディアカ、バスケットボール、クロスミントン	2,587人
夏季市民体育大会	7月22日(土) ～ 10月8日(日) (競技による)	軟式野球、ソフトボール、卓球、弓道、テニス、ソフトテニス、バドミントン、柔道、バレーボール、ソフトバレーボール、少林寺拳法、ゲートボール、剣道、陸上競技、インディアカ、グラウンド・ゴルフ、ダーツ、ディスクゴルフ、バスケットボール	2,593人
つくしんぼう スポレク祭	5月26日(土) (新城総合公園)	昔の遊び・ニュースポーツ・テニス教室・野球体験コーナー・体力測定・車椅子体験・救命講習・弓道、グラウンド・ゴルフ野球大会	870人
作手地区 スポレク大会	6月3日(日) ～ 6月27日(日) (競技による)	ゴルフ、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、弓道、バドミントン、ソフトバレーボール	357人
市民歩こう会	10月8日(祝) (鳳来地区)	ふれあいパーク鳳来を発着点とし、長篠城址周辺を巡るウォーキング大会。	215人
少年スポーツ教室	夏休み期間中	卓球、ソフトテニス、柔道、バレーボール、ソフトバレーボール、陸上競技、グラウンド・ゴルフ、ダーツ、サッカー、バスケットボール、空手道	381人
水泳教室	7月28日(金) ～ 7月30日(日) (コンスポーツクラブ)	小学生の低中学年(1～3年)で泳げない児童を対象に実施	99人

行事名	開催日(開催場所)	内容	参加人数
少年スポーツ教室 バスケットボール	8月1日(水) 8月6日(月) 8月8日(月)	市内小中学生を対象にプロバスケット選手から指導を受け技術の向上を図る。	204人
しんしろこども すぽーつくらぶ	5月～3月 の第2土曜日	スポーツ推進委員により、外遊びが苦手な子供たちを集め簡単なスポーツや遊びの中から、友達づくりと外遊びの楽しさを体験	入部者 43人
愛知万博メモリアル第12回愛知県市町村対抗 駅伝大会	12月1日(土) (愛・地球博記念公園)	愛・地球博記念公園において、愛知県内全市町村が参加し行われる駅伝大会。	20位 (38市中)
第43回 新城マラソン大会	1月20日(日) (新城総合公園)	ジョギング3km 男子高校生10km 男女一般10km、男女中学生5km 男女高校生5km 男女一般5km、小学生男女2km、中学生男女3km	参加申込 2,692人 当日参加 2,305人
新城市民鳳来地区 ゴルフ大会	3月3日(日) 秋葉ゴルフ倶楽部	旧鳳来町が、ゴルフ場を町民の交流の場とするため、オープンした日を「町民の日」としたことにより毎年開催	参加者 163名



## 1 作手B&G海洋センターと鬼久保ふれあい広場

当施設は、体育館、プール、艇庫、グラウンド、テニスコート、リフレッシュセンターなど、スポーツ活動や文化活動のできる施設が集合した複合的な施設である。中でも、先に挙げた体育館、プール、艇庫の3施設については、その他の施設建設に先駆けて公益財団法人B&G財団（以後「財団」）により昭和58年に建設され、当時の作手村へ適切な管理を条件として無償譲渡されたため、「作手B&G海洋センター」という名称となっている。それ以後、テニスコートやグラウンド、リフレッシュセンターなどが建設され、総称として「鬼久保ふれあい広場」という施設名となったが、財団から譲渡された施設の管理のため、「作手B&G海洋センター」という名称は現在も利用されている。

## 2 B&Gプランとその活用実績

「B&Gプラン」とは財団が推進する「日本の青い海（ブルーシー）と緑の大地（グリーンランド）を拠点とし、青少年を中心に海洋性スポーツ・レクリエーションなどの実践活動を通して体力の向上を図り、また豊かな人間性を養い海について関心を深める」プランである。

財団では、そのプランを核として「施設づくり」「指導者づくり」「組織づくり」「海洋性レクリエーションの普及」などの事業を展開している。

「施設づくり」については前述のとおりプール、体育館、艇庫の各施設の無料譲渡に始まり、その後の修繕や備品の助成を行っている。先に起こった東日本大震災においては、財団が無償譲渡した施設の改修や再建設を行っている。当市においても、昭和58年に建設された施設に経年劣化が見られたため、平成22年度に財団からの助成金を利用してプール上屋鉄骨及び管理棟外装塗装とプールサイドの改修工事を施工し、主に作手地区の小中学生の水泳授業の場として管理運営している。

また、テニスコートが経年劣化等により、利用に支障をきたしていたことから、平成29年度から2か年に渡り、補助金等を活用してテニスコートの改修工事を行い、フットサル兼用テニスコートとして改修し新規利用者を見込んでいく。

「指導者づくり」については、財団の認定する資格の所有者を増やすことだけでなく、その人が様々な事業において指導者となり常に成長していくための研修の開催、指導に役立つ情報の提供を行っている。当市では平成22年度に超・高齢化社会を踏まえた「寝たきり・転倒予防プログラム」を資格所有職員が学び、福祉管轄部署と連携し、新城・鳳来・作手各地区で実践を行っている。

「組織づくり」「海洋性レクリエーションの普及」では、日本全国の海洋センター同士の情報交換や交流を通して、施設の管理方法や海洋性レクリエーションの指導方法等を共有情報として持ち、さらなる研鑽を図っている。他の海洋センターの指導方法などを参考に、当市では海洋性レクリエーションの普及だけに留まらず、ライフジャケットやペットボトル等の身近なものを利用して浮く体験等を通して、尊い命を守るための“自助意識”及び“助け合いの心”を育むことにも重点を置いて実践している。

### 3 鬼久保ふれあい広場の概要と利用実績

#### (1) 作手B & G海洋センター



\* 作手B & G海洋センター (体育館・事務室)

\* 鬼久保ふれあい広場 (全景)

① 所在地 新城市作手白鳥字鬼久保 5 番地 23

② 施工年度 昭和 58 年

③ 施設の内容

ア 体育館：延床面積：1,102 m<sup>2</sup>

アリーナ (バスケットボール 1 面、バレーコート 2 面、バドミントン 3 面)  
シャワー 6 基、会議室：1 室 (20 人)、事務室 (兼施設受付) 駐車場 50 台

イ プール：延床面積：1,787 m<sup>2</sup>

25m6 コース (平均水深：1.1m)、幼児用プール (平均水深：0.5m)  
シャワー 6 基

ウ 艇庫：延床面積：200 m<sup>2</sup>

8.8mセーリング・カッター 2 艇、12 フィートヨット 2 艇

OPヨット 5 艇、ローボート 2 艇、ウインドサーフボード 2 艇

カヤックカヌー (1 人乗り) 31 艇、(2 人乗り) 3 艇

(2) テニスコート

① 所在地 新城市作手白鳥字西畑 9 番地 9、10、11、13、15、16

② 施工年度 昭和 58 年～平成 3 年

④ 施設の内容 延床面積：8574.16 m<sup>2</sup>

砂入り人工芝フットサル兼用コート 6 面 (テニス 6 面、フットサル 4 面)

ゴムチップウレタン系コート 4 面 (夜間照明設備付)

クラブハウス (休憩室、トイレ、更衣室シャワー 4 基)

(3) 山村広場 (グラウンド)

① 所在地 新城市作手白鳥字鬼久保 5 番地 23

② 施工年度 昭和 58 年～昭和 59 年

③ 施設の内容 グラウンド、夜間照明施設、駐車場、緑地、更衣室 (トイレ含む)

延床面積：14,964 m<sup>2</sup>

(4) イベント広場 (上屋根付)

① 所在地 新城市作手白鳥字西畑 21 番地 1

② 施工年度 昭和 63 年

③ 施設の内容 広場 (兼テニスコート<クレ>2 面)、夜間照明施設

トイレ延床面積：1,560 m<sup>2</sup>

(5) リフレッシュセンター

- ① 所在地 新城市作手白鳥字鬼久保5番地34、52
- ② 施工年度 平成元年
- ③ 施設の内容 ホール（グランドピアノ1台、アップライトピアノ1台完備）、サロン（会議室）、テラス延床面積：715.73 m<sup>2</sup>

(6) 芝生広場

- ① 所在地 新城市作手白鳥字鬼久保5番地22
- ② 施工年度 平成5年～平成8年
- ③ 施設の内容 広場（兼グラウンド・ゴルフ常設コース16ホール）  
トイレ 延床面積：547 m<sup>2</sup>

(7) 自然観察小屋

- ① 所在地 新城市作手白鳥字鬼久保5番地22
- ② 施工年度 平成13年
- ③ 施設の内容 観察小屋、（デッキ、観察窓付）、休憩施設（デッキ付）  
延床面積：146.86 m<sup>2</sup>

(8) 湿原の森

- ① 所在地 新城市作手白鳥字鬼久保5番地22
- ② 施工年度 平成元年
- ③ 施設の内容 遊歩道（木道部を含む）  
延面積：8,000 m<sup>2</sup>

・平成30年度各施設利用状況

(単位:人)

月別	B&G 体育館	B&G プール	B&G 艇庫	山村 広場	芝生 広場	テニス コート	イベント 広場	リフレッシュ センター	合計
4月	208	-	-	150	188	157	0	120	823
5月	432	-	-	232	153	349	0	216	1,382
6月	326	414	262	291	257	183	0	236	1,969
7月	540	1,017	264	94	127	320	0	230	2,592
8月	661	830	321	416	216	819	5	252	3,520
9月	260	-	30	0	132	233	0	171	826
10月	347	-	-	270	313	264	20	176	1,390
11月	224	-	-	11,160	175	119	0	248	11,926
12月	302	-	-	50	82	105	0	30	569
1月	147	-	-	0	90	19	0	3	259
2月	215	-	-	0	122	20	0	35	392
3月	186	-	-	100	229	162	0	137	814
合計	3,848	2,261	877	12,763	2,084	2,750	25	1,854	26,462

## 5 評価と検証

施設の日常管理・運営については、各法令等を遵守し、また現場対応も含めて執行できている。しかしながら経年劣化により、簡易な修繕では対応できない箇所を各施設が抱えており、今後の修繕計画を早期に作成し、しかるべき処置をとる必要がある。

また、平成29年度から10面のうち6面のテニスコートを砂入り人工芝フットサル兼用テニスコートに改修。テニスの利用だけではなく、フットサル利用ができることから合宿や大会等を開催し新たな集客を見込んでいる。

財団は、各海洋センターの施設管理や事業執行状況等を様々な角度から評価をしており、この評価が財団からの助成金額に大きく影響している。当市のセンターでは、施設管理や事業執行といった評価は最高評価の「特A」を与えられており、管理運営が適切にできていることを裏付けされている。また、この特A評価は9年間継続しているため、10年連続、15年連続と継続して最高評価を与えられるように今後も適切な管理・運営を執行したい。

財団の評価にも影響を及ぼす、有資格者の配置基準を満たすため、計画的な資格取得が必要である。人事異動など、資格者が不在となるといった事態を防ぐためにも、人事課、財政課への説明も必要である。また、夏季に利用が集中するカヌー教室の指導にあたっては、B&G職員のみでは対応が困難であるため、他部署の資格保有者の応援のほか、職員にもB&Gで行う研修に参加してもらい指導補助も考えている。

施設の利用者数及び利用料収入が全盛期から減少していることについて、早急に利用者増加に関する計画を作成する必要がある。また、計画においては必ず実現性を持たせ、年次計画を作成する必要性を強く感じる。計画の中には、既述の施設の修繕計画の他、新規事業案や市内・外に向けた広報計画、方法が織り込まれる必要がある。



6(6)	生涯共育課所管施設
------	-----------

区分	番	施設名	内容	問合せ先
公 共 的 屋 外 施 設 ポ ー ツ 施 設	1	桜淵いこいの広場	多目的運動広場 テニスコート	生涯共育課 23-7639
	2	有海緑地公園	野球場(夜間照明) 多目的運動広場 テニスコート	
	3	新城小学校校庭照明施設	運動場(夜間照明)	
	4	千郷小学校校庭照明施設	運動場(夜間照明)	
	5	八名中学校校庭照明施設	運動場(夜間照明)	
	6	新城高等学校校庭照明施設	運動場(夜間照明)	
	7	鳳来中部小学校校庭照明施設	運動場(夜間照明)	
	8	東陽小学校校庭照明施設	運動場(夜間照明)	
	9	鳳来東小学校校庭照明施設	運動場(夜間照明)	
	10	ふれあいパークほうらい	多目的広場(夜間照明) 芝生広場 ステージ 舗装広場	
	11	廃校体育施設	旧鳳来西小学校、旧海老小学校、旧連谷小学校、旧巴小学校、旧開成小学校(体育館・グラウンド) 旧協和小学校(グラウンド)	
	12	竹ノ輪運動場	多目的運動場	山吉田ふれあいセンター 34-0004
	13	鬼久保ふれあい広場	グラウンド(夜間照明) テニスコート 芝生広場 イベント広場(屋根付き)	B & G海洋センター 38-1431
	14	B & G海洋センター艇庫	艇庫(カヌー・ヨット・カッター・ダブルスカル)	
屋 内 施 設	1	新城武道場	武道場(畳敷き)	生涯共育課 23-7639
	2	作手B & G海洋センター	アリーナ・プール(屋内)	B & G海洋センター 38-1431
	3	作手武道場・弓道場	剣道・柔道・弓道場	



## 主な施設の利用状況

### 1 照明施設（利用件数）

年度	新城小	千郷小	八名中	有海球場	新城高校	鳳来中部小	東陽小	鳳来東小
H25	55	43	20	13	17	33	43	5
H26	52	35	22	19	8	30	26	3
H27	50	34	13	20	9	28	26	1
H28	47	31	22	8	19	25	23	4
H29	34	32	32	0	15	30	20	23
H30	35	55	19	2	4	27	20	26

### 2 ふれあいパークほうらい

年度	利用日数	グラウンド 利用件数	ナイター利用件数		利用人数	舗装広場	
			利用件数	照明時間		占用日数	利用人数
H25	135	154	33	82	12,673	—	—
H26	121	141	38	90	8,328	—	—
H27	121	110	21	71	9,858	—	—
H28	150	128	18	83	9,085	—	—
H29	119	151	32	106.5	10,551	21	184
H30	170	215	78	154	15,059	56	518

### 3 桜淵いこいの広場

年度	テニスコート 利用人数	運動広場（下段）	
		利用件数	利用人数
H25	2,824	513	126,792
H26	3,112	461	93,665
H27	3,395	439	110,578
H28	3,402	364	146,344
H29	2,865	409	80,800
H30	2,806	519	122,702

### 4 有海緑地公園

年度	野球場		陸上競技場		テニスコート	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
H25	130	10,242	200	9,153	90	2,140
H26	129	9,894	197	12,715	64	1,746
H27	117	7,893	174	8,332	80	2,188
H28	93	4,518	156	6,268	77	1,866
H29	107	2,890	164	6,559	101	2,627
H30	115	8,505	134	10,009	69	2,115

<b>7</b>	<b>文化事業の推進</b>
----------	----------------

<b>7(1)</b>	<b>文化振興事業</b>
-------------	---------------

1 市民文化の振興

文化事業では、「新城歌舞伎」や「新城薪能」が公演され、市民が伝統文化の担い手として活躍をした。伝統行事のみならず、「0才からのジャズコンサート」「ブレーメンの音楽隊」「音楽の絵本 W-Quintet」といった、子供向けの芸術鑑賞会も開催し、若い世代の文化意識の向上を図った。また、「新城音楽祭」は、幅広い世代の市民が参加し、盛り上がりを見せた。中でも注目を集めた事業が「中部航空音楽隊特別コンサート」で、来場者数は1,156名と大ホールがほぼ満席となった。各種文化事業を通して、様々な世代の市民が文化に触れる機会を図ることができた。



第41回新城歌舞伎の様子



つくでの森の音楽祭2018の様子

2 新城市の文化事業

- ① 0才からのジャズコンサート：5月12日(土)文化会館小ホール  
New Yorkで活躍するピアニストによる赤ちゃんから大人まで楽しめる本格ジャズ。子どもたちが体でリズムをとりながらコンサートを楽しむ様子が見られた。
- ② 「第40回作手古城まつり」：5月13日(日)亀山城址・つくで手作り村周辺  
1424年ごろ、奥平氏が作手地区に亀山城を築城。この地で戦った戦国の人々への鎮魂と地域振興を図るため、「作手古城まつり」として、つくで交流館(雨天のため)において実施。新城市観光協会の協力を得て、しんしろ戦国絵巻三部作の一つとして開催。  
地元小中学校、地域住民などの参画によるさまざまなイベントのほか、小学生による奥平氏を題材にした野外劇「亀山城ものがたり」は好評を得た。
- ③ 中部航空音楽隊 特別コンサート：7月1日(日)文化会館大ホール  
来場者1156名と大盛況であった。新城市出身の隊員も出演しており、地元の隊員の活躍に感動したとの意見をいただく。市内中・高吹奏楽部との共演もあり、とても盛り上がった。
- ④ 第29回新城薪能：8月18日(土)文化会館小ホール  
町衆に伝わる能狂言を薪能として演舞。初の小ホールでの開催であり、お客様か

らは「見やすい」という意見をいただく。来場者の58%が市外の方であり、新城の伝統芸能への関心の高さを感じる。

- ⑤ 第43回新城音楽祭：11月11日(日)文化会館大ホール他  
市内の音楽団体等が参加し、多くの市民が音楽を楽しむことができる音楽祭となった。中高生吹奏楽団など多くの若者の参加で活力あるステージとなり、来場者は1,150名と盛り上がりを見せた。
- ⑥ 第31回新城歌舞伎：11月18日(日)文化会館大ホール  
市内18福祉施設入居者ご招待を実施し、7施設58名の方にご来場いただく。子供歌舞伎への関心は高く、お客様からも大変満足のお声をいただく。
- ⑦ ほんわかシアター ブレーメンの音楽隊：12月22日(土)文化会館展示室  
午前と午後の2回公演。作曲家シモシュを含む4人のほんわか音楽隊が生演奏を披露。チケットは完売し好評で、前半は参加者全員で歌を歌い、後半は人形劇を上演し、大変満足していただく。
- ⑧ 新城寄席 桂吉弥：2月11日(月・祝)文化会館小ホール  
桂吉弥、桂しん吉、桂弥っこ3席の上演で、大変喜んでいただけた。市民先行販売を実施したこともあり、約75%は市民先行対象者であった。
- ⑨ 音楽の絵本 W-Quintet：2月24日(日)文化会館大ホール  
動物たちが織りなすクラシックコンサート。小学生の来場も多く、子供でも楽しむことのできるクラシックコンサートであった。終演後には、出演者とのふれあいもあり、多くの人々が記念写真を撮ったり、ふれあいを楽しんでいた。
- ⑩ つくでの森の音楽祭(新城市リフレッシュセンター)
- ・風のコンサート：6月9日(土)  
来場者数：48名  
～ヴァイオリンの名手による珠玉のクラシック～  
藤井晴雄ヴァイオリンリサイタル  
出演：藤井晴雄(ヴァイオリン)、石田美加(ピアノ)
  - ・サギ草コンサート：7月22日(日)  
来場者数：89名  
鈴木直樹スペシャルライブ  
新城ジャズでおなじみの鈴木直樹氏とビブラフォン奏者の宅間善之氏によるジャズ演奏。  
出演：鈴木直樹(クラリネット・サクソ)、宅間善之(ビブラフォン・パーカッション)
  - ・秋色・あきいろのコンサート：11月18日(日)  
※9月30日(日)のお月見コンサートが台風の影響により延期  
来場者数：96名  
～水晶の歌声とヴァンドゥーラの可憐な響き～  
ウクライナの歌姫ナターシャ・グジーコンサート  
出演：ナターシャ・グジー(歌・ヴァンドゥーラ)

### 『評価と検証』

幼児でも参加できるコンサートや人形劇を上演することで、子どもの頃から文化に触れる機会が生まれた。

新城薪能や新城歌舞伎といった伝統芸能の上演においては、市外からの来場者が多く、新城の伝統文化への関心の高さを感じた。一方、市民の参加が少なく、後継者の育成とあわせ市民の集客に課題を残した。

また、「作手古城まつり」については、雨天のため急遽会場を変更して実施したが、市民を中心に多数の来場者が訪れた。今後は年々増加する来場者への対応を考慮し、予算面を含め運営方法の見直しが必要である。

## 3 市民文化講座開設事業

### ① 新城市民文化講座

テーマ「人生 100 年 学び 100 年」

市民文化講座は、平成 30 年度で 43 回目の開催にあたり、著名な講師と新城市出身のふるさと講師 2 組を迎えた。

事業の実施については、市内有識者等による「新城市民文化講座運営委員会」での幅広い意見のもと企画・運営を行った。

#### 平成 30 年度市民文化講座（2 回開催）

開催日	講師	演題	入場者数
9月1日(土)	林修氏	モチベーションアップの方法	1,256人
9月16日(日)	植村秀樹氏	平成の終わり、「戦後」の終わり	234人
計			1,490人

聴講料：両日通し 指定席 S ¥2,500 9月1日分 自由席 A ¥1,500  
9月1日分 小中高生 ¥1,000 9月16日分 自由席 ¥500

### 『評価と検証』

2 講座により開催。1 回目は「子どもの健やかな成長を願う会」との共催で、大ホールにて開催した。

本年度は、「人生 100 年 学び 100 年」をテーマに、地元講師をはじめ今話題の講師を迎えた。林修氏は、来場者から前向きになれる話だという意見をいただき、地元講師は平成の節目の年に貴重なお話をいただいた。

今後も、社会情勢を見据えた講師選定や周知方法の検討を行っていく。

## 4 文化団体支援事業

### ① 文化団体の活動支援

各分野の文化組織の集合体である新城市文化協会に対し、その活動を支援。

補助金額 予算額 2,155,000 円

新城市文化協会組織（平成 30 年度）

会員 819 人 賛助会員 個人=155 人（159 口） 法人=62 法人（75 口）

## 平成 30 年度 新城市文化協会加入団体 (24 団体)

単位：人

団 体 名	会員数	団 体 名	会員数	団 体 名	会員数
美術協会	50	民謡クラブ	13	俳 句 会	25
書道クラブ	50	舞踊研究会	19	短 歌 会	22
水墨画協会	23	カラオケ歌謡連盟	21	茶華友の会	80
写真クラブ	48	ダンス愛好会	100	きもの研究会	15
吟剣詩舞同好会	40	しの笛の会	9	盆栽双葉会	18
おことの会	19	太鼓同好会	11	菊友会	13
長唄愛好会	9	吹奏楽団	25		
大正琴の会	86	能楽協会	29		
民踊研究会	69	しんしろ文化財に 親しむ会	25	合 計	819

## 『評価と検証』

さまざまな文化団体が加盟する市文化協会への事業費補助を実施。

各文化団体への加入者数の減少がみられるため、市文化事業等を通じ加盟団体の活性化を図る必要がある。

7(2)	地域文化広場の運営管理
------	-------------

1 地域文化広場の活性化

平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間で指定管理期間として、管理運営を民間事業者へ委任した。利用者数や利用率のさらなる向上に向けて、大ホールでの興行など指定管理者による様々な自主事業が展開された。

全国的に事業展開している民間企業の経営ノウハウを取り入れた管理運営を長期的に行うことにより、引続き経費の削減を図るとともに、より活発な文化活動が行われるよう「地域文化広場文化事業運営委員会」・「新城地域文化広場指定管理運営協議会」を適宜開催し、指定管理者との連携・協力のうえ施設の利用促進に努めていく。

2 地域文化広場管理事業

① 地域文化広場の指定管理

指定管理者：(株)ケイミックスパブリックビジネス

指定期間：平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間

『評価と検証』

運営については、民間の視点を取り入れた集客力の強いイベントを開催しており、合わせて地域に根付いた『新城歌舞伎』や『新城薪能』を地域密着で開催し、伝統芸能の継承や地域の文化振興の一助となっている。

管理については、利用者の安全、利便性を向上するため毎年改修工事を行ってきた。本年は図書館前樹木伐採抜根・インターロッキング補修工事、吊物バトン滑車・リミットスイッチ取替工事を実施した。文化会館は建設後 30 年を経過していることもあり、各所に老朽化がみられるようになった。今後は利用者の利便性・安全の確保はもとより、施設の延命化のためにも計画的な改修計画を立案する必要がある。

## 7(3)

## 文化会館の状況

## 1 文化会館の活用

文化会館は、会議、講演会、コンサートなどの活動拠点として市民に親しまれている。

平成 25 年度より、民間事業者による指定管理が開始され、市が主催する事業に加え指定管理者が民間の視点を取り入れ、主催する事業が実施されるなど、文化会館の利用促進に貢献している。

平成 28 年度からは、新しい民間の指定管理者による管理運営が開始され、本年度は 3 年目である。今後、更に優れた文化公演の実施や文化団体及びグループ等に活動の場を提供するとともに、文化事業に対する理解と文化活動への参加意欲を高めることや、市民文化の向上に努めることを目標に事業を展開したい。

## 2 施設概要（昭和 62 年 3 月完成）

- (1) 所在地 〒441-1381 新城市宇下川 1 番地 1 電話 0536-23-2122

文化会館：鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階

文化ホール（大ホール・小ホール・リハーサル室・楽屋等 10 室）

ふれあい会館（会議室 8 室、講習室 2 室、和室 2 室、展示室 1 室）

ふるさと情報館：鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 1 階

図書館、郷土資料室

はなのき広場

自由広場、はなのき広場

- (2) 休館日 毎週月曜日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

（月曜日が休日に当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日）

※図書館、郷土資料室については、年末年始・毎月最終日休館

- (3) 開場時間 午前 8 時 30 分から午後 10 時 00 分まで

- (4) 利用状況（平成 30 年度）

単位：人

区分(施設名)	利用回数	利用者数	区分(施設名)	利用回数	利用者数
大ホール	172	29,657	302 講習室	211	2,799
小ホール	175	22,530	303 会議室	90	1,159
リハーサル室	416	9,214	304 会議室	165	3,187
大会議室	92	4,000	展示室	235	10,963
101 会議室	355	3,624	和室（松の間）	131	2,288
102 会議室	230	2,166	和室（桜の間）	89	
103 会議室	484	5,528	楽屋（10 室分）	715	3,752
104 会議室	235	5,045	ラウンジ・ホワイエ	43	2,147
105 会議室	336	3,721	はなのき広場	42	3,627
301 講習室	202	7,556	合計	4,418	122,963

## 3 文化会館の維持・管理

- (1) 指定管理者の指定

新城地域文化広場（文化会館・ふるさと情報館・はなのき広場）の管理運営を（株）ケイミックスパブリックビジネスに指定管理委託し、維持管理を行っている。

指定管理期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

- (2) 新城地域文化広場改修・修繕

新城地域文化広場は、昭和 62 年に竣工し、既に 30 年を経過しているため、老朽化

に伴う施設・設備の修繕・更新を緊急工事として順次施行している。

平成 30 年度は、図書館前の樹木の根が盛り上がり転倒の危険性があることから、利用者の安全面を考慮し、樹木伐採抜根インターロッキング補修工事を行った。また、舞台装置の安全確保のため吊物バトン滑車・リミットスイッチ取替工事を実施した。今後も利用者の安全、利便性を考え、計画的に修繕・改修を実施する。

過去 11 年間の改修状況（市施行分）

年度	修繕・改修工事名	修繕改修箇所	工事費 (単位：円)
20	地域文化広場図書館等改修工事	図書館棟等	33,208,350
	エレベーター修繕	文化会館棟	819,000
		図書館棟	2,887,500
	スプリンクラー修繕	大ホール	2,908,500
非常用発電機修繕	文化会館棟	1,050,000	
21	文化会館棟改修工事	外壁補修等	52,051,650
	地域文化広場非常灯バッテリー交換工事	文化会館、ふるさと情報館非常灯バッテリー交換	3,076,500
	地域文化広場直流電源装置取替工事	サイクリスタ式整流器、触媒栓式ペースト式鉛据置電池交換等	6,363,000
	地域文化広場空調設備修繕工事	空調機器更新、空調機器等改修	20,685,000
	文化会館大・小ホール三点吊マイク装置ケーブル取替工事	大小ホールマイクケーブル・吊ワイヤー取替	564,900
	文化会館棟舞台照明設備改修工事	調光ユニット基盤(10枚)モーガル(32個)取替	1,543,500
	文化ホール音響設備等購入	有線マイク、カセット等更新	765,030
22	文化会館大・小ホール音響設備改修工事	大・小ホール音響設備一式	92,088,150
	文化会館大・小ホール照明設備改修工事	大・小ホール照明設備一式	218,132,250
	文化会館大・小ホール雑幕装置交換工事	大・小ホール雑幕装置一式	21,997,500
	文化会館リハーサル室空調機取替工事	空調機取替	1,050,000
	文化会館等屋上防水改修工事	文化会館・図書館屋上防水	5,775,000
23	受変電設備改修工事	文化会館内の受変電設備の更新工事一式	38,850,000
	新城地域文化広場消火栓配管改修工事	漏水対応のための緊急修繕工事一式	1,909,950



24	新城地域文化広場ふるさと情報館空調設備改良工事	ふるさと情報館空調設備更新工事一式	38,689,350
	新城地域文化広場ふるさと情報館空調設備改良電気工事	ふるさと情報館空調設備更新に伴う電気工事一式	5,775,000
	新城地域文化広場浄化槽解体及び舗装工事	浄化槽解体及び舗装工事一式	3,517,500
25	新城地域文化広場文化会館空調設備改修工事	文化会館空調設備更新工事一式	173,535,600
	新城地域文化広場文化会館空調設備改修電気工事	文化会館空調設備更新に伴う電気工事一式	11,025,000
26	地域文化広場時計塔改修工事	時計塔上部の防錆処理塗装（劣化確認含む）一式	3,056,400
27	ふるさと情報館電力メーター取付工事	メーター取付工事一式	831,600
	文化会館冷却塔囲い塗装修繕工事	大ホール北側冷却塔塗裝修繕工事一式	1,080,000
28	文化会館水道水用自動滅菌装置取付工事	水道用自動滅菌装置の取付工事一式	4,060,800
29	文化会館大ホール機材搬入口尻防水補修工事	文化会館大ホール機材搬入口	1,047,600
	文化会館大ホール女子トイレ改修工事	文化会館1階大ホール女子トイレ	3,499,200
	文化会館消火設備改修工事	ハロン消火設備4本 起動容器	2,049,840
30	樹木伐採抜根・インターロッキング補修工事	図書館前樹木	537,570
	吊物バトン滑車・リミットスイッチ取替工事	吊物バトン滑車・リミットスイッチ取替工事	15,354,360

#### 4 評価と検証

年間を通じ様々な文化的イベントを開催し、市の文化振興に寄与しているが、各種イベントにおいては、少子化・高齢化の影響もあり集客に苦慮する場面もある。

また、施設も開館後30年を経過し、各所に老朽化がみられるようになった。

今後は、より魅力的な文化事業を展開し、集客に努めるとともに、利用者の利便性・安全の確保を図り、施設の長寿命化のため計画的な修繕が必要である。



新城地域文化広場



大ホール

## 7(4) 新城図書館

新城図書館は、奥三河地方の文化の拠点として昭和62年5月8日にオープンし、当地域の情報収集、提供の場として重要な使命を果たしてきた。

平成29年度には若者議会提案による、トイレ洋式化改修、ドリームサロンへの授乳コーナーの設置、デジタルサイネージ、エントランスへの展示ボックスの設置等のリノベーションを実施した。多様化する図書館の役割を認識し、生涯学習の拠点施設として、蔵書の充実と効果的な情報発信を行い市民の知的オアシスとなるよう努めます。



### 1 図書館のあゆみ

- |             |   |
|-------------|---|
| 昭和56年10月26日 | 本町の(旧)郵便局舎を改修し、新城中央公民館図書資料室を開館                        |
| 昭和60年11月6日  | 図書館(ふるさと情報館)着工  |
| 昭和61年12月28日 | 新城中央公民館図書資料室を閉館                                       |
| 昭和62年5月8日   | 新城地域文化広場、図書館(ふるさと情報館)開館<br>図書館システムを設置                 |
| 平成5年10月1日   | 開架閲覧室に利用者開放端末を1台設置                                    |
| 平成6年3月20日   | 愛知県図書館と資料検索予約システムをオンライン接続供用開始                         |
| 平成7年4月1日    | 施設管理を新城総合サービスセンターに委託                                  |
| 平成8年11月     | 「アリスのうさぎ」による読み聞かせ事業開始                                 |
| 平成10年11月1日  | 図書管理システムを更新   |
| 平成14年3月2日   | 情報ネット体験コーナーを設置  |
| 12月         | ブックスタートコーナーを開設  |
| 平成17年10月1日  | 図書館ホームページを開設<br>貸出冊数1人4冊から5冊に変更<br>YA(ヤングアダルト)コーナーを開設 |
| 平成18年4月1日   | 新城総合サービスセンターを指定管理者に指定                                 |
| 平成18年11月16日 | ブックポスト(図書返却ポスト)を鳳来総合支所、作手B&G海洋センターに設置                 |
| 平成20年4月1日   | 月曜日の開館開始  |
| 平成21年4月1日   | 貸出冊数1人5冊から8冊に変更<br>作手B&G海洋センターのブックポストを作手総合支所へ移動       |
| 平成21年5月1日   | 鳳来・作手総合支所で貸出券交付申請受付開始                                 |
| 平成22年1月4日   | ファックス貸出開始   |
| 平成22年8月22日  | 第1回図書館まつり「新城図書館まつり2010」開催                             |
| 平成24年8月1日   | ビッグブック、大型紙芝居、舞台を鳳来・作手総合支所へ届けるFAX貸出サービスを開始             |
| 平成24年10月1日  | 図書館システム更新(クラウド化及びリライトカードの導入)                          |

平成 25 年 4 月 1 日	図書館運営業務を市の直営へ変更
平成 26 年 1 月 4 日	図書館ブックポストへの返却を閉館時のみに変更
平成 26 年 4 月	自主事業「折り紙教室」を開始
平成 27 年 1 月	公衆無線 LAN (フリースポット) 設置
平成 27 年 8 月	戦後 70 年平和祈念教科書展開催
平成 27 年 11 月 2 日	若者議会が「ふるさと情報館リノベーション事業」を市長へ答申
平成 28 年 1 月 4 日	本の福袋を実施
平成 28 年 3 月 28 日	ボランティアによるドリームサロンの飾付イベントを開催
平成 28 年 9 月 15 日	若者議会による「ふるさと情報館リノベーション事業」着工
平成 28 年 10 月 9 日	自主事業「パステルアート教室」開始
平成 28 年 10 月 27 日	若者議会による「ふるさと情報館リノベーション事業」完了 2階エリアについて 20 時まで使用可能
平成 29 年 9 月	若者議会による「ふるさと情報館リノベーション事業」着工 (エントランス、1階開架エリア、ドリームサロン、1・2階トイレ 改修、什器購入等)
平成 29 年 9 月・10 月	ナイトライブラリー開催
平成 29 年 9 月～11 月	新城図書館開館 30 周年記念事業開催
平成 29 年 10 月 1 日	図書館システム更新 (機器更新、つくで交流館図書室との連携、インターネット回線を ADSL から光回線へ切替)
平成 30 年 3 月	若者議会による「ふるさと情報館リノベーション事業」完了
平成 30 年 6 月	「Smile いんぐりっしゅ」による英語絵本読み聞かせ会 開始

## 2 施設概要

構造	鉄筋コンクリート地下 1 階、地上 2 階
建築面積	1,081.65 m <sup>2</sup>
館内施設	地下：閉架書庫 1 階：開架閲覧室、利用者開放端末、YA コーナー、リサイクル コーナー、軽読書コーナー、ドリームサロン (ブックスタ ートコーナー・乳幼児向け、授乳室)、情報コーナー、カウ ンター、事務室 2 階：郷土図書室、郷土資料室 (多目的スペース)

## 3 利用案内

開館時間	午前 9 時から午後 8 時まで
休館日	12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで 館内整理日 (毎月月末) 毎月第 3 月曜日 特別整理期間 (毎年 1 回 10 日以内)
貸出資料	本、雑誌、紙芝居
貸出点数	1 人 8 点まで
貸出期間	15 日間 ※1. CD、ビデオは館内利用のみ 2. 夜間・休館日の返却はブックポストへ
予約・リクエスト	貸出中の図書の予約が可能 未所蔵の図書のリクエストが可能 (予算の範囲内) 愛知県図書館及び県内市町村図書館、三重県・岐阜県・富山県・

石川県・福井県の県図書館及び県内市町村図書館、大学図書館（名古屋大学附属図書館、名古屋市立大学）の所蔵資料の借受が可能複写サービス館内の図書資料に限り、著作権法の範囲内で対応

#### 4 蔵書状況

##### (1) 登録資料内訳

単位：冊

	受入		除籍	30年度末蔵書数	構成比
	購入	寄贈等			
一般書	3,336	340	2,232	98,154	58.2%
児童書	1,655	46	1,435	44,379	26.3%
雑誌・その他	875	179	898	26,117	15.5%
計	5,866	565	4,565	168,650	100%

##### (2) 図書購入費

年間予算 平成28年度 874万円、平成29年度 874万円  
平成30年度 846万円

#### 5 利用状況

##### (1) 登録者数及び貸出冊数

単位：人、冊

	登録者数			貸出冊数		
	市内	市外	計	年間	月平均	日平均
平成28年度	15,316	1,310	16,626	158,166	13,181	485
平成29年度	9,675	785	10,460	155,430	12,953	483
平成30年度	10,330	900	11,230	158,547	13,212	488

##### (2) 利用人員

単位：人

	貸出人数			入場者数			新規登録者数
	年間	月平均	日平均	年間	月平均	日平均	
平成28年度	42,546	3,546	131	123,880	10,323	380	676
平成29年度	41,774	3,481	130	122,127	10,177	379	706
平成30年度	43,060	3,588	132	117,301	9,775	361	767

#### 6 図書館行事

##### (1) 「新城図書館まつり2018」開催

期日 平成30年8月18日（土）～平成30年8月19日（日）

開催行事及び参加者数

単位：人

	行事名	参加者数
8月18日 (土)	人形劇	57
	ストーンアート	32
	のはらうたを読もう！	8
	英語であそぼ Story Telling in English with Sounds	15
8月19日 (日)	リアル謎解きゲーム～時空の案内人～	12
	U-s u k e氏読み聞かせ&サイン会	38
	U-s u k e氏ワークショップ 「イラストレーターになってみよう」	27
	本のリサイクル会	237
	合計	426



(2) ビデオ上映会

日時 毎週日曜日 午前 10 時と午後 3 時  
場所 ドリームサロン  
内容 幼児向けビデオの上映

(3) 読み聞かせ会

平成 8 年からアリスのうさぎ（読み聞かせグループ）による絵本と紙芝居の読み聞かせや、手遊びなどを実施。  
また、月に 1 度、日本語と英語による読み聞かせを行っている。  
日時 毎週土曜日 午後 3 時  
場所 ドリームサロン

(4) 英語絵本読み聞かせ

平成 30 年 6 月から S m i l e いんぐりっしゅ（読み聞かせグループ）による英語絵本の読み聞かせを実施。  
日時 毎月第 1 土曜日 午前 10 時 30 分  
場所 ドリームサロン

(5) 紙芝居上映会

ハウライ長介氏が、子どもから大人まで楽しめる紙芝居を上演。  
日時 毎月第 1 土曜日 午後 1 時 30 分  
場所 ドリームサロン

(6) 職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生の職場体験学習の受け入れ。  
市内教諭研修の受け入れ。

(7) 特集企画展示

季節や社会情勢に合わせたテーマを決めておすすめの図書を紹介。

(8) 本の福袋

図書館職員おすすめ本をテーマに一般・児童に分け、各 2 冊入り 20 袋の福袋を作成。

『評価と検証』

図書館まつりでは幼児だけではなく中高生など幅広い年代を対象にしたイベン

ト構成により開催し、多くの利用者に図書館の意義や楽しさを周知しました。

若者議会提案による2階多目的スペースにインテリアグリーンを設置や、ドリームサロンで環境音楽やクラシックを流すなど、利用者に配慮した空間作りを目指しました。また、特集や展示などに使用するスティックスタックウッドやブックトラックを購入し、図書の見せ方の工夫をしました。

展示ボックスを使用したホール展示や2階多目的スペースでの特集を開始するなど、特集や展示スペースを増設しました。また、ニューキャッスルアライアンス会議や新城ラリーなど、市内イベントとのコラボ展示を実施し、図書館から利用者へ向けての情報発信に努めました。今後も時事情報や地域での取り組みを積極的に情報収集、提供する場として工夫を図ります。

また、「レインボーはうす」による館内整理日の作業や読み聞かせグループ「Smile いんぐりっしゅ」による英語絵本の読み聞かせが開始するなど、ボランティアによる活動も増えており、活動の環境整備やボランティア育成にも努めます。

<b>8</b>	<b>文化財保護の取組</b>
----------	-----------------

<b>8(1)</b>	<b>文化財の保存・活用</b>
-------------	------------------

1 文化財保護事業

① 文化財指定地の環境整備委託

文化財指定地等の適正な環境を維持するため、地元市民等の協力による整備を実施した。

旗頭山古墳群（八名井地内）、断上山古墳（大宮地内）、宇利城跡（中宇利地内）、夜泣石古墳（富岡地内）、摩訶戸古墳（一畝田地内）、信玄塚（竹広地内）、長の山湿原等湿原整備（作手地区）、設楽原決戦場跡（竹広地内）亀山城跡（作手地区）

② 釜屋建民家維持管理委託

市指定建造物の古民家の適切な維持管理を図るのため、火おこし等の軽作業を実施した。

③ 仏像収蔵庫薫蒸委託

国指定仏像である巢山・仏像収蔵庫の維持管理のための薫蒸作業を実施した。

④ 永住寺本堂等について、国の文化財登録をおこなうべく申請書の提出を行った。

⑤ 愛知県指定天然記念物「ねずの樹」

痛んだ支柱の取替修繕を実施した。

⑥ 長篠城跡保存活用計画の策定

国指定史跡長篠城跡の保存と活用の方針を定めるべく、学識経験者、地元住民、文化庁や愛知県教育委員会担当者らを交えた委員会を組織し、計画書の内容について、年3回、会議を開催して検討を実施した。

⑦ 市指定天然記念物「むくの木」

伸張した枝葉の剪定を行い、樹木の保護に努めた。

⑧ 鏡岩下遺跡の発掘調査報告書の作成

昭和41年に鳳来町教育委員会が発掘調査を実施した遺跡の調査記録の保存のため、国庫補助を得ながら発掘調査報告書を作成した。

『評価と検証』

文化財保護のため、指定地の環境保全整備、維持管理のほか、周知・広報活動なども実施したことにより、地元住民をはじめ文化財保護意識の向上が図られた。

今後は、指定文化財以外の文化財的価値を有する歴史遺産の保全・整備も必要である。

2 文化財保存伝承補助事業

① 保存伝承活動事業への補助

市内指定伝統民俗芸能保存9団体の伝承保存を目的とした事業に対して補助を実施した。

② 文化財維持管理のための補助

望月家住宅や東照宮の重要文化財建造物や県指定の名勝・満光寺庭園の維持管理を目的とした事業に対し、補助を実施した。

③ 重要文化財望月家住宅の屋根葺替工事等を実施

耐震調査や診断を実施し、その結果に基づく耐震補強工事を実施することができた。また、痛んだ屋根茅を撤去し、さらに腐朽した雨樋等の雑工事も併せて実施した。

④ 市指定木造神馬の保存修理

痛んだ市指定文化財の彫刻の適切な維持管理に努めるべく、所有者が2ヶ年かけて行う保存修理について費用補助を行った。なお、今年度は彫刻の解体に伴う調査研究、頭部と脚部の保存修理を実施した。

『評価と検証』

指定文化財所有者や無形民俗保存団体活動への補助により、文化財の保存や伝承を行うことができた。

3 新城市文化財保護審議会

① 委員7名（任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日）

委員会の開催状況

第1回：平成30年7月19日（木）古宮城跡の文化財の指定協議など

平成30年9月27日付けで下記の文化財を新たに市の指定にした。

新指定

番号	種別	名称	員数	時代	所在地
1	史跡	古宮城跡	16,775.81㎡	戦国時代	新城市作手清岳

第2回：平成31年3月4日（月）平成30年度の事業報告、平成31年度の事業計画など

『評価と検証』

今後も市内に残された歴史的文化的遺産について、その調査並びに価値付けを調査して新たな文化財的物件の発掘に努め、それらの保護及び活用を図っていく必要がある。

4 発掘調査関係

① 試掘調査

・桜井氏屋敷跡（石田） 社宅新築工事 9月6日  
 【調査成果】 28㎡ 中世と思われる遺構を確認したが、遺物は出土しなかった。

・新城城跡（東入船） 店舗新築工事 3月20日  
 【調査成果】 23.9㎡ 遺構は確認できなかったが、19世紀頃と思われる陶器や陶磁器、瓦片などが多く出土した。

② 発掘調査監督業務

・萩平遺跡（川路） 愛知学院大学の学術調査 調査面積：60㎡（8月29日～9月8日）

③ 発掘調査説明会

・萩平遺跡：9月2日（日）参加者：9名

④ 埋蔵文化財有無照会件数 749件（前年度：675件）

⑤ 埋蔵文化財工事立会い件数 3件（前年度：4件）

『評価と検証』

埋蔵文化財の記録保存のための調査を実施し、市の歴史理解の一助となる貴重な成果を得ることができた。

今後、得られた成果を市民等に広く周知していく必要がある。



8(2)	新城市内の有形指定文化財
------	--------------

### 1 建造物

区分	名称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備考
国指定	東照宮	門谷	東照宮	S28. 11. 24	
国指定	鳳来寺仁王門	門谷	鳳来寺	S28. 11. 24	
国指定	望月家	黒田	望月靖雄	S49. 2. 5	
市指定	能舞台	宮ノ後	富永神社	S33. 4. 1	
市指定	満光寺の山門	下吉田	満光寺	S46. 6. 12	
市指定	薬師堂	庭野	大脇組	S53. 11. 22	
市指定	石造宝塔伝太田備中守墓	門谷	個人	S59. 7. 11	
市指定	釜屋建民家	庭野	新城市	S60. 5. 31	
市指定	周昌院の山門	玖老勢	周昌院	S63. 3. 9	
市指定	荏柄天神社本殿	長篠	長篠区	H 4. 3. 18	
市指定	旧鳳来町消防団第7分団第2部屯所	川合	川合区	H13. 6. 8	
登録文化財	旧黄柳橋	乗本	愛知県	H10. 9. 2	
登録文化財	瀧川家住宅主屋	出沢	個人	H17. 2. 28	
登録文化財	瀧川家住宅長屋門	出沢	個人	H17. 2. 28	
登録文化財	瀧川家住宅祠	出沢	個人	H17. 2. 28	
登録文化財	鳳来館本館	大野	法人	H21. 1. 8	
登録文化財	鳳来館土蔵	大野	法人	H21. 1. 8	
登録文化財	龍泉寺本堂	出沢	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	龍泉寺開山堂及び位牌堂	出沢	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	龍泉寺観音堂及び御茶堂	出沢	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	龍泉寺庫裏	出沢	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	龍泉寺鐘楼	出沢	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	八平神社本殿	出沢	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	八平神社玉垣	出沢	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	瀧神社本殿	大海	法人	H25. 12. 24	
登録文化財	旧料亭菊水	大野	法人	H27. 8. 4	

### 2 美術工芸品（絵画・彫刻）

区分	名称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備考
国指定	絹本着色三千仏名宝塔図	中宇利	富賀寺	H 6. 6. 28	
国指定	木造阿弥陀如来坐像 附 木造観音菩薩坐像	巢山	熊野神社	S52. 6. 11	
国指定	木造薬師如来坐像	庭野	林光寺	S 6. 12. 14	
県指定	甘泉寺の涅槃図	作手鴨ヶ谷	甘泉寺	S47. 6. 7	
県指定	木造十一面観音立像	杉山	正養寺	S32. 1. 12	
県指定	木造不動明王立像	巢山	熊野神社	S53. 3. 15	
県指定	木造熊野三所懸仏	巢山	熊野神社	S54. 3. 22	
市指定	太田白雪画像	竹広	新城市	S33. 4. 1	
市指定	鳥居勝商磔殺の図	有海	新昌寺	S33. 4. 1	
市指定	紙本淡彩 四季山水図 (横井金谷筆)	中宇利	富賀寺	S53. 11. 22	

市指定	木造十一面観音立像	稲木	長全寺	S33. 4. 1	
市指定	木造十一面観音立像	八名井	八名井区	S33. 4. 1	
市指定	木造大日如来坐像	八名井	八名井区	S33. 4. 1	
市指定	木造子安観音立像	市川	徳蔵寺	S33. 4. 1	
市指定	木造十一面観音立像	日吉	塩沢区上組・上ノ原組	S33. 4. 1	
市指定	石造庚申碑	北畑	庚申寺	S33. 4. 1	
市指定	木造神馬	大宮	石座神社	S33. 4. 1	
市指定	石造閻魔大王	竹広	竹広区	S33. 4. 1	
市指定	木造魚板	川路	勝楽寺	S33. 4. 1	
市指定	木造曇股	吉川	日吉神社	S33. 4. 1	
市指定	山寺の寝観音	副川	副川区	S37. 8. 1	
市指定	石造賓頭盧尊者坐像	竹広	個人	S38. 1. 1	
市指定	木造阿弥陀如来坐像	黒田	黒田区	S38. 1. 1	
市指定	木造地藏菩薩坐像	富永	増瑞寺	S41. 3. 8	
市指定	持国天立像	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	増長天立像	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	広目天立像	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	多聞天立像	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	制叱迦童子立像	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	白衣観音像(円空)	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	狛犬	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	北条時頼座像	巢山	熊野神社	S48. 10. 22	
市指定	仁王像	門谷	鳳来寺	H 1. 2. 28	
市指定	木造阿弥陀如来坐像	四谷	大代・大林・古宿組	H 9. 2. 28	
市指定	金剛力士像(善福寺の仁王尊)	作手清岳	善福寺	H 9. 5. 1	
市指定	阿弥陀如来坐像	下吉田	満光寺	H11. 10. 12	
市指定	石造十二神将像(含石造薬師三尊像)	門谷	個人	H12. 3. 21	
市指定	木造金剛力士像(阿形・吽形)	中宇利	富賀寺	H16. 9. 16	
市指定	木造不動明王立像	中宇利	富賀寺	H16. 9. 16	
市指定	木造隨身像	門谷	東照宮	H26. 7. 24	
市指定	木造獅子・狛犬像	門谷	東照宮	H26. 7. 24	
市指定	紙本淡彩 山水図 (豊谷筆)	中宇利	富賀寺	H30.3.22	
市指定	紙本著色 釈迦十六善神図	中宇利	富賀寺	H30.3.22	
市指定	紙本淡彩 束帯天神図	中宇利	富賀寺	H30.3.22	

### 3 工芸品

区分	名 称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備 考
市指定	能装束	町並	新城能楽社	S33. 4. 1	
市指定	鰐口	牛倉	阿弥陀堂	S33. 4. 1	
市指定	唐の頭	八名井	個人	S36. 1. 31	
市指定	喚鐘	裏野	永住寺	S39. 5. 9	
市指定	鉄砲	宮ノ前	宗堅寺	S39. 5. 9	
市指定	梵鐘	玖老勢	周昌院	S46. 6. 12	

#### 4 書跡・古文書

区分	名称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備考
市指定	太田白雪自筆著書	竹広	新城市	S33. 4. 1	
市指定	太田白雪自筆著書	町並	個人	S33. 4. 1	
市指定	今川義元証文	中宇利	富賀寺	S33. 4. 1	
市指定	今川氏真証文	中宇利	富賀寺	S33. 4. 1	
市指定	朱印状	中宇利	富賀寺	S33. 4. 1	
市指定	朱印状	富永	増瑞寺	S33. 4. 1	
市指定	黒印状	矢部	勅養寺	S33. 4. 1	
市指定	菅沼家家譜	宮ノ前	宗堅寺	S33. 4. 1	
市指定	慶長9年検地帳	大宮	大宮区	S33. 4. 1	
市指定	年貢割付(慶長、元和)	富永	個人	S33. 4. 1	
市指定	代官辞令	富永	個人	S33. 4. 1	
市指定	設楽家条目	富永	個人	S33. 4. 1	
市指定	雁峯山山論書類	作手高里	新城市	S33. 4. 1	
市指定	雁峯山山論裁許証文	作手高里	新城市	S33. 4. 1	
市指定	年貢割付(慶長、元和)	日吉	鳥原区	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	杉山	新城市・個人	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	塩沢	塩沢区	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	鳥原	鳥原区	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	矢部	矢部区	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	上平井	上平井区	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	平井	平井区	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	吉川	吉川区	S35. 12. 1	
市指定	慶長9年検地帳	富岡	富岡東部区	S35. 12. 1	
市指定	太田白雪「きれぎれ」	庭野	個人	S41. 3. 8	
市指定	太田白雪「三河小町」	日吉	個人	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	竹広	新城市	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	片山	片山区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	徳定	徳定区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	臼子	臼子区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	今出平	今出平区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	大洞	諏訪区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	諏訪河原	諏訪区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	稲木	稲木区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	設楽市場	個人	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	大宮常信	大宮常信組	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	牛倉	牛倉区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	須長	須長区	S41. 3. 8	
市指定	慶長9年検地帳	大海	大海区	S41. 3. 8	
市指定	大般若経	大宮	般若寺	S43. 2. 12	
市指定	大般若波羅密多経	布里	普賢院	S48. 10. 22	
市指定	今川義元証文	裏野	永住寺	S51. 12. 21	
市指定	黒印状	中宇利	慈廣寺	S51. 12. 21	
市指定	徳運寺の古写経	名越	徳運寺	S63. 3. 9	
市指定	船長日記	宮ノ前	宗堅寺	S63. 8. 19	

市指定	天正 18 年検地帳	横川	横川区	H 2. 10. 24	
市指定	御觸書留帳(町役場日記)	庭野	新城市	H16. 9. 16	
市指定	大般若波羅密多經	中宇利	富賀寺	H30.3.22	

## 5 考古資料・歴史資料

区分	名 称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備 考
市指定	大ノ木遺跡他遺跡出土品	竹広	新城市・東郷中学校	S35. 12. 1	
市指定	茶臼山古墳他古墳出土品	竹広	新城市・東郷中学校	S35. 12. 1	
市指定	大原古墳群出土品	富岡	新城市・八名小学校	S35. 12. 1	
市指定	川田原、徳定古墳群出土品	杉山	新城市・千郷小学校	S35. 12. 1	
市指定	神荒居・川大田弥生遺跡出土品	庭野	新城市・庭野小学校	S35. 12. 1	
市指定	中宇利中世墓地出土品	中宇利	新城市	S35. 12. 1	
市指定	萩平遺跡出土品	竹広	新城市	S45. 11. 1	
市指定	吉田川井堰引船図 附 井堰御普請関係文書	乗本・小川・ 長篠	乗本・小川長篠組	H16. 12. 21	
市指定	鏡岩下遺跡出土品	門谷	鳳来寺	H29. 3. 23	

## 6 天然記念物・名勝

区分	名 称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備 考
国指定	鳳来寺山	門谷	鳳来寺他	S 6. 7. 31	
国指定	阿寺の七滝	下吉田	新城市	S 9. 1. 22	
国指定	乳岩及び乳岩峡	川合	新城市他	S 9. 1. 22	
国指定	黄柳野つげ自生地	黄柳野	新城市	S19. 3. 7	
国指定	甘泉寺のコウヤマキ	作手鴨ヶ谷	甘泉寺	S47. 5. 26	
国指定	馬背岩	豊岡	新城市	S 9. 5. 1	
県指定	満光寺庭園	下吉田	満光寺	S49. 7. 3	
県指定	須山のイヌツゲ	作手清岳	個人	S29. 2. 5	
県指定	ムカデラン自生地	川合	個人	S30. 5. 6	
県指定	ねずの樹	門谷	新城市	S30. 7. 1	
県指定	長の山湿原	作手岩波	新城市	S48. 11. 26	
県指定	中宇利丸山の蛇紋岩植生	中宇利	中宇利区	S55. 2. 12	
市指定	鳴沢の滝	作手守義	国	S32. 6. 1	
市指定	桜淵	桜淵	新城市他	S33. 4. 1	
市指定	鮎滝	出沢	出沢区・横川区	S33. 4. 1	
市指定	富賀寺庭園	中宇利	富賀寺	S61. 6. 6	
市指定	中央構造線長篠露頭	長篠	個人	H19. 4. 23	
市指定	ヒメハルゼミ	大宮	石座神社他	S58. 3. 19	
市指定	クロツバメシジミ生息地	七郷一色	新城市他	H11. 10. 12	
市指定	古宮の大ヒノキ	作手清岳	清岳の白鳥神社	S32. 6. 1	
市指定	白鳥神社の大スギ	作手白鳥	白鳥神社総社	S32. 6. 1	
市指定	子産道のヒイラギ	作手中河内	個人	S32. 6. 1	
市指定	大クス	日吉	日吉神社(鳥原)	S33. 4. 1	
市指定	異剥石	中宇利	雨生山	S33. 4. 1	
市指定	黄柳野かやの木	黄柳野	個人	S34. 8. 25	
市指定	若宮社の杉	門谷	若宮神社	S35. 6. 29	
市指定	島田のかやの木	愛郷	個人	S35. 6. 29	

市指定	ムクの木	庭野	新城市	S35. 12. 1	
市指定	池場のケヤキ	池場	池之神社	S46. 6. 12	
市指定	戸津呂のリュウキュウマメガキ	作手保永	個人	S58. 8. 1	
市指定	コウヤマキ自生地	作手田原	個人	S58. 8. 1	
市指定	赤羽根のイヌナシ	作手高松	日在寺	S58. 8. 1	
市指定	善夫のヒイラギ	作手善夫	個人	S58. 8. 1	
市指定	中河内のフデガキ	作手中河内	個人	S58. 8. 5	
市指定	善福寺のボダイジュ	作手清岳	善福寺	S58. 8. 17	
市指定	スギ	平井	八幡神社	H 6. 9. 1	
市指定	田代地の神の叢林	作手田代	個人	H 9. 5. 1	
市指定	有海ミカワバイケイソウ自生地	有海	個人	H13. 6. 22	
市指定	障子岩岩脈	川合	国有林	S62. 3. 10	
市指定	見代のオハツキイチョウ	作手保永	見代区	H22. 8. 26	

## 7 指定有形民俗文化財

区分	名称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備考
市指定	石座石	須長	個人	S33. 4. 1	
市指定	服部神社伝来赤引糸関係遺物	大野	大野神社	S34. 8. 25	
市指定	操り人形衣装	上吉田	大室神社	S39. 5. 29	
市指定	石座石	大宮	石座神社	S43. 2. 12	
市指定	小畑の才の神	小畑	小畑区	S62. 2. 19	
市指定	荻野家住宅	七郷一色	個人	H 2. 10. 23	
市指定	普賢院三十三所観音像の額	布里	普賢院	H 4. 3. 18	

<b>8(3)</b>	<b>新城市内の無形指定文化財</b>
-------------	---------------------

1 無形民俗文化財

区 分	名 称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備 考
国指定	三河の田楽	門谷 七郷一色	鳳来寺田楽保存会 黒沢田楽保存会	S53. 5. 22	
県指定	信玄原の火おんどり	竹広	火おんどり保存会	S40. 5. 21	
県指定	乗本万灯	乗本	乗本万灯保存会	S51. 7. 14	
県指定	南設楽のほうか	大海、布里 一色、塩瀬 源氏、名号	大海放下保存会 登喜和連(布里) 一色念仏放下保存会 塩瀬放下保存会 源氏放下保存会 名号放下保存会	S58. 9. 14	S36. 3. 30 大海 S58. 9. 14 指定変更
県指定	設楽のしかうち行事	能登瀬	能登瀬区	S58. 3. 7	
市指定	山ノ神年占い	小畑	小畑区	S33. 4. 1	
市指定	鍋づる万灯	市川	鍋づる万灯保存会	S33. 4. 1	
市指定	はねこみ	恩原等 四谷等	若連会 海老地区	S34. 8. 25	
市指定	名越神楽	名越	名越神楽保存会	S37. 8. 1	
市指定	天王祭	一鍬田	天王祭保存会	S51. 12. 21	
市指定	地狂言(歌舞伎)	作手田原	作手若芽会	S55. 3. 28	
市指定	お練り唄と神代おどり	作手田原	田原の白鳥神社	S55. 3. 28	
市指定	三番叟	作手田原	田原の白鳥神社	S55. 3. 28	
市指定	大室神社奉射神事	上吉田	大室神社	S57. 11. 5	
市指定	十二所神社の神楽(獅子神楽)	作手高里	長者平神楽囃子保存会	H 9. 5. 1	
市指定	新城歌舞伎	片山	新城歌舞伎保存会	H 9. 9. 22	

2 無形文化財

区 分	名 称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備 考
市指定	祭礼能	本町	新城能楽社	S33. 4. 1	
市指定	立物花火	東新町	立物花火保存会	S36. 1. 31	
市指定	鳳来寺硯制作	門谷	個人	H22. 8. 26	

## 8(4)

## 新城市内の指定史跡

区分	名称	所在地	所蔵又は管理者	指定年月日	備考
国指定	長篠城跡	長篠	新城市	S 4. 12. 17	
県指定	宇利城跡	中宇利	中宇利区	S32. 9. 6	
県指定	旗頭山尾根古墳群	八名井	八名井区	S53. 5. 29	
県指定	断上山古墳 9・10 号墳	大宮	新城市・個人	S53. 10. 16	
市指定	上ノ平遺跡	有海字太郎田	個人	S33. 4. 1	
市指定	篠原遺跡	有海字篠原	土地改良により未調査	S33. 4. 1	
市指定	東平遺跡	豊栄字東平	個人	S33. 4. 1	
市指定	計賀地遺跡	豊栄字計賀地	三河カントリークラブ	S33. 4. 1	
市指定	黒瀬遺跡	大海字黒瀬	個人	S33. 4. 1	
市指定	真向遺跡	豊栄字真向	新城市・国土交通省・個人	S33. 4. 1	
市指定	大ノ木遺跡	大宮字平田	愛知県・国土交通省・個人	S33. 4. 1	
市指定	松尾遺跡	富永字松尾	個人	S33. 4. 1	
市指定	大入遺跡	日吉字大入	個人	S33. 4. 1	
市指定	中貝津遺跡	大海字中貝津	個人	S33. 4. 1	
市指定	八剣遺跡	大宮字下馬場	新城市・個人ほか	S33. 4. 1	
市指定	南貝津遺跡	大宮字南貝津	個人	S33. 4. 1	
市指定	タイカ遺跡	上平井字タイカ	愛知県経済農業協同組合連合会	S33. 4. 1	
市指定	上ノ川遺跡	矢部字上ノ川	新城市・八幡神社他	S33. 4. 1	
市指定	神田遺跡	豊栄字神田	個人	S33. 4. 1	
市指定	豊辺遺跡	八名井字豊辺屋敷	個人	S33. 4. 1	
市指定	神荒居遺跡	庭野字神荒居	個人	S33. 4. 1	
市指定	断上山古墳 1～8 号	大宮字石座神社他	愛知県・石座神社	S33. 4. 1	
市指定	茶臼山古墳	牛倉字城山	個人	S33. 4. 1	
市指定	萩平古墳	川路字萩平	新城市	S33. 4. 1	
市指定	須長古墳	須長字道久保	個人	S33. 4. 1	
市指定	本並古墳	矢部字本並	個人	S33. 4. 1	
市指定	堂塚古墳	杉山字行時	個人	S33. 4. 1	
市指定	荒井古墳	杉山字荒井	豊橋鉄道(株)	S33. 4. 1	
市指定	川田原古墳群	川田字本宮道	新城市・個人他	S33. 4. 1	
市指定	庭野古墳	庭野	庭野神社	S33. 4. 1	
市指定	摩訶戸古墳群	一鍬田	新城市・個人	S33. 4. 1	
市指定	勝塚古墳	一鍬田字実盛	国土交通省・個人	S33. 4. 1	
市指定	夜泣石古墳	富岡字釜石	富岡西部区	S33. 4. 1	
市指定	地蔵山古墳	八名井字上池屋敷	個人	S33. 4. 1	
市指定	中宇利古墳	中宇利字曾根	中宇利区	S33. 4. 1	
市指定	欠下城跡	矢部字欠下	勅養寺・個人	S33. 4. 1	
市指定	新城城跡	西入船	新城市	S33. 4. 1	

市指定	野田城跡	豊島	個人	S33. 4. 1	
市指定	大野田城跡	野田	中市場組・津島神社他	S33. 4. 1	
市指定	石田城跡	石田	国土交通省・個人	S33. 4. 1	
市指定	道目記城跡	杉山	横浜ゴム(株)	S33. 4. 1	
市指定	端城城跡	杉山字端城	個人	S33. 4. 1	
市指定	大谷城跡	上平井字大谷	個人	S33. 4. 1	
市指定	夷城跡	上平井円ノ平	愛知県・個人他	S33. 4. 1	
市指定	来迎松城跡	富永字鎌屋敷	ごんだ(株)・個人	S33. 4. 1	
市指定	岩広城跡	富沢字破城	個人	S33. 4. 1	
市指定	川路城跡	川路字市場	個人	S33. 4. 1	
市指定	小川路城跡	川路	新城市・個人	S33. 4. 1	
市指定	端城城跡	川路字端城	個人	S33. 4. 1	
市指定	信玄塚	竹広	新城市・竹広共有地	S33. 4. 1	
市指定	寒狭橋跡	大海滝神社境内	滝神社	S33. 4. 1	
市指定	芭蕉句碑	北畑	庚申寺	S33. 4. 1	
市指定	島田氏陣屋跡	野田字西郷	個人	S38. 1. 1	
市指定	半原藩邸跡	富岡字大屋敷	個人	S38. 1. 1	
市指定	比丘尼城跡	中宇利	中宇利区・中宇利財産区・中部電力(株)・個人	S38. 1. 1	
市指定	五葉城跡	富岡字南川	富岡財産区	S38. 1. 1	
市指定	萩平遺跡	川路字萩平	個人	S38. 1. 1	
市指定	新城古城跡	石田字万福	農林水産省・個人	S43. 2. 12	
市指定	柿本城跡	下吉田	個人	S46. 6. 12	
市指定	馬場美濃守信房の墓	長篠	個人	S46. 6. 13	
市指定	蟻塚	長篠	個人	S46. 6. 13	
市指定	長篠戦役設楽原決戦場跡	竹広他4地区	新城市・個人	S47. 3. 1	
市指定	富賀寺中世墓地	中宇利	中宇利区共有地	S53. 11. 22	
市指定	吉水寺中世墓地	稲木	長全寺	S53. 11. 22	
市指定	今水寺跡	八名井今水	個人	S53. 11. 22	
市指定	亦谷中世墓地	出沢字亦谷	個人	S53. 11. 22	
市指定	医王寺山武田勝頼本陣跡	長篠	医王寺	H 5. 7. 13	
市指定	古宮城跡	作手清岳	個人ほか	H30.9.27	



<b>8(5)</b>	<b>新城市内の日本百選</b>
-------------	------------------

新城市に在する「日本百選」

百 選 名	対 象	指定年	選 定 者
観光地百選（山岳の部）	鳳来寺山	1950	毎日新聞
新日本百名山	鳳来寺山	1982	岩崎元郎、朝日新聞社
森林浴の森百選	愛知県民の森	1986	林野庁、緑の文明学会
ふるさとおにぎり百選	合戦むすび お精霊めし 五平もち	1986	農林水産省
日本の滝百選	阿寺の七滝	1990	緑の文明学会・グリーンルネサンス・緑の地球望遠基金主催：環境省、林野庁後援
新・日本名木百選	甘泉寺のコウヤマキ 傘スギ(杉)	1990	読売新聞社
鉄道の旅百選	飯田線	1994	淡交社刊「鉄道の旅 100 選」
水源森の百選	愛知県民の森	1995	林野庁
日本の棚田百選	四谷の千枚田	1999	農林水産省
日本清流百選	宇連川	1999	フジテレビ、環境庁推薦
日本百名湯	湯谷温泉	2000	日本経済新聞社
日本百名城	長篠城	2006	(財)日本城郭協会
疎水百選	豊川用水	2006	農林水産省
日本の地質百選	鳳来寺山	2007	(社)全国地質調査協議会 地質情報活用機構
にほんの里百選	川売	2009	朝日新聞社、森林文化協会
日本百名洞	乳岩及び乳岩峡	2013	日本洞穴探検協会、日本百名洞選定委員会
続日本百名城	古宮城	2017	(財)日本城郭協会



四谷千枚田  
(日本の棚田百選)



宇連川、馬背岩、湯谷温泉  
(日本清流百選、国天然記念物、日本百名湯)

<b>8(6)</b>	<b>設楽原歴史資料館</b>
-------------	-----------------

**1 主な事業**

設楽原歴史資料館は、天正3年（1575）に戦国の流れを大きく変えたといわれる【長篠・設楽原の戦い】の決戦場に建つ資料館である。館内は大きく「設楽原の戦い」「火縄銃」「岩瀬忠震」「火おんどり」の4つの常設展示コーナーに分けられる。また、年に数回の企画展なども実施するとともに、各種関連講座なども開催している。地域住民の研究活動の拠点としても、地域協力を果たしている。



(1) 施設の概要

- ・所在地 〒441-1305 新城市竹広字信玄原 552 番地
- ・電話 0536-22-0673
- ・開館年月日 平成8年4月28日
- ・構造 鉄筋コンクリート造 平屋建
- ・面積 敷地面積 34,205㎡ 延床面積 984.10㎡

(2) 開館

- ・時間 午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）
- ・休館日 火曜日（休日に当たるときは、その翌日）、年末年始12月29日から1月3日

(3) 観覧料

	個人	団体(20名以上)
一般(高校生以上)	300円	200円
小・中学生	100円	50円

		一般(高校生以上)	小中学生
共通観覧券	個人	400円	150円
	団体(20名以上)	300円	80円

※共通観覧券は、長篠城址史跡保存館も観覧できます。

(4) 設楽原歴史資料館・長篠城址史跡保存館共通会員

- 特典 ・会員証の提示で両館の見学が自由・企画展、特別展のご案内  
 ・両館の研究活動報告書『研究紀要』の贈呈  
 年度会費 大人(高校生以上) 1,500円/人 子ども 750円/人

(5) 入館者数

平成30年度

開館日数	325日
------	------

H30	個人	団体	無料	合計
一般	12,487人	1,903人	6,777人	21,167人
小中学生	1,426人	231人	1,301人	2,958人
合計	13,913人	2,134人	8,078人	24,125人

(6) 4つの企画展と関連行事等（平成29年度）

収蔵品展 日本の開国の立役者 岩瀬忠震展

会期／平成30年7月14日（土）～9月14日（金）

入館者数／5,289名（累計）

開館日数／63日

企画展 新城城～今、蘇る新しき城展

会期／平成30年9月15日（土）～11月25日（日）

入館者数／6,555名（累計）

開館日数／72日

企画展 鉄砲隊の鉄砲展

会期／平成30年12月15日（土）～1月13日（日）

入館者数／812名（累計）

開館日数／21日

企画展 新城の古文書～一枚の紙から分かる新城の歴史

会期／平成31年2月9日（土）～3月31日（日）

入館者数／2,524名（累計）

開館日数／50日

### 『評価と検証』

昨年度開催した「霊峰～鳳来寺山」展に引き続き、平成30年度も地域の文化財を改めて見直すため、企画展として「新城城～今、蘇る新しき城」展を開催した。この企画展のなかで、宗聖寺に遺された新城城の屋敷図を参考に新城陣屋の部屋割りを復元し、立体的に新城城の様子を紹介することによって、地域の歴史の再認識に貢献することができた。

又当館は日本一の規模を誇る古式銃を所蔵しており、そうした古式銃とともに、長篠・設楽原の戦い、岩瀬忠震の紹介を行っている。本年度、実施した3つの企画展はいずれも本資料館設立の趣旨に沿ったものであり、その入場者数から見ても、来場者を満足させるものであったと考えられる。

さらに、市の内外で甲冑の着用体験を行うなど、新城市のPRにも大きな役割を果たした。

こうした地道な努力によって、新東名高速道路の開通から2年を経て、その影響の低下により来館者数が前年度に大きく減ることとなったが、その減少幅が小さくなっている。

## 2 設楽原決戦場まつり支援事業

### ① 第29回設楽原決戦場まつり

設楽原をまもる会主催による「第28回設楽原決戦場まつり」の開催にあたり後援及び補助金による支援を実施。決戦場まつりには、地元行政区をはじめ東郷西小学校、東郷東小学校、東郷中学校の児童・生徒も参加し、地域ぐるみによるイベントとなっている。

今から442年前の天正3年(1575)5月21日、連吾川を挟んで武田勝頼率いる15,000人と、織田信長・徳川家康率いる連合軍38,000人との設楽原決戦が行われた。戦いは早朝から始まり、午後には連合軍の勝利ということで幕を閉じたが、決戦場には数多い戦死者が横たわっていた。このおびただしい戦死者は信玄塚に葬られ、以後地元の人々によって大切に祀られてきた。

決戦の日を今の太陽暦に換算すると7月9日に当たる。平成2年からその日に近い日曜日に「設楽原決戦場まつり」を、設楽原をまもる会の主催により信玄塚・馬防柵再現地・設楽原古戦場・設楽原歴史資料館を会場に開催され、その支援を行っている。29回目の今年度は、7月1日（日）に開催した。本年度は日本全国より西洋流火術鉄

砲隊保存会、丹波亀山鉄砲隊、種子島火縄銃南種保存会 南部鉄砲隊の3隊を招へいし、演武を実施。火縄銃も用いた合戦と里である設楽原の知名度向上に努めた。



長篠・設楽原鉄砲隊演武

#### 設楽原決戦場まつりの内容

- ・ 9:00 鳥居強右衛門の道を走ろう会のメンバーを列席者全員で見送ることから始まる。資料館駐車場では、地元の物産を販売。(9:00~12:00)
- ・ 9:30 信玄塚において、「442年祭」の戦没者法要を行う。  
今泉会長のもと、竹広区長の開式の言葉、長篠・設楽原鉄砲隊の礼射に続き、勝楽寺佐藤方丈の読経により、列席者の焼香に移った。次に、辞世の詠唱は、柿原有子氏。設楽原の古戦場の歌は、島民謡会。あいさつは今泉会長に続いて、来賓の市長・甲州代表等からいただく。
- ・ 11:00 火縄銃の演武。

#### 『評価と検証』

歴史を伝承する事業が、地元小中学校の児童生徒、地域住民の参加により、地域一丸となって開催。火縄銃の三段撃ちの検証を行うなど、単なるイベントとしてだけでなく、学術的にも全国に誇ることができる事業となっている。さらに全国から鉄砲隊を招へいすることによって、火縄銃によるPRも大きなものがある。

天候にも恵まれ、市内外から大勢の見学者があり、新城と武田の里山梨をつなぐイベントとして、設楽原をPRすることができた。

## 8(7) 長篠城址史跡保存館

### 1 主な事業

長篠城址史跡保存館は、「日本 100 名城」に数えられる「長篠城跡」（国指定史跡）にあり、日本戦史に残る「長篠・設楽原の戦い」に関する資料を保存・展示。

#### (1) 施設の概要

- ・所在地 〒441-1634  
新城市長篠字市場 22 番地 1
- ・電話 0536-32-0162
- ・開館年月日 昭和 39 年 11 月 3 日
- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・面積 2 階建 331 m<sup>2</sup> 木造倉庫 33 m<sup>2</sup>
- ・施設の内訳 1 階 休憩所 作業室 倉庫  
2 階 展示室 事務室 収蔵庫



#### (2) 開館

- ・時間 午前 9 時から午後 5 時まで（入館は午後 4 時 30 分まで）
- ・休館日 火曜日（休日に当たるときは、その翌平日）、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

#### (3) 観覧料

		一般(高校生以上)	小・中学生
観覧券	個人	210 円	100 円
	団体(20 名以上)	160 円	50 円
共通観覧券	個人	400 円	150 円
	団体(20 名以上)	300 円	80 円

※共通観覧券は、設楽原歴史資料館も観覧できます。

#### (4) 設楽原歴史資料館・長篠城址史跡保存館共通会員

- 特典
- ・会員証の提示で両館の見学が自由
  - ・企画展、特別展、各種講座開催のご案内
  - ・両館の研究活動報告書『研究紀要』の贈呈
- 年度会費 大人(高校生以上) 1,500 円/人 子ども 750 円/人

#### (5) 入場者数

平成 29 年度

開館日数	323 日
------	-------

	個人	団体	無料	計
一般	19,104 人	5,516 人	3,055 人	27,675 人
小中学生	2,069 人	434 人	1,869 人	4,372 人
計	21,173 人	5,950 人	4,924 人	32,047 人

平成 30 年度

開館日数	318 日
------	-------

	個人	団体	無料	計
一般	12,436人	7,184人	2,303人	21,923人
小中学生	1,655人	450人	1,104人	3,209人
計	14,091人	7,634人	3,407人	25,132人

(6) 特別展

展覧会名	開催期間	入館者数
新城高等女学校と学徒動員	平成30年7月18日 ～平成30年8月27日	4,497人
新城の古文書 - 一枚の紙から分かる新城の歴史	平成31年2月9日 ～平成31年3月31日	2,823人

(7) 調査研究事業

① 歴史講座「徳川家康と三河武士」の開催

会場：新城市開発センター大会議室（現地学習会除く）

延べ受講者数 714名

開催日	内容	講師	参加人数
第1回 8月25日(土)	徳川創業期の譜代家臣団と大久保氏 ～大久保氏発祥の足跡と忠世・忠佐兄弟 の活躍～	おかざき塾歴史教室 主宰 市橋章男氏	144名
第2回 9月22日(土)	本多忠勝と子孫たち	岡崎市美術博物館 学芸員 浦野加穂子氏	134名
第3回 10月27日(土)	寺部を治めた渡邊家の初代守綱	豊田市郷土資料館 学芸員 山田佳美氏	122名
第4回 11月17日(土)	豊前国中津と奥平	中津歴史民俗資料館 元館長 田中布由彦氏	124名
現地学習会 12月8日(土)	小田原城と大久保氏	現地ガイド	69名
第5回 1月19日(土)	徳川創業期を支えた三河譜代の活躍	おかざき塾歴史教室 主宰 市橋章男氏	121名

② 調査研究

通年 平井高柳家文書整理作業

通年 丸山彭旧宅資料調査

③ 歴史ウォーキングの実施

「新城まちなかの文化財を歩く」 平成31年3月21日(土)実施 申込者37名

訪問地：新城高等女学校跡・新城城跡・大善寺・永住寺・宗堅寺・桃牛寺

④ 「お城 EXP02018」への出展

期間：平成30年12月22日(土)～24日(月)

会場：パシフィコ横浜





「新城高等女学校と学徒動員」展



「新城の古文書」展



歴史講座



歴史ウォーキング

### 『評価と検証』

「長篠・設楽原の戦い」を中心とした郷土の歴史文化を広く紹介し、知識と理解を深めるために、展示や歴史講座等を開催した。展示では、夏に「新城高等女学校と学徒動員」展を開催し、かつて存在した新城高等女学校の紹介を行った。また「新城の古文書」展については設楽原歴史資料館・作手歴史民俗資料館との3館合同企画展として実施し、保存館では近代選挙関係文書を多数展示した。いずれの展示も近代をテーマとするものであったが、あまり光の当たらない時代・分野の展示を行うことで、郷土史の掘り下げを行うことができた。

歴史講座では、「徳川家康と三河武士」を通年のテーマとして掲げ、大久保・本多・渡邊・奥平といった譜代家臣を題材として関係地域から講師を招き開催した。講師については、昨年度同様、講演内容を踏まえて関連史跡を容易に訪問できるように、愛知県内の博物館学芸員を中心に選定した。長篠・設楽原の戦いに参加した武将たちがテーマとなる講演であり、人気の高い戦国～江戸時代が中心であったため例年に比べて参加希望者が多く、募集開始後数日で定員となった。参加希望者の多さは、歴史講座を十数年にわたり継続して開催し続けることで得られた講座の質に対する信頼と実績が結実したものと考えられる。また各回とも、それぞれの地域や講師の専門分野を活かした特色豊かな内容であり、参加者の満足度は高かったものと思われる。

また歴史ウォーキングでは新城市民に向けて郷土の歴史を広め、お城 EXPO への出展では城郭愛好家に向けて長篠城を積極的に PR し、郷土史の情報発信拠点としての機能を十全に果たすことができた。

## 8(8) 鳳来寺山自然科学博物館

### 1 主な事業

鳳来寺山自然科学博物館は、新城市を中心とした奥三河の自然の成り立ちと現状、特質を把握するために調査研究を行うとともに、調査で得られた資料の収集整理及び保管をし、その成果を展示活動、教育普及活動、出版活動を通じて市民に還元することを基本的な使命として活動を行っている。そして次の目標を掲げて事業を行っている。



「人と自然の架け橋となる博物館」

「地域・社会に貢献する博物館」

「みんなで創り育てる博物館」

また、新城市及び東三河の優れた自然遺産の保全と活用、地域活性化を目的にジオパーク構想を推進する。

#### (1) 施設の概要

- ・所在地 〒441-1944  
新城市門谷字森脇 6 番地
- ・電話 0536-35-1001
- ・開館年月日 昭和 38 年 4 月 26 日
- ・構造 本館及び展示館：鉄筋コンクリート造 3 階建、一部塔屋付  
増設施設：鉄筋コンクリート造 1 階建一部 2 階建  
植物標本庫：木造平屋建
- ・面積 敷地面積：3,295.84 m<sup>2</sup> 建築面積 1,818.66 m<sup>2</sup>
- ・施設の内訳 本館：ロビー、ミュージアムショップ、事務室、地学収蔵庫、  
特別展示室、仏法僧展示室、動物収蔵庫、便所、地階倉庫  
展示館：生態展示室（2 階）、分類展示室（3 階）、展望室、屋上広場  
増設室：バルコニー、学習室、便所、倉庫、図書庫  
その他：植物標本庫、動物保護室、エレベーター、スロープ

#### (2) 開館

- ・時間 午前 9 時から午後 5 時まで
- ・休館日 火曜日（休日に当たるときは、その翌日）、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日  
※ただし、夏休み期間中（7 月 21 日～8 月 31 日）と 11 月は毎日開館（無休）

#### (3) 入館料

区分	個人・団体の別	個人	団体（20 人以上）
	一般		210 円
小・中学生		100 円	50 円

※ただし、新城市内在住の小・中学生は入館料免除  
東三河の小・中学生は、ほの国<sup>パ</sup>スポーツの提示により入館料免除



## (4) 入館者数

平成 29 年度

開館日数	319 日			
	個人	団体	無料	計
一般	4,481 人	1,003 人	1,139 人	6,623 人
小中学生	446 人	1,914 人	1,852 人	4,212 人
計	4,927 人	2,917 人	2,991 人	10,835 人

平成 30 年度

開館日数	319 日			
	個人	団体	無料	計
一般	4,252 人	941 人	998 人	6,191 人
小中学生	483 人	2,409 人	1,555 人	4,447 人
計	4,735 人	3,350 人	2,553 人	10,638 人

## (5) 平成 30 年度博物館活動

55 周年を迎えさらに前進をという意味でテーマを「Go Go Museum (55 博物館)」とした。郷土の自然に立脚した展示・教育普及活動、調査研究、資料の収集・整理・保管活動をおこなった。事業報告及び調査研究を館報に掲載し成果を公表した。

また、東三河ジオパーク構想の事務局として事業の推進に取り組んだ。

## ① 展示活動

## ■特別展の開催

特別展名	開催期間	内容
「鳳来寺山展-前編-」 見学者：2,290 人	平成 30 年 5 月 1 日 ～平成 30 年 6 月 30 日 (53 日間)	鳳来寺山の特徴的な動物、植物、菌類、岩石について紹介
「鳳来寺山展-後編-」 見学者：1,856 人	平成 30 年 7 月 1 日 ～平成 30 年 8 月 31 日 (59 日間)	鳳来寺山の自然についての紹介。季節に合わせて展示を変更した。
「きのこ展」 見学者：991 人	平成 30 年 9 月 16 日 ～平成 30 年 10 月 21 日 (31 日間)	新城市及び周辺地域で見られる野生きのこの実物標本と自然界での働きなどについてパネルで紹介
「東三河のジオサイト」 見学者：4,552 人	平成 30 年 11 月 3 日 ～平成 31 年 3 月 31 日 (127 日間)	東三河地域内で見られるジオサイトについて、エリアごとに紹介。



特別展 「鳳来寺山展-後編-」



特別展 「きのこ展」

② 教育普及活動

■ 野外学習会

○ 自然をたのしく学ぶ野外学習会

学 習 会 名	講 師	開 催 日	参加者
新緑の乳岩・鬼岩	中西 正 山田 由乃	平成 30 年 4 月 29 日 (日)	42 人
四谷の千枚田の生きもの	川村 浩 小山 舜二 水谷 英夫	平成 30 年 6 月 10 日 (日)	雨天 中止
海老・谷川の生きもの	堀 正和 西本ふたば 水谷 英夫	平成 30 年 8 月 5 日 (日)	43 人
作手高原のきのこ	木村 修司	平成 30 年 10 月 14 日 (日)	32 人
秋の設楽原～里地・里山の植物～	山田 由乃 中西 正	平成 30 年 11 月 4 日 (日)	34 人
野鳥と冬越し	緒方 清人 水谷 英夫	平成 31 年 1 月 13 日 (日)	30 人

■ 講 座

○ 子ども&子どもにかえりたい大人の自然講座

講 座 名	講 師	開 催 日	参加者
魚を知ろう	堀 正和 西本ふたば 小山 舜二	平成 30 年 7 月 22 日 (日)	14 人
恐竜を学ぼう	河村 善也 河村 愛	平成 30 年 8 月 11 日 (土)	12 人
コケ玉をつくろう	成田 務	平成 30 年 8 月 19 日 (日)	20 人

■ 執筆・出版

- 「館報 48 号」 の発行
- 「見学と行事の案内」 (2019 年度版) の発行
- 「はくぶつかんだより」 (No.197～200) の発行
- 広報しんしろ「ほのか」再発見！わがまちの文化財・施設紹介
  - ・ 30 年 4 月号「川合の百間滝」
  - ・ 30 年 8 月号「板敷川とポットホール群」
  - ・ 30 年 11 月号「豊川の段丘地形」
  - ・ 31 年 2 月号「鳳来寺硯」



自然を楽しく学ぶ野外学習会  
「新緑の乳岩・鬼岩」



ジオツアー  
「ピッチストーンとオパールの観察」

#### ■その他

- ミュージアムフェスティバルの開催
    - ・5月3日～6日、11月23日～25日
  - ナイトミュージアムの実施（鳳来寺山もみじまつりイベント「千の灯火」に連携）
    - ・11月17日（土）、24日（土）17：15～20：00
  - 研修・実習受入
    - ・職場体験受入（東郷中学校1名、千郷中学校1名）
    - ・教員研修受入（設楽地方理科教員研修8名、新城高校・豊橋西高校教員社会体験型教員研修2名、新城市内理科教員研修22名、黄柳川小学校教員社会体験型教員研修1名、名古屋市理科教員研修22名）
    - ・学芸員実習受入（つくば大1名、愛知教育大1名）
  - 出前講座・ガイドツアー（59回）
  - 講演
    - ・新城ロータリークラブ「東三河ジオパーク構想について」（4月13日）
    - ・鳳来寺小学校3・4年生「コノハズクのおはなし」（6月16日）
    - ・J A文化講座「東三河の大地の物語とジオパーク構想」（7月17日）
    - ・東海三県博物館協会交流研修会「鳳来寺山麓にある小さな博物館の55年」
    - ・東郷中学校2年生「職業講話」
- ③ 調査研究・資料収集保存活動
- 新城市を中心にした地域の地学、植物、動物、菌類等に関する調査研究
  - コノハズク生息調査、保護活動
  - 特別展開催のための調査
  - 新城市を中心とした自然資料（標本類）の収集、記録、保存
  - 寄贈標本・資料・図書等の整理
  - 自然科学関連資料（文献及び図書他）の収集と保存
  - 黄柳野高校グレートアース：コノハズク調査（4回）

④ ジオパーク構想推進事業

○博物館主催ジオツアー

講座名	講師	開催日	参加者
設楽原の地形と地質・戦績めぐり	仲井 豊 鳥居 孝	平成30年5月13日(日)	23人
渥美半島先端部の地形と地質をたずねて	河村 善也 河村 愛	平成30年11月10日(土)	20人
ピッチストーンとオパールの観察	遠西 昭寿 鳥居 孝	平成30年12月2日(日)	17人

○東三河ジオパーク構想推進準備会

行事名	場所	開催日	参加者
東三河ジオパーク構想モニターツアー	豊橋市	平成31年2月3日(日)	25名
～東三河ジオパーク構想シンポジウム～中央構造線につながる大地と文化	田原市	平成31年2月24日(日)	97人
ジオガイド認定講座(7回)		4月21日、5月26日、6月30日、7月21日、9月22日、9月29日、10月27日	受講者38人
ジオガイド認定講座試験	新城市	12月8日、12月16日、12月22日	受講者29人 合格者25名

○東三河ジオパーク構想推進準備会による専門部会、会議等の開催

○日本ジオパークネットワークに関する視察、大会、研修参加

- ・地球惑星連合大会日本ジオパーク認定申請プレゼンテーション視察(5月19日)
- ・全国事務局長会議(7月30日～31日)
- ・日本ジオパーク第9回全国大会参加(10月6日～8日)
- ・日本ジオパーク全国研修会参加(11月15日～16日)
- ・JGN中部ブロック大会参加(12月1日～2日)

⑤ 湿地サミット開催

○第27回湿地サミット開催(6月5日)

サミット会場：旧開成小学校体育館(参加者251名)

現地見学：長ノ山湿原、清岳向山湿原、黒瀬庄ノ沢緑地、作手民俗資料館

○湿地保全作業

○湿地パンフレット作成

⑥ 博物館友の会との連携

○友の会報誌「瑠璃山No.23」の発行

○ボランティア活動(「博物館協力隊」登録者数：27人、出動回数107回)

○人材の育成(友の会運営、ボランティア、自主研修の実施等)

○友の会行事の開催

行事名	開催日	参加者
友の会総会と講演会	4月15日(日)	52名
春のミュージアムフェスティバル(55周年感謝祭)	5月3日(木)～6日(日)	916名

仏法僧の声を聞く会	5月26日(土)～27日(日)	31名
「梅雨のきのこに出会う会」	6月24日(日)	34名
秋のミュージアムフェスティバル (55周年感謝祭)	11月23日(金)～25日(日)	1,935名

#### 『評価と検証』

教育普及活動として足元の自然を学ぶ野外学習会を5回、未来を担う子どもを中心にした子ども向け自然講座を3回開催し、これらの事業について、愛知県の“森と緑づくり事業”の助成を受けた。また、学校等への出前講座、博物館ガイドツアー、講演等を行った。館報48号で新城市の自然環境調査の成果並びに事業報告を掲載し、郷土の自然に対する理解と情報の発信、蓄積を図った。

博物館標本や資料整理において、友の会ボランティアの協力を得て、標本等の整理を進めることができた。

東三河地方の変化に富んだ地質遺産を活用し、地域振興と保全を目的にした東三河ジオパーク構想推進準備会の事務局として、愛知県と東三河8市町村と連携してシンポジウムとジオツアーを開催するとともに、ジオガイドの認定を行い、25名のジオガイドが誕生した。また、ジオパークに関連した特別展や現地見学ツアーを開催し、ジオパークの理解と周知に努めた。他市町村との連携を強め、広く産学民を巻き込んだ東三河ジオパークの実現に向けた取り組みが必要である。

## 1 主な事業

作手地区の地勢、地質、湿原、動植物などの自然物、歴史、生活用度品及び民俗芸能関係資料などを収蔵し展示するとともに、周辺の湿原や城址の環境整備を通じ、地域の文化財保護を行っている。



## (1) 施設概要

- ・所在地 〒441-1423  
新城市作手高里字縄手上 35 番地
- ・電話 0536-37-2269
- ・開館年月日 昭和 62 年 2 月 8 日
- ・構造 鉄筋コンクリート造地上 2 階建

## (2) 開館

- ・時間 午前 10 時から午後 3 時
- ・休館日 火曜日（休日に当たるときは、その翌日）、年末年始 12 月 29 日から 1 月 3 日

## (3) 入館料 無料

## (4) 入館者数 8,137 人（平成 30 年度）

## (5) 展示及び収蔵品

- ① サギ草の彫刻、茅葺き屋根を再現  
作手地区は、鳥居建・釜屋建、船柁造りの民家形式分布上の接点
- ② 湿原のジオラマ、鹿児島島の始良火山の噴火した時に飛来した火山灰
- ③ 作手奥平氏の居城「亀山城址」の模型
- ④ 歌舞伎コーナー：村芝居「歌舞伎」舞台、人形、歌舞伎衣装
- ⑤ 民俗コーナー：凧、コマ、カルタなど
- ⑥ 稲作、林業で使用された農林業器具
- ⑦ その他、民俗品等

## (6) 企画展の開催

- ① ちょっと昔の新城～古写真に見る懐かしの新城展  
期間：7 月 14 日～9 月 30 日（見学者：1,993 名）
- ② 新城の古文書～一枚の紙から分かる新城の歴史展  
期間：2 月 9 日～3 月 31 日（見学者：1,127 名）

## (7) 体験講座等の開催

- ① 「裂き織り体験教室」  
・ 6 月 23 日(土)、7 月 21 日(土)、8 月 18 日(土)、9 月 15 日(土)

## 『評価と検証』

平成 30 年度は、教育委員会の関与をこれまで以上に深め、PR の方法、企画展の実施方法など、作手歴史民俗資料館の運営方法を大きく変更した。さらに古宮城が続 100 名城に選定されたこともあり、前年比で 4 倍以上の来館者を得ることができた。しかしながら、この来館者増加は続 100 名城のスタンプ押印者がよるものであり、外的な要因が大きく、作手歴史民俗資料館の魅力が増したためでない。このため、引き続き作手歴史民俗資料館の在り方を地域住民と検討を重ねていく必要がある。

平成30年度 新城市の教育

令和元年9月発行

編集発行 新城市教育委員会

〒441-1392

新城市字東入船115番地

電話 0536-23-7633 (教育総務課)